

令和5年度

# 総合型選抜学生募集要項

## 総合型選抜Ⅰ(大学入学共通テストを課さない総合型選抜)

人文社会科学部

(人文社会科学科グローバル・スタディーズコース)

地域教育文化学部

(地域教育文化学科文化創生コース)

工学部フレックスコース

(システム創成工学科)

## 総合型選抜Ⅱ(大学入学共通テストを課さない総合型選抜)

工学部昼間コース

(高分子・有機材料工学科)

(化学・バイオ工学科)

(情報・エレクトロニクス学科)

(機械システム工学科)

(建築・デザイン学科)

農学部

(食料生命環境学科)

## 総合型選抜Ⅲ(大学入学共通テストを課す総合型選抜)

地域教育文化学部

(地域教育文化学科文化創生コース)

理学部

(理学科)

工学部昼間コース

(高分子・有機材料工学科)

(化学・バイオ工学科)

(情報・エレクトロニクス学科)

(機械システム工学科)

(建築・デザイン学科)



山形大学  
Yamagata University

## 新型コロナウイルス感染症への対応に関するお知らせ

1. 新型コロナウイルス感染症の影響により、本要項の記載内容に変更が生じた場合は、本学ホームページ (<https://www.yamagata-u.ac.jp>) の「入試案内」及び「受験生の方」でお知らせしますので、随時確認してください。

2. 入学者選抜における出願書類について

### 【調査書について】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大による高等学校等の臨時休業により、出席日数・特別活動の記録・指導上参考となる諸事項の記載が少ないこと等をもって、入学志願者が不利益を被ることはありません。

また、授業日数、出席停止・忌引き等の日数、オンラインを活用した特例の授業の参加日数等の記載の有無によって、入学志願者が不利益を被ることはありません。

### 【自己PR書・スポーツ活動に関する調査書・エントリーシートについて】

新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、高等学校等における部活動等の諸活動や大会、資格・検定試験等に参加できず、実績や結果を記載できないことをもって入学志願者が不利益を被ることはありません。

自己PR書及びエントリーシート等にこれらの活動について記載する場合、入学志願者の成果獲得に向けた努力のプロセス等についても記載してください。

## 医学部医学科の入学定員及び募集人員について

医学部医学科では、文部科学省及び厚生労働省からの「令和5年度医学部臨時定員増に関する意向調査」において、臨時定員増の申請を検討中です。

現在の同学科の入学定員及び各選抜の募集人員については、本要項14ページに記載のとおりですが、申請の結果については、決定次第、本学ホームページでお知らせします。

## マイナンバーカードを活用した取り組みについて

本学では、学生サービスの向上を図るため、デジタルキャンパス化を推進しております。その一環として、文部科学省の助成を受け、マイナンバーカードを活用した各種サービスを提供しています。

詳細は、合格通知の際にお知らせしますので、マイナンバーカードの取得について、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

# 目 次

インターネット出願の流れ	1
I 山形大学の入学者の受入方針（アドミッション・ポリシー）	5
II 入学定員・募集人員	14
III 山形大学総合型選抜の定義	15
IV 総合型選抜日程表	15
V 総合型選抜共通事項	
1 総合型選抜に係る留意事項について	19
2 受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談について	20
3 入学試験情報開示について	20
4 総合型選抜に関するお問合せについて	21
5 出願書類の提出先及び入学選抜に関するお問合せ先について	21
6 出願方法等について	21
VI 総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない総合型選抜）	
学部別募集要項細目	
【人文社会科学部】	26
【地域教育文化学部】	30
【工学部フレックスコース】	38
VII 総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課さない総合型選抜）	
学部別募集要項細目	
【工学部昼間コース】	43
【農学部】	48
VIII 総合型選抜Ⅲ（大学入学共通テストを課す総合型選抜）	
学部別募集要項細目	
【地域教育文化学部】	53
【理学部】	62
【工学部昼間コース】	67
IX 受験者心得	72
X 山形大学試験場案内図	73
XI 大学案内及び各学部のパンフレット請求方法	77
☆ 大学入学共通テスト受験教科・科目確認表【重要】	78
出願書類	
● 大学入学共通テスト成績請求票はり付け台紙【総合型選抜Ⅲ受験者用】（見本）	
● 志望理由書【総合型選抜Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ共通】	
● 自己PR書【人文社会科学部・地域教育文化学部用，工学部用】	
● スポーツ活動に関する調査書【地域教育文化学部地域教育文化学科文化創生コース（スポーツ分野）用】	
● エントリーシート【理学部理学科用】	

## 自然災害等により被災された 山形大学学部入学志願者の検定料の免除について

山形大学（以下「本学」という。）では、東日本大震災及び令和4年4月以降に発生した自然災害等により被災された方の経済的負担を軽減し、受験機会を提供するために、令和5年度学部入学選抜試験に係る検定料について、次のとおり免除の特別措置を講じます。

### 1 免除対象となる入学選抜試験

本学が実施する令和5年度学部入学選抜試験（一般選抜，総合型選抜，学校推薦型選抜，社会人入試及び私費外国人留学生入試）を対象とします。

### 2 対象者

令和5年4月に本学の学部に入學を志願する方で、東日本大震災及び令和4年4月以降に発生した自然災害等により被災し、次のいずれかに該当される方を対象とします。

- (1) 入学志願者の学資を主として負担する者（以下「学資負担者」という。）が自然災害等に際して災害救助法の適用された区域に居住し、家屋等が全壊又は大規模半壊の被害を受けた者
- (2) 学資負担者が自然災害等により死亡又は行方不明の者
- (3) 学資負担者が自然災害等により失職した者
- (4) 福島第一原子力発電所の事故の際に、帰宅困難区域（申請時点で指定されている区域）に居住していた者

### 3 本件に関する申請方法等

申請期限は出願期間前になりますのでご注意ください。

詳細は、本学ホームページ「入試案内」又は「受験生の方」でご確認願います。

<https://www.yamagata-u.ac.jp>

お問合せ先：山形大学エンロールメント・マネジメント部入試課

TEL (023) 628-4141

総合型選抜においてインターネット出願を実施します。

# インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下のとおりです。

出願登録・検定料・出願書類等の詳細は、必ず学生募集要項本文で確認し、不備のないように出願してください。



STEP  
**1**

## 事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンタ、顔写真データなどを用意してください。(スマートフォン、タブレットは非推奨)  
出願に必要な書類には、発行まで時間を要するものがあります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

パソコン等の推奨環境は25ページを参照してください。

STEP  
**2**

## インターネット出願サイトにアクセス

大学ホームページからアクセス ▶ <https://www.yamagata-u.ac.jp>

STEP  
**3**

## マイページの登録

画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。  
なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。

① 初めて登録する方は **マイページ登録** をクリックしてください。

② メールアドレスの登録を行って **仮登録メールを送信** をクリックしてください。

③ ユーザー登録画面から **ログインページへ** をクリックしてください。

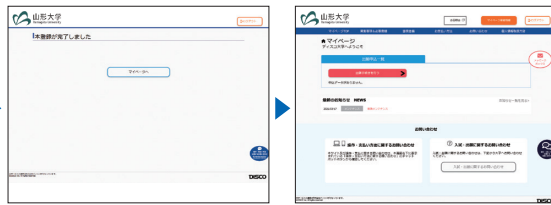
④ 登録したメールアドレスに初期パスワードと本登録用URLが届きます。  
※@e-apply.jpのドメインからのメールを受信できるように設定してください。

⑤ ログイン画面にて登録したメールアドレスと④で届いた『初期パスワード』を入力の上、**ログイン** をクリックしてください。

⑥ 初期パスワードの変更を行ってください。

⑦ 表示された個人情報を入力して **次へ** をクリックしてください。

⑧ 個人情報を確認して **この内容で登録する** をクリックしてください。



⑨ 登録完了となります。  
マイページへ  
をクリックしてください。

⑩ 上記ページが表示されたら  
マイページ登録は完了です。

※出願受付中のみ、「出願手続きを行う」ボタンをクリックすると出願手続きに進めます。  
登録期間外の場合は、これより先に進めませんので「ログアウト」ボタンをクリックしてください。



出願登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。ただし、検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。

※「検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。  
検定料の支払い後に誤入力に気づいた場合は、本要項21ページに記載の志願学部を担当部署に連絡してください。

## STEP

# 4

## 出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。



① マイページログイン後の  
出願手続きを行う ▶ ボタン  
から登録画面へ

② 入試選択と留意事項の確認

③ 志望学部等の選択

④ 顔写真のアップロード  
写真選択へ ▶ ボタンをクリックし  
写真を選択します。



⑤ 個人情報(氏名・住所等)の  
入力



⑥ 出願内容の確認  
入学願書(サンプル) ボタンを  
クリックすると入学願書が確認できます。



⑦ 出願登録完了  
引き続き支払う ▶ ボタンを  
クリックし検定料のお支払い画面へ。  
受付番号(12桁)は必ず控えてください。  
出願情報を確認する場合と、出願書類等  
を出力する際に必要になります。



⑧ 検定料の支払い方法  
● コンビニエンスストア  
● ペイジー対応銀行ATM  
● ネットバンキング ● クレジットカード

検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」又は「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えた上、確認メールで通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストア又はペイジー対応銀行ATMにてお支払いください。

### セブン-イレブンの場合

払込票番号 メモ(13桁)													
------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済 番号メモ(11桁)										
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

### ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号 メモ(11桁)										
------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

確認番号 メモ(6桁)					
----------------	--	--	--	--	--

収納機関番号 (5桁)	5	8	0	2	1
----------------	---	---	---	---	---

※収納機関番号はペイジーでお支払いの際に必要となります。

出願登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。 ※確認メールが迷惑メールフォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

## 検定料の支払い

## 1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、お支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA, Master, JCB, AMERICAN EXPRESS, MUFGカード, DCカード, UFJカード, NICOSカード



出願登録時に支払い完了

## 2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

インターネットで手続き完了

## 3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

●店頭端末を利用して支払い可能



Loppi

LAWSON



マルチコピー機

あなたも、コンビニに、  
FamilyMart

## 4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

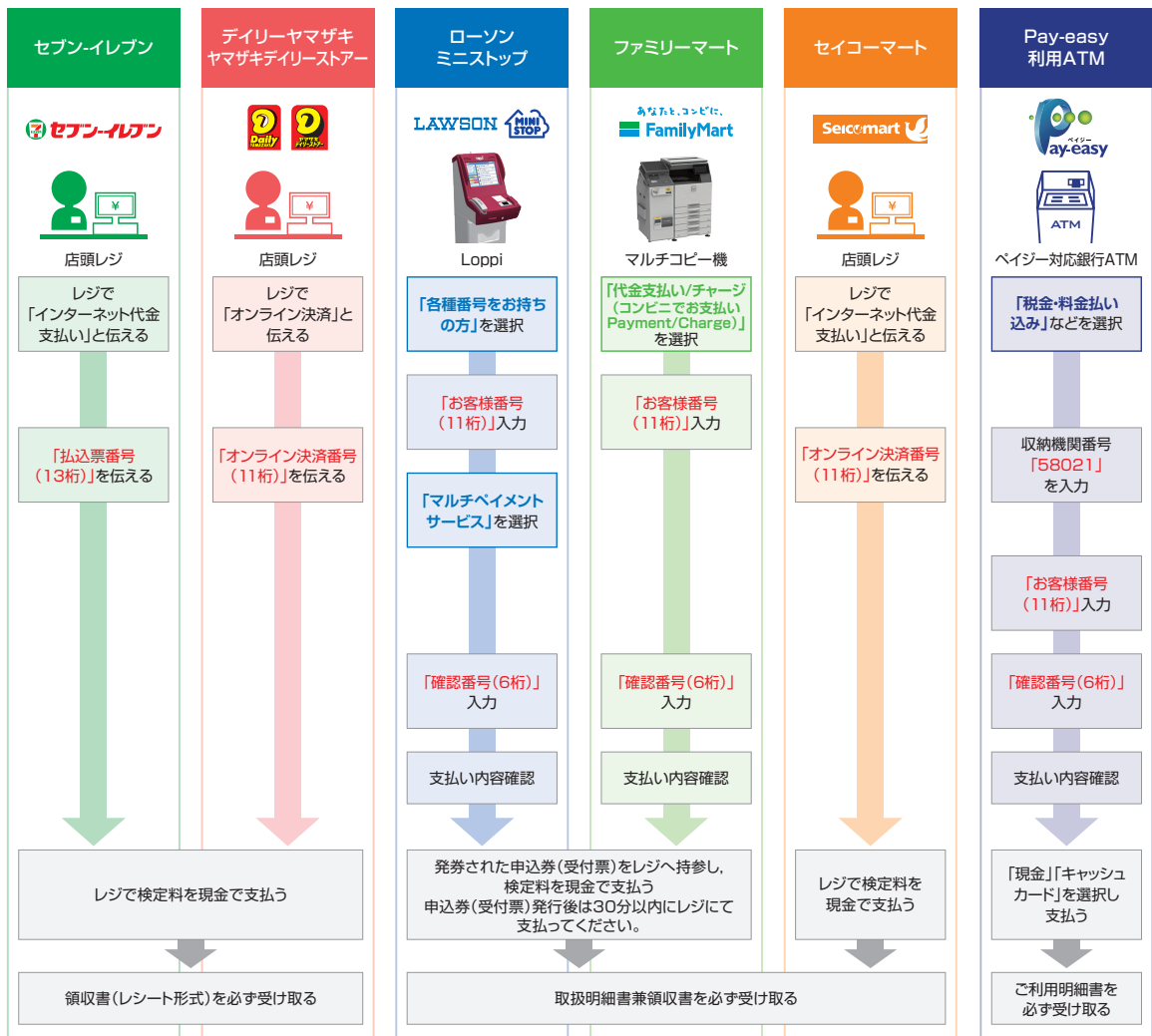
出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作の上、お支払いください。



※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。

各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから検定料を支払ってください。

## 3 コンビニエンスストア



## 4 銀行ATM

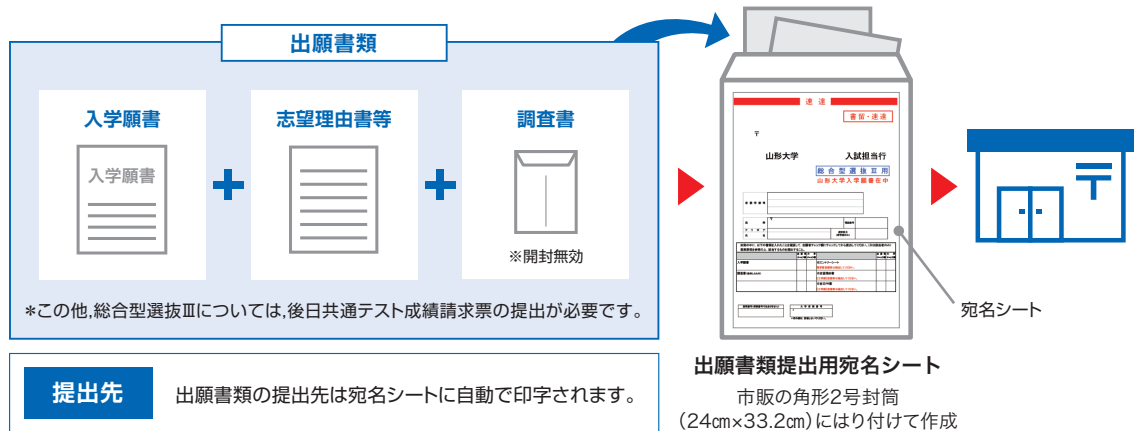
## STEP

## 6

## 出願書類等の印刷と郵送又は持参

登録だけでは出願は完了していませんので  
注意してください。

出願登録、検定料の支払い後にダウンロードできる書類をA4タテ片面カラー印刷し、その他の出願書類等と併せて、出願書類提出期限までに本学に届くように郵便局窓口から「書留速達郵便」で郵送又は持参により提出してください。本要項21～22ページの出願書類提出期限を参照してください。



## 「入学願書」の印刷方法



- (1) マイページに表示された「入学願書(印刷)」のボタンをクリックしてください。
- (2) お支払いが正常に完了すると「入学願書(印刷)」のボタンがクリックできるようになり入学願書の出力ができます。

## ■ 出願書類

1回の出願登録につき各1部必要です。  
出願に必要な書類は学生募集要項本文を参照してください。

※出願を受理した検定料・出願書類は、募集要項に記載の場合を除き一切返却しません。

## 〈出願完了〉

出願時の  
注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、検定料を支払い、出願書類等を郵送又は持参して完了となります。登録が完了しても出願書類提出期限までに書類が提出されなければ出願を受理できませんので注意してください。

出願登録及び検定料の支払いは24時間可能です。ただし、出願期間最終日は16時30分までです。出願書類等の提出については、本要項21～22ページの出願書類提出期限を参照の上、ゆとりを持った出願を心がけてください。

## STEP

## 7

## 受験票の印刷

受験票のダウンロードが可能になりましたら、出願時に登録したメールアドレスへメールでお知らせします。

印刷可能期日は、本要項15～18ページの「受験票ダウンロード可能メール送信」欄を参照してください。

「出願内容の確認/入学願書の印刷」ボタンからログインして、必ず各自で受験票を印刷し、試験当日は、印刷した受験票を忘れず持参してください。



【印刷に関する注意事項】 受験票は必ずA4用紙にタテ片面でカラー印刷してください。

## I 山形大学の入学者の受入方針（アドミッション・ポリシー）

山形大学は、教育目標に定める人材を育成するため、高等学校等の教育課程の教科・科目の修得により培われた基礎学力を備え、主体的に学習や研究に打ち込むための3つのC（Challenge：挑戦意欲，Cooperation：協働意欲，Contribution：社会貢献意欲）を持つ人を受け入れます。このような学生を適正に受け入れるために、多様な方法で選抜を実施します。

### 人文社会科学部

人文社会科学部は、人文科学・社会科学の全領域に及ぶ多彩な専任教員を擁する総合学部です。人間や社会に関して多岐にわたる教育研究が活発に行われ、教育力、研究力ともに高水準で充実した内容を誇っています。学生は徹底した少人数教育の中で鍛えられ、卒業後は全国で公務や教育の現場で、あるいはビジネスの第一線で活躍しています。

人文社会科学部の求める学生像は以下のとおりです。

#### ◆求める学生像（3つのC）

Challenge： 人文社会科学の諸分野に対する強い関心と勉学への意欲を持っている人

Cooperation： 多様な価値観を尊重し、協調性を持って、倫理的に行動できる人

Contribution： 活力ある社会の実現に貢献する意欲を有する人

#### ◆入学者選抜の基本方針

以上のような観点から人文社会科学科各コースでは、具体的に次のような入学者選抜を実施します。

#### 人文社会科学科

##### （グローバル・スタディーズコース）

グローバル・スタディーズコースは、国際地域研究と多文化研究の2つのプログラムから成っています。外国語教育を基盤としつつ、文化学から社会科学に至る幅広い教育・研究を行うことで、地域の中でグローバル化を推進することのできる人材を養成します。

グローバル・スタディーズコースの求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

#### ◆求める学生像

- ・国際社会やグローバル化や異文化理解についての強い関心と、勉学の意欲を持っている人（Challenge）
- ・留学等を通じた海外体験に強い関心を持ち、相互尊重の精神に基づき、世界の人々と協調して行動する人（Cooperation）
- ・基礎的な英語力を身に付けており、外国語学習への強い関心を持ち、大学で身に付ける語学力と専門知識を用いて、社会に貢献する意欲を持っている人（Contribution）

#### ◆入学者選抜方法

##### 総合型選抜 I

グローバル社会で活躍可能な人材を広く求めます。第1次選抜では、調査書、志望理由書、自己PR書に基づき、グローバル・スタディーズコースでの学修に対する入学志願者の適性や意欲、さらに本人の目的意識等について多面的に評価します。第2次選抜では、第1次選抜合格者に対して、小論文（日本語で作成します。）と面接（口頭試問を含みます。）を実施します。

### 地域教育文化学部

地域教育文化学部は、地域における教育及び健康文化・芸術文化を構成する諸科学の教育・研究を通じて幅広い視野と探究心、豊かな人間性に基づいた責任感と倫理観を持ち、独創性と柔軟性をもって地域課題に取り組み、地域社会の自律的な



発展に寄与する実践的な人材の養成を目的とします。

地域教育文化学部の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

#### ◆求める学生像（3つのC）

Challenge： 広い視野に立って、新しいことに挑戦しようとする意欲のある人

Cooperation： 課題に積極的に取り組む行動力、他者を受け入れる包容力、社会性とコミュニケーション能力を備えている人

Contribution： 今日の社会課題とその課題解決に強い関心があり、地域文化の活性化に貢献できる職業に就きたい意欲・情熱を持っている人

#### ◆入学者選抜の基本方針

地域教育文化学度は、地域における教育及び健康文化・芸術文化を構成する諸科学について学び、広い視野と探究心、豊かな人間性に基づいた責任感と倫理観を持って地域の課題に取り組み、地域社会の自律的な発展に寄与する意欲を持った学生を受け入れます。

以上のような観点から、地域教育文化学科の各コースでは、具体的に次のような入学者選抜を実施します。

### 地域教育文化学科

#### （文化創生コース）

本コースは、地域社会の持続可能な発展を「こころ」と「からだ」の両面から支援し、市民の主体的な地域文化創生を支援する意欲を持った学生を受け入れます。そのために、高等学校までの基礎的な学力や、得意分野に関するすぐれた理解・技能を有して、地域文化のコーディネーター・ファシリテーターを目指す意欲を持った学生を受け入れます。

地域教育文化学科・文化創生コースの求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

#### ◆求める学生像

- ・地域における健康支援や文化的活動に興味や関心のある人
- ・心理学、栄養学、食品学、スポーツ科学等心身の健康に貢献する学問分野に興味や関心のある人
- ・音楽、美術、デザイン等芸術文化に関する分野に興味や関心のある人
- ・保健体育科、音楽科、美術科の中学校・高等学校教員を目指す人

#### ◆入学者選抜方法

##### 総合型選抜Ⅰ

美術、音楽又はスポーツの分野における勉学を強く希望する者を対象とします。

第1次選抜では、書類選抜により、①基礎的な学力及び思考力・表現力、②高校時代の課外活動の記録、③新たな課題に挑戦しようとする意欲等を総合的に評価します。

第2次選抜では、面接（口頭試問を含みます。）と実技検査（美術・音楽・スポーツから1つを選択します。）により、①思考力・判断力・表現力、②主体性を持って新たな課題に挑戦しようとする態度、③基礎的な実技能力等を総合的に評価します。

##### 総合型選抜Ⅲ

確かな基礎学力を有し、美術、音楽又はスポーツの分野における勉学を強く希望する者を対象とします。美術、音楽、スポーツの各分野における実技能力や文化創生にかかわる資質・適性・将来性と、確かな基礎学力とのバランスを重視した選考を行います。

第1次選抜では、書類選抜により、①基礎的な学力及び思考力・表現力、②高校時代の課外活動の記録、③新たな課題に挑戦しようとする意欲等を総合的に評価します。

第2次選抜では、面接（口頭試問を含みます。）と実技検査（美術・音楽・スポーツから1つを選択します。）により、①思考力・判断力・表現力、②主体性を持って新たな課題に挑戦しようとする態度、③基礎的な実技能力等を総合的に評価します。

上記に加え、確かな基礎学力を評価するために大学入学共通テスト（3教科3科目又は3教科4科目）を課し、①面接、②実技検査、③大学入学共通テストを総合して合否を判定します。

# 理学部

理学部は、自然科学の基礎的分野の教育・研究を通して幅広い視野と探究力を教授し、豊かな人間性に基づいた責任感と倫理観を持ち、社会の要請に対し、独創性と柔軟性をもって対応できる自然科学の専門的素養を持った人材の育成を目的としています。

山形大学の教育目標を踏まえ、理学の幅広い知識を教授して自然の真理を追究する柔軟な発想力と広い視野を育て、分野横断的な教育・研究を重視した先進的な専門教育により科学的な思考力・表現力・方法論を修得させます。卒業後、独創性と柔軟性をもって様々な分野で人類社会の発展に貢献できる人材の育成を目標としています。

理学部の求める学生像は以下のとおりです。

## ◆求める学生像（3つのC）

数学や自然科学の学修に必要な基礎的な学力、論理的思考力及び主体的学習力を持ち、次の3要素（3つのC）を備えていること。

- Challenge： 数理の世界や自然界のさまざまな現象に強い興味と好奇心を持ち、真理探究や未知なるものの発見や創造に挑戦できる人
- Cooperation： 高い倫理観と協調性を持ち、身に付けた知識をわかりやすく表現する能力と多様な人々との交流に必要なコミュニケーション能力を持つ人
- Contribution： 人間社会の抱える問題を認識し、その解決に向けて、理学的な視野で積極的に貢献しようとする意欲を持つ人

## ◆入学者選抜の基本方針

「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するために、一般選抜（前期日程・後期日程）に加えて、学校推薦型選抜Ⅰ及び総合型選抜Ⅲにより選抜を実施します。

### 理学科

独創性と柔軟性をもち様々な分野で貢献できる人材として育成するために、1年次には理学の基礎科目を広く学び、理学諸分野の専門的知識の基礎を築きます。その上で、2年次以降に専門分野が体系的に学べる6つのコースカリキュラム（数学、物理学、化学、生物学、地球科学、データサイエンス）から1つを選択します。また、将来の進路に応じた履修プログラムを選択します。

こうしたカリキュラムの中で、社会生活における広い視野・コミュニケーション能力・健全な批判精神を醸成し、理学分野の基礎的教育を行います。また専門分野の修得のみならず、専門分野以外の学問領域を含む学際的知識・研究スキル、さらには国際交流や地域社会との連携に関する教育を行い、様々な分野で活躍できる人材を育成する教育・研究を行います。

## ◆入学者選抜方法

### 総合型選抜Ⅲ

理学科で学ぶことに強い意欲を持つ者に対して選抜を行いますが、基礎的学力を評価するため、大学入学共通テストを課します。更に、志望動機、入学後の展望、自主的な学習意欲、自己表現力、チャレンジ精神、これまでの活動実績を評価する面接（口頭試問を含みます。）を行い、大学入学共通テストの得点及び面接（口頭試問を含みます。）の得点の合計により合否を判定します。

# 工学部

山形大学工学部は、人絹（レーヨン）を国内で最初に開発し日本の繊維産業の発展に貢献した米沢高等工業学校を前身とし、現在でも高分子（プラスチック）に関連した研究では質・量ともに日本をリードする東日本屈指の規模を擁する工学・技術系の学部です。このような伝統と環境の下で「人間性が豊かで数理に強く実践力のある技術者」を養成して我が国の産業と科学技術の発展に大きく寄与し続けています。

工学部の教育プログラムは、昼間コースに高分子・有機材料工学科、化学・バイオ工学科、情報・エレクトロニクス学科、機械システム工学科、建築・デザイン学科、フレックスコースにシステム創成工学科の合わせて6学科及び工業数学・物理学担当の共通講座で構成されています。これらの教育プログラムを通して、21世紀の社会と産業の変革に呼応し、「自ら新分野を開拓する能力に溢れた人材の育成」を目標に工学教育を一層充実させ、研究活動を活発化して、科学技術の高度化、産業のグローバル化をリードする教育研究機関としての役割を果たしています。

工学部では、これらの目標達成のため、上記5学科からなる昼間の授業を履修する課程としての昼間コースと、今後益々重要性を増す学際領域の人材育成を目指す課程として、夜間の授業に加えて昼間コースの講義も履修できるフレックスコースを設置しています。フレックスコースは授業料が昼間コースの半額で、米沢キャンパスにおける一貫した少人数教育の実施等、大学院への進学も念頭に置いた教育カリキュラムを実践しています。

工学部の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

#### ◆求める学生像（3つのC）

Challenge：自然科学や科学技術に対する関心が高く、勉学に対する意欲にあふれ、身のまわりのいろいろなことに好奇心を持って新しいものを創ること、工夫することに情熱を持って取り組める人

Cooperation：他人への思いやりの心と健全な倫理観を持ち、社会の中での協調性を保ちながら、自ら考えて決断し行動できる人

Contribution：広く社会に目を向け、工学を通して社会に貢献したい人

#### ◆入学者選抜の基本方針

工学部は、このような入学者を幅広く受け入れるため、大学入学共通テストを1次試験とする一般選抜（前期日程・後期日程）に加えて、総合型選抜Ⅰ（フレックスコース）、総合型選抜Ⅱ（昼間コース）、総合型選抜Ⅲ（大学入学共通テストを課す）及び学校推薦型選抜Ⅰ等により選抜を実施します。

以上のような観点から、各学科では、具体的に次のような入学者選抜を実施します。

#### 〔昼間コース〕

##### **高分子・有機材料工学科**

高分子・有機材料は、金属、セラミックスと並ぶ三大材料の一角を占めており、電子・情報産業から、エネルギー、環境、自動車、航空、宇宙産業、さらには医療・福祉産業に至るまで、我が国の「物づくり」の基盤を支えています。

本学科では、健全かつ幅広い教養と工学の基礎知識に加えて、高分子・有機材料に関して分子レベルから材料レベルまで一貫した幅広い専門知識と深い専門知識の両方を有し、技術開発における現状と問題点を論理的かつ合理的に解析・理解し、それを踏まえて新しい取り組みに対して自発的に行動できる研究者、技術者を育成する教育・研究を行います。

高分子・有機材料工学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

#### ◆求める学生像

- ・高分子・有機材料、自然科学や科学技術に対する関心が高く、勉学に対する意欲と吸収力にあふれ、何事に対しても好奇心と情熱を持ってチャレンジできる人
- ・コミュニケーション能力を有し、他人への思いやりの心と健全な価値観と倫理観を持ち、社会の中で協調性を保ちながら、自ら考え決断・行動し、成長し続けられる人
- ・広く社会に目を向け、高分子・有機材料工学の技術を通して、強く社会に貢献したい人

#### ◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには、数学、物理、化学等の基礎学力を十分に身に付けておくことが重要です。また、幅広い視野を涵養するため、国語、外国語（英語）、地理歴史・公民等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

## 化学・バイオ工学科

化学・バイオ工学科は、環境、エネルギー、食糧、医療に代表される21世紀型の諸問題を科学技術の発展により解決するために、その基盤となる化学及びバイオ分野の専門知識と基本技術に関する教育を行い、様々な産業分野で活躍できる人材を育成する教育・研究を行います。

化学・バイオ工学科の求める学生像及び入学選抜方法は以下のとおりです。

### ◆求める学生像

- ・ 勉学や科学技術に対する意欲にあふれ、何事にも積極的に取り組める人
- ・ 社会の中で協調性と正しい倫理観を持って自ら行動できる人
- ・ 応用化学、化学工学、バイオの知識と技術を通して社会に貢献したい人

### ◆入学選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには、数学、物理、化学、生物等の基礎学力を十分に身に付けておくことが重要です。また、幅広い視野を涵養するため、国語、外国語（英語）、地理歴史・公民等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

## 情報・エレクトロニクス学科

情報・エレクトロニクス学科は、“情報”と“もの”が融合した次世代の高度情報化・ネットワーク社会に貢献できる心豊かな工学技術者を育成する教育・研究を行います。情報科学に関するコンピュータやネットワーク等のソフトウェア分野と、エレクトロニクスに関する電子物性からエネルギー工学に関わるハードウェア分野との融合領域を共通基盤として、希望に応じた分野ごとの専門的な学習を深めます。さらに、実践的な実習・演習を通じて、社会のニーズに応えられる専門知識を習得し、新しい分野へ応用できる能力を育みます。

情報・エレクトロニクス学科の求める学生像及び入学選抜方法は以下のとおりです。

### ◆求める学生像

- ・ 情報科学や電気・電子通信工学を通して、次世代の高度情報化・ネットワーク社会に貢献し、学習意欲と協調性がある人
- ・ テクノロジーの基礎となる数学、物理、英語を積極的に学習できる人
- ・ 新しい分野への好奇心とチャレンジ精神のある人

### ◆入学選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには、数学、物理、化学等の基礎学力を十分に身に付けておくことが重要です。また、幅広い視野を涵養するため、国語、外国語（英語）、地理歴史・公民等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

## 機械システム工学科

機械システム工学科は、機械工学の知識を基礎として、技術が社会や自然に与える影響と技術者が負う責任を熟知し、独創性と創造性に富んだ技術開発を通して、地域・日本のものづくり産業の活性化と社会の発展に国際的視点から貢献できる人材を育成するための教育を行います。

自動車、航空機、船舶、精密機器、ロボット、エネルギー変換等の従来からの機械工学の基幹分野はもとより、生体工学、医用工学、知能工学等を含むより広範な工学分野で活躍可能な人材を輩出します。

機械システム工学科の求める学生像及び入学選抜方法は以下のとおりです。

### ◆求める学生像

- ・ 新しいことに挑戦し、地域・日本・世界で羽ばたく意欲のある人
- ・ 技術が社会や自然に与える影響と技術者が負う責任を熟知し、何をなすべきかを真剣に考える人
- ・ ものづくりが好きで機械に興味があり、機械技術を通してものづくり産業の活性化に貢献したい人

#### ◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を習得し将来技術者として活躍するために、高等学校等の教育課程においては数学、物理、化学、外国語（英語）等の基礎学力を十分に身に付けていることを求めます。また、幅広い視野を涵養するため、国語、地理歴史・公民等の教科・科目の習得も同時に重要です。

#### 建築・デザイン学科

建築・デザイン学科は、建築・デザインに関する分野における活動を通して、世界を見据えた幅広い視野を持ちつつ地域固有の文化を理解し、積極的に地域と関わり、地域社会の課題解決、地域産業の振興に貢献できる人材を育成する教育・研究を行います。

建築設計、都市計画、建築史、構造工学、建築環境、工業デザイン等、建築・デザインに関わる学問分野を中心に、他の工学分野とも連携して学際領域で新しい価値を創成することを目指します。

建築・デザイン学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

#### ◆求める学生像

- ・ 建築・デザインから他の工学分野にわたる幅広い知識と技術に興味のある人
- ・ 積極的に地域と関わり、地域社会の発展に貢献できる人
- ・ 世界を見据えつつ、地域で実践する意欲のある人

#### ◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには、数学、物理、化学、地学等の基礎学力を十分に身に付けておくことが重要です。また、幅広い視野を涵養するため、国語、外国語（英語）、地理歴史・公民等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

#### 総合型選抜Ⅱ（全学科共通）

工学部昼間コースにおいて、総合型選抜Ⅱを実施します。

なお、この総合型選抜Ⅱの募集人員には、山形県内高校等の受験者を対象とした募集人員を含みます。

#### ◆求める学生像

- ・ 高度な知識と技術を習得し、山形県内又はそれぞれの生まれ育った地域や地方において、産業の発展に貢献することを強く望む人

#### ◆入学者選抜方法

第1次選抜では、レポートにより、知識よりも自分独自の意見を持ち、その意見を自分の言葉で表現できているかを評価し、調査書、志望理由書及び自己PR書と併せて総合して合否を判定します。

第2次選抜では、面接（口頭試問を含みます。）を行い、受験者の意欲、積極性、基礎学力を基準に評価し、合否を判定します。

#### 総合型選抜Ⅲ（全学科共通）

工学部昼間コースにおいて、総合型選抜Ⅲを実施します。

#### ◆求める学生像

- ・ 自然科学や科学技術に関する関心が高く、勉学に対する意欲に溢れ、特に幅広い視野と問題意識を持ち、ものづくりや創意工夫によって問題解決に取り組むことに情熱を注げる人

## ◆入学者選抜方法

第1次選抜では、調査書、志望理由書及び自己PR書を参考にしながら関心を持つ分野の内容を中心に面接（口頭試問を含みます。）を行い、問題意識、志望動機、学習意欲、基礎学力、表現力を基準に評価し、可否を判定します。大学入学共通テスト（数学、理科、外国語の3教科4科目又は3教科5科目）の得点合計が合格基準点以上の者が最終合格者となります。

### 〔フレックスコース〕

#### システム創成工学科

システム創成工学科は、1年次から4年次まで米沢キャンパスで講義、実習等を履修します。自身が学ぶ専門分野は、工学の基礎（数学、物理、化学、機械工学の基礎）を学んだ上で、1年次後期に決定し、2年次以降は各自が選択した専門分野の勉強を昼間コースの学生と一緒に履修していく教育カリキュラムとなっています。また、システム創成工学科では、一人一人の学生が、基礎学力や専門知識をうまく活用し、社会人として活躍していく上で必要となる基礎的能力を養成するために、地元自治体や他大学と連携し、大学のキャンパス内では収まらない授業も展開しています。

さらに、このフレックスコースには下記のような特長があります。

- (1) 入学科・授業料が昼間コースの半額
  - (2) 数学・物理等の基礎科目については少人数制教育を実施
  - (3) 1年次から審査を経て研究室レベルの実践教育を実施
  - (4) 社会人の生涯学習の場としての機能も備え、夜間開講科目のみの履修でも4年間で卒業可能
- システム創成工学科の求める学生像及び入学者選抜方法は以下のとおりです。

## ◆求める学生像

- ・最先端のものづくり産業で活躍することで、地域社会や国際社会に貢献したい人
- ・工学への強い興味を持ち、自己研鑽に励むことで、自らを高めようという意欲のある人
- ・柔軟な広い視野を備え、新しいことに挑戦するプロフェッショナルとしての社会人を目指す人
- ・将来、ものづくり企業で管理職や経営者として活躍したいと考えている人
- ・数学・物理・語学等の基礎学力をバランス良く持っている人
- ・学業以外の部活動やボランティア活動等に積極的に参加している人
- ・バイタリティにあふれ、科学技術の分野で夢や希望を持っている人

## ◆入学者選抜方法

本学科での授業内容を理解するためには、数学、物理、化学等の基礎学力を十分に身に付けておくことが重要です。また、幅広い視野を涵養するため、国語、外国語（英語）、地理歴史・公民等の教科・科目を履修しておくことが望まれます。

### 総合型選抜 I

第1次選抜は書類選抜を実施し、第2次選抜では入学志願者の居住地（日本国内ならばどこでも）を本学部面接担当者が訪問して行う面接（口頭試問を含みます。）を実施します。

第1次選抜では高校における学習態度や工学部で学ぶために必要な基礎学力と意欲を、調査書、志望理由書及び自己PR書により評価し、これらを総合して可否を判定します。

第2次選抜では、入学志願者本人に1時間以上の時間をかけて直接面接（口頭試問を含みます。）することにより、数学、理科（「物理基礎」、「物理または化学から1科目選択」）及び英語（出題範囲：数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ）、物理（物理基礎・物理）、化学（化学基礎・化学）、英語（英文の基礎力（コミュニケーション英語基礎・コミュニケーション英語Ⅰ・コミュニケーション英語Ⅱ・コミュニケーション英語Ⅲ・英語表現Ⅰ））に関する基礎学力、志望動機、学習意欲、表現力等を総合して評価し、可否を判定します。

# 農学部

農学部は、日本有数の穀倉地帯であるとともに、豊かな自然に恵まれた庄内平野に位置しており、農学、生命科学、フィールドサイエンス等を学ぶ場として最適の条件を備えています。本学部は食料生命環境学科と附属施設のやまがたフィールド科学センターがあり、21世紀における国内外の諸問題の解決、資源循環・環境調和型社会の創生に取り組む人材育成に向けて、活発な教育・研究を進めています。また、大学院修士課程や博士課程に進学して、学問研究をさらに深める道も開かれています。

農学部の求める学生像及び入学者選抜の基本方針は以下のとおりです。

## ◆求める学生像（3つのC）

Challenge： 知的好奇心が旺盛で、自ら課題を発見し、その解決に向かって行動できる人

Cooperation： 自然と人間を愛し、人との出会いを通じて学びあいたい人

Contribution： 人類社会の直面する食料問題や資源問題、環境問題等に関心を持ち、地域社会及び世界に貢献したい人

## ◆入学者選抜の基本方針

農学部は、1学科3コース制を導入しています。このため、入学者選抜は食料生命環境学科で一括して行います。入学者選抜方法は、一般選抜（前期日程・後期日程）、学校推薦型選抜及び総合型選抜があります。

### 食料生命環境学科

食料生命環境学科は、1年次に山形市の小白川キャンパスにおいて基盤共通教育科目と広い意味での農学を幅広く学ぶ専門基礎科目を履修して、2年次の鶴岡キャンパスへの移行に伴い、3コースのいずれかに配属となります。2年次からはフィールドワークや実験を多く取り入れた各コースの特色のある専門的な教育を行います。各コースの概要は、次のとおりです。

#### 【アグリサイエンスコース】

安全な農畜産物の持続的生産・管理を担える人材を育成します。

安全な農畜産物を持続的かつ安定的に生産するための理論や技術を学び、さらに、限られた資源（物的資源、人的資源）を有効に利用するためのマネジメントについて学びます。

#### 【バイオサイエンスコース】

生命科学、食品科学等に関わる現場で活躍できる人材を育成します。

植物や、微生物、高等動物等多様な生物を対象とし、これらが持つ生理機能の解明、有用機能の探索・改良等、広範囲の領域を基礎から応用まで学びます。

#### 【エコサイエンスコース】

森・水・土を知り、地域・地球環境の問題を解決できる人材を育成します。

農林業の基盤となる自然環境や生態系のメカニズム、機能を理解し、それらが産み出す恵みを享受しながら、将来に渡り持続可能な形で管理、保全するための理論や技術を学びます。

## ◆求める学生像

- ・自然に学び、自然について深く考えることのできる人
- ・人類社会の直面する食料問題や資源問題、環境問題等の解決、生命現象の解明に正面から取り組む意欲を持ち、行動できる人
- ・論理的に思考し、表現できる人
- ・基礎的な学力を幅広く身に付けている人
- ・数学、理科等の自然科学に関しては、基礎的な知識を修得するだけでなく、それを応用できる人

以上のような観点から、食料生命環境学科では、具体的に次のような入学者選抜を実施します。

## ◆入学者選抜方法

### 総合型選抜Ⅱ

レポートでは、知識よりも自分独自の意見を持ち、その意見を自分の言葉で表現できているかを評価します。

面接では、目的意識、修学意欲、積極性及びアドミッション・ポリシーの理解度等を評価します。

プレゼンテーション（質疑応答及び口頭試問を含みます。）では、テーマに関する知識、表現力及び「広義の農学」への熱意、基礎的な学力（高等学校卒業程度）等を評価します。



※ 医学部医学科の入学定員及び募集人員については、表紙裏に記載している「医学部医学科の入学定員及び募集人員について」をご覧ください。

## Ⅱ 入学定員・募集人員

学部	学科・コース		入学定員	募集人員									
				一般選抜		総合型選抜			学校推薦型選抜		社会人入試	私費外国人留学生入試	
				前期日程	後期日程	I	II	III	I	II			
人文社会科学部	人文社会科学科	人間文化コース	290	55	10	-	-	-	-	10	-	5	
		グローバルスタディーズコース		25	-	4	-	-	8	8	-	-	
		綜合法律コース 地域公共政策コース (*1) 経済・マネジメントコース		110	15	-	-	-	30	10	若干人	若干人	
		計		290	190	25	4	-	-	38	28	若干人	5
地域教育文化学部	地域教育文化学科	児童教育コース	80	48	12	-	-	-	20	-	-	若干人	
		文化創生コース	95	45	10	(*2)14	-	(*2)16	10	-	-	若干人	
		計	175	93	22	14	-	16	30	-	-	若干人	
理学部	理 学 科	210	130	30	-	-	(*3)20	(*3)25	-	-	5		
	計	210	130	30	-	-	20	25	-	-	5		
医学部	医 学 科	*105	65	15	-	-	-	-	25	-	若干人		
	看護学 科	60	35	5	-	-	-	-	20	-	若干人		
	計	165	100	20	-	-	-	-	45	-	若干人		
工学部	昼間コース	高分子・有機材料工学科	140	83	10	-	-	6(2)	6	30	-	-	
		化学・バイオ工学科	140	82	41	10	-	-	3(1)	5	9	-	-
		応用化学・化学工学コース バイオ化学工学コース			41	10	-	-	3(1)	5	9	-	-
		情報・エレクトロニクス学科	150	88	44	10	-	-	3(1)	6	10	-	-
		情報・知能コース 電気・電子通信コース			44	10	-	(*4)	3(1)	6	10	-	-
		機械システム工学科	140	87	10	-	-	-	6(2)	10	24	-	-
		建築・デザイン学科	30	17	5	-	-	-	2(1)	2	4	-	-
	昼間コース計	600	357	65	-	-	-	26(9)	40	96	-	-	
	フレックスコース	システム創成工学科	50	35	5	5	-	-	5	-	若干人	-	
		フレックスコース計	50	35	5	5	-	-	5	-	若干人	-	
計		650	392	70	5	(*4)26(9)	40	101	-	若干人	16		
農学部	食料生命環境学科	165	95	25	-	-	5	-	40	-	-	若干人	
	計	165	95	25	-	-	5	-	40	-	-	若干人	
合 計			1655	1000	192	23	31	76	234	73	若干人	26	

- (\*1) 綜合法律コース、地域公共政策コース及び経済・マネジメントコースは、3つを1つの単位として入学試験を行います。そのため、綜合法律／地域公共政策／経済・マネジメントコースという表記を適宜用います。
- (\*2) 地域教育文化学部地域教育文化学科文化創生コースは、次の「実技検査区分／募集人員」で選抜を行います。
- ・総合型選抜Ⅰ／14人…「美術分野／1人程度、音楽分野／6人程度、スポーツ分野／7人程度」
  - ・総合型選抜Ⅲ／16人…「美術分野／2人程度、音楽分野／7人程度、スポーツ分野／7人程度」
- (\*3) 理学部理学科は、次の「選抜区分／募集人員」で選抜を行います。
- ・総合型選抜Ⅲ／20人…「数学／4人」、「物理学／4人」、「化学／4人」、「生物学／4人」、「地球科学／4人」
  - ・学校推薦型選抜Ⅰ／25人…「数学／5人」、「物理学／5人」、「化学／5人」、「生物学／5人」、「地球科学／5人」
- (\*4) 工学部昼間コース「総合型選抜Ⅱ」募集人員には、山形県内高校等の受験者を対象に合否判定を行う（ ）内の人数を含みます。
- (\*5) 工学部昼間コースの「私費外国人留学生入試」は、「志願学科・コース」で選抜を行います。

- (注) 1 入学定員の中には、若干人と記載のある入試の募集人員を含みます。
- 2 総合型選抜、学校推薦型選抜及び私費外国人留学生入試（人文社会科学部人間文化コース、理学部理学科及び工学部昼間コースのみ）において、合格者数が募集人員に満たない場合、その欠員は前期日程の募集人員に加えます。
- 3 工学部の「昼間コース」は、昼間に授業を行う課程であり、「フレックスコース」は、主として夜間に授業を行いますが、昼間の授業の履修も可能な課程です。

次の学部では、一般選抜前期日程試験において所在するキャンパスに設置する試験場に加え、次の地域に試験場を設置します。

工学部昼間コース（建築・デザイン学科を除く。）及びフレックスコース：名古屋市（JR名古屋駅付近）

農学部：山形市（山形大学小白川キャンパス内）

また、人文社会科学部人間文化コースでは、私費外国人留学生入試において所在するキャンパスに設置する試験場に加え、次の地域に試験場を設置する予定です。

東京都内及びモンゴル国ウランバートル市内

### Ⅲ 山形大学総合型選抜の定義

山形大学総合型選抜は、選抜方法の違いにより以下の3つに分かれます。  
それぞれの名称及び定義については、以下のとおりです。

#### 総合型選抜Ⅰ（大学入学共通テストを課さない総合型選抜）

第1次選抜（出願書類等による選抜）及び第2次選抜（第1次選抜合格者に対して実施する学力検査その他による選抜）により合否を判定する入学者選抜方法です。

#### 総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課さない総合型選抜）

第1次選抜（学力検査その他及び出願書類等による選抜）及び第2次選抜（第1次選抜合格者に対して実施する学力検査その他による選抜）により合否を判定する入学者選抜方法です。

#### 総合型選抜Ⅲ（大学入学共通テストを課す総合型選抜）

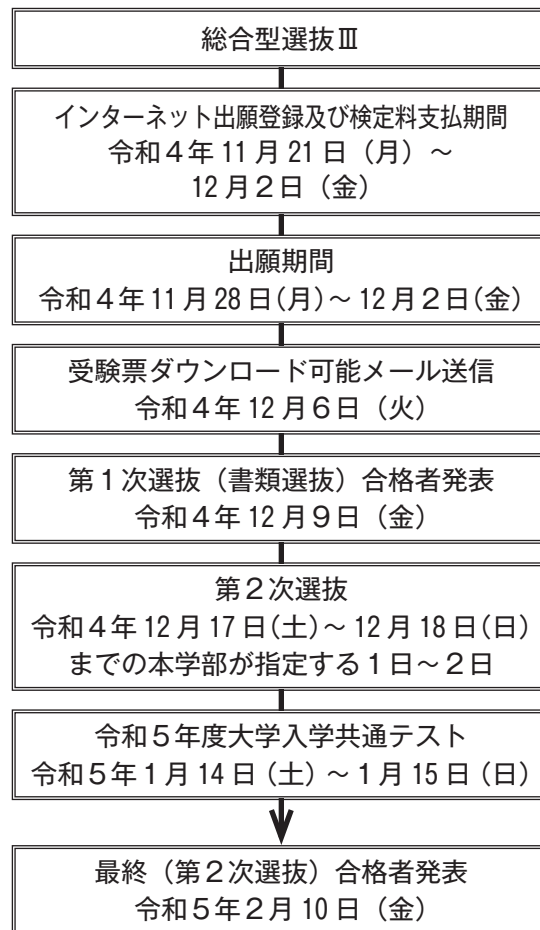
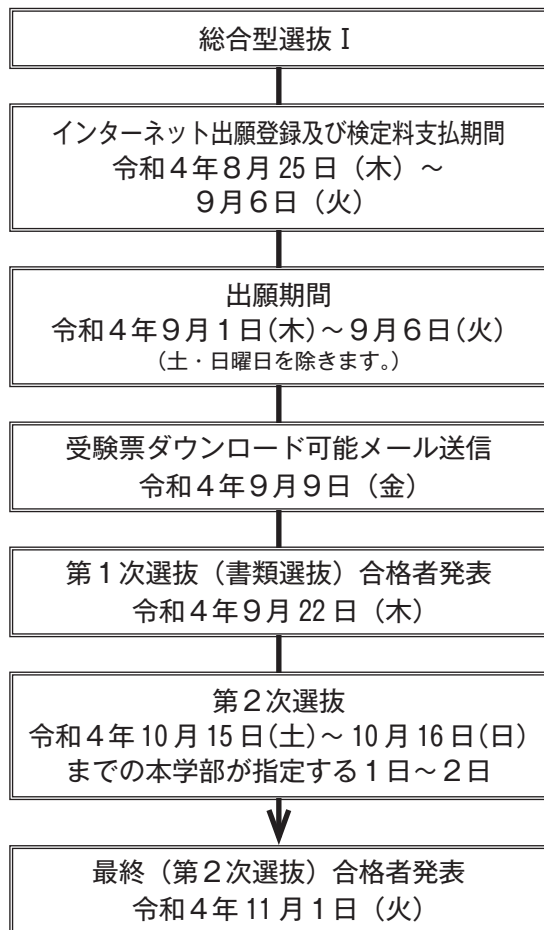
書類選抜（一部の学部）、学力検査その他及び大学入学共通テストの成績により合否を判定する入学者選抜方法です。

### Ⅳ 総合型選抜日程表

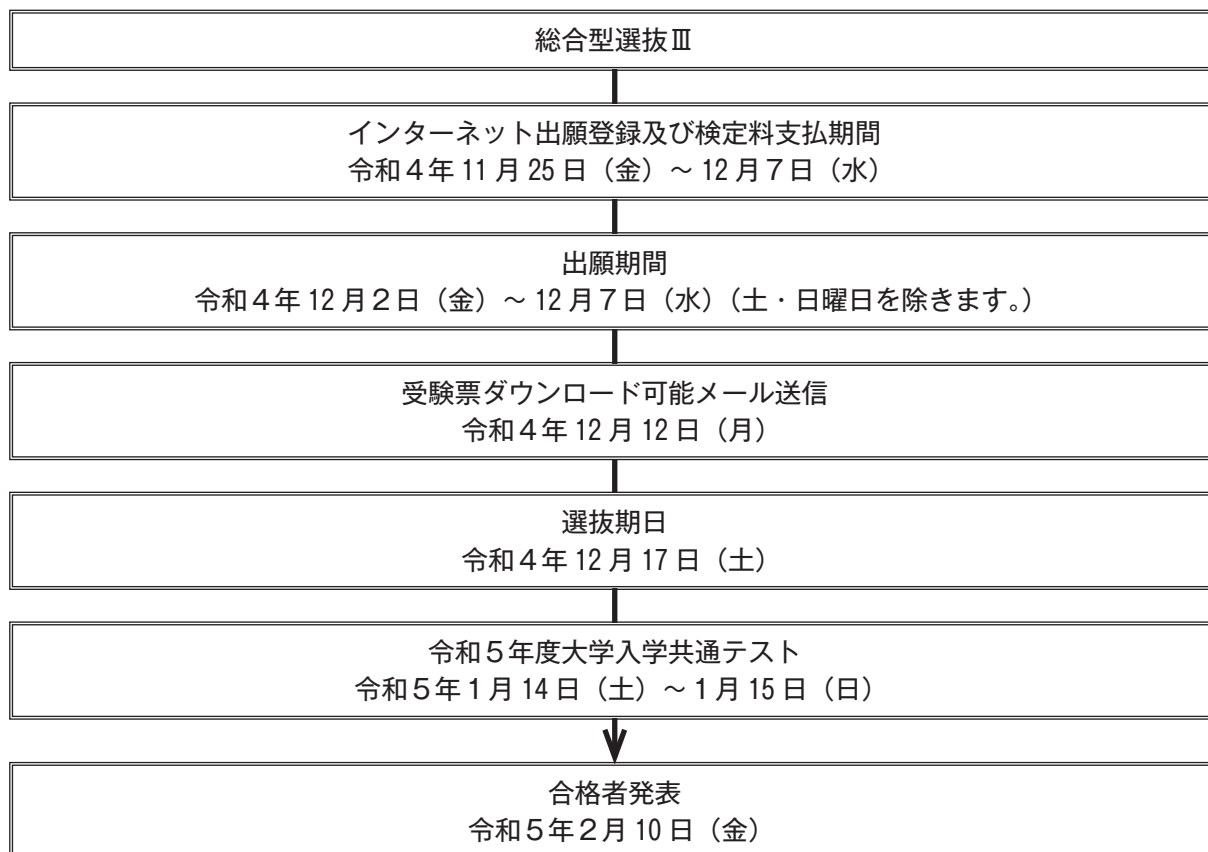
#### ●人文社会科学部



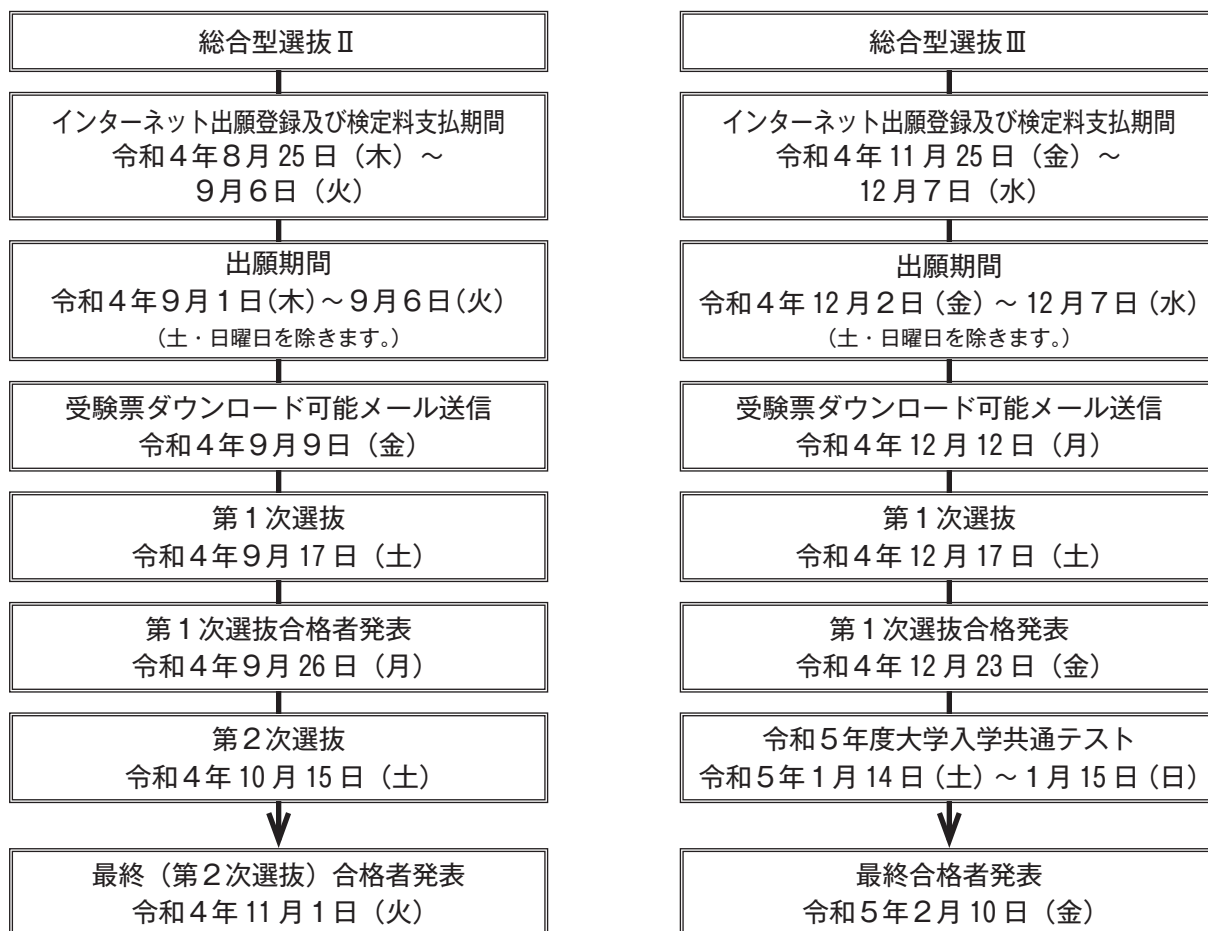
●地域教育文化学部



●理学部



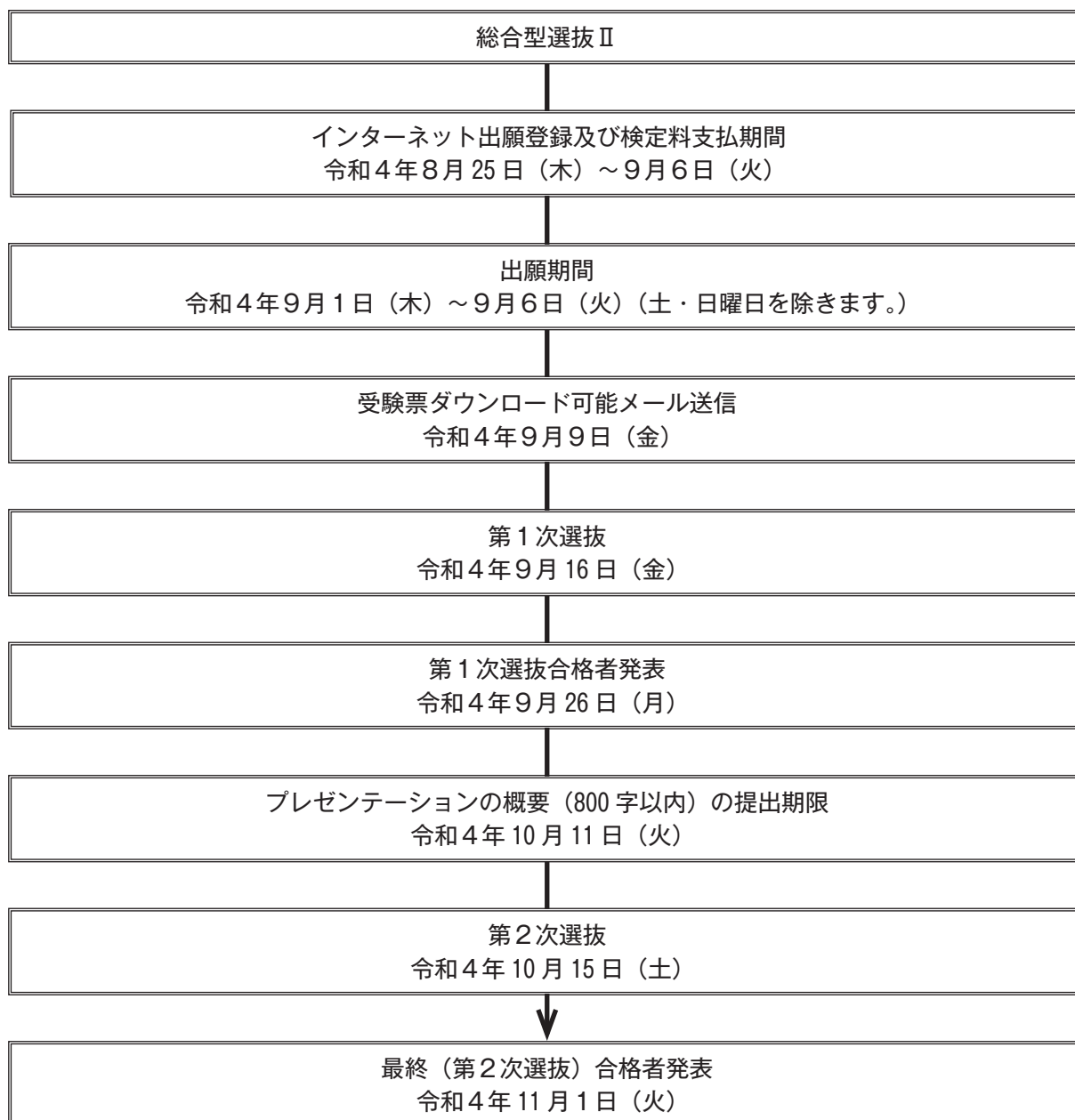
## ●工学部昼間コース



## ●工学部フレックスコース



●農学部



## V 総合型選抜共通事項

### 1 総合型選抜に係る留意事項について

- (1) 一つの国公立大学に入学手続を完了した場合は、それ以後にこれを取り消して他の国公立大学へ入学手続を行うことはできません。
- (2) 本学の総合型選抜Ⅰ及び総合型選抜Ⅱに出願した者が総合型選抜Ⅰ及び総合型選抜Ⅱに不合格となった場合は、本学及び他の国公立大学・学部一般選抜、学校推薦型選抜及び総合型選抜に出願することができます。  
なお、一般選抜、学校推薦型選抜及び総合型選抜に出願する場合は、所定の手続により出願しなければなりません。
- (3) 理学部の総合型選抜Ⅲに出願した場合は、本学の学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜）には出願できません。  
地域教育文化学部地域教育文化学科文化創生コース及び工学部昼間コースの総合型選抜Ⅲに出願した者が総合型選抜Ⅲの第1次選抜に合格した場合は、本学の学校推薦型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課す学校推薦型選抜）には出願できません。  
なお、本学の総合型選抜Ⅲに出願した者は、不合格となった場合に備えて、本学及び他の国公立大学・学部一般選抜に出願することができます。  
また、一般選抜及び学校推薦型選抜に出願する場合は、所定の手続きにより出願しなければなりません。
- (4) 総合型選抜入学志願者は、志願する学科等で課す大学入学共通テスト（総合型選抜Ⅲ（大学入学共通テストを課す総合型選抜）に限る。）及び学力検査等（面接等）を全て受験しなければ失格となります。
- (5) 総合型選抜の合格者は、特別の事情がある場合を除き、入学を辞退することはできません。  
ただし、特別の事情があり、やむを得ず入学を辞退する場合は、所定の期日までに「入学辞退願」（合格学部・学科等名、大学受験番号及び入学を辞退する特別な理由を記載した上で、本人が署名・押印したもの（様式任意）。）を提出し、許可を得てください。
- (6) 総合型選抜の合格者は、所定の期日までに入学手続を行わなければなりません。  
なお、入学手続を完了した者は、前記（5）で示した入学の辞退を許可された場合を除き、本学及び他の国公立大学・学部が実施する入学者選抜試験を受験しても合格者とはなりません。
- (7) 総合型選抜の合格者が所定の期日までに入学手続を行わなかった場合は、合格者としての権利を消失し、なおかつ前記（5）で示した入学の辞退を許可された場合を除き、本学及び他の国公立大学・学部が実施する入学者選抜試験を受験しても合格者とはなりませんので、十分注意してください。
- (8) 国公立大学の一般選抜における合格者決定業務を円滑に行うため、氏名、性別、生年月日、高等学校等コード、山形大学受験番号及び大学入学共通テストの受験番号に限って、総合型選抜の合格者及び入学手続に関する個人情報を、独立行政法人大学入試センター及び併願先の国公立大学に送達します。  
また、本学は、入学試験に関する個人情報を次の目的のために利用します。なお、この目的以外に当該情報を第三者に開示、提供及び預託することはありません。
  - ① 入学者選抜試験実施のため
  - ② 入学手続業務のため
  - ③ 入試統計調査のため
  - ④ 就学上必要な本学での業務のため
  - ⑤ その他大学として必要な業務のため

## 2 受験上及び修学上の配慮を希望する入学志願者の事前相談について

本学に入学を志願する者で、病気・負傷や障害等のために受験上及び修学上の配慮を希望する場合、事前に相談することにより、配慮される場合があります。配慮を希望する者は、申請期限までに、以下の担当に電話連絡の上、所定の申請書に医師の診断書等を添えて提出してください。なお、申請期限後に発生したやむを得ない事情により配慮を希望する必要が生じた場合は、申請期限後であっても申請を受け付ける場合がありますので、該当する場合はできるだけ早めにご相談ください（学内で検討し申請をお断りする場合があります。）。

### 【申請期限】

総合型選抜Ⅰ及び総合型選抜Ⅱ…令和4年8月18日（木）まで

総合型選抜Ⅲ…令和4年11月14日（月）まで

### 【担当】

エンロールメント・マネジメント部入試課

TEL (023)628-4141

また、事前相談は病気・負傷や障害等のある入学志願者が安心して受験に臨み、入学後スムーズに修学できるようにするためのものであり、相談内容によって、入学志願者が不利益を被ることはありません。

提出書類等の詳細については、山形大学ホームページの「入試案内」及び「受験生の方」でお知らせしております。

区 分	対 象 と な る 者
① 視 覚 障 害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・点字による教育を受けている者</li> <li>・両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者</li> <li>・視力以外の視機能障害が高度の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者</li> <li>・上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者</li> </ul>
② 聴 覚 障 害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者</li> <li>・上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者</li> </ul>
③ 肢 体 不 自 由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者</li> <li>・両上肢の機能障害が著しい者</li> <li>・上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者</li> </ul>
④ 病 弱	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者</li> </ul>
⑤ 発 達 障 害	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者</li> </ul>
⑥ そ の 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とする者</li> </ul>

## 3 入学試験情報開示について

### (1) 開示請求受付期間

令和5年5月1日～5月31日（消印有効）

受付時間は、9時から16時30分までとします（土・日曜日、祝日を除きます。）。

### (2) 請 求 者 受験者本人に限ります（代理人による請求は認めません。）。

### (3) 請 求 方 法 受験した学部の担当部署（次ページ参照）の窓口への持参又は郵送により受け付けます。

次の①～③により申し込んでください。

なお、郵送による申込の場合は、受験した学部の担当部署宛ての封筒の表に「〇〇学部入試成績開示申込み」と朱書きしてください。

#### ①令和5年度山形大学入学者選抜試験成績等開示申込書

※申込書は、令和5年4月中旬以降、山形大学ホームページ「入試案内」又は「受験生の方」からダウンロードしてください。

#### ②本学受験票（写しは不可）

※内容を確認後、窓口申込時もしくは成績返送時に返却します。

③返信用封筒（長形3号（23.5cm×12cm）に414円分の切手をはり，請求者の郵便番号・住所・氏名を記入したもの）

(4) 開示方法 請求のあった日の翌日以降2週間以内を目途に，郵送（簡易書留）により開示します。

ただし，請求状況によっては，時間を要する場合がありますので，ご了承ください。

#### 4 総合型選抜に関するお問合せについて

総合型選抜に関する事務は，各学部担当部署で取り扱います。不明な点があれば，電話又は郵送にてお問合せください。なお，郵送による場合は，必要事項（送付先郵便番号・住所・氏名）を記載した返信用封筒（所要切手添付）を同封してください（お問合せ先は，以下の「5 出願書類の提出先及び入学者選抜に関するお問合せ先について」を参照してください）。

#### 5 出願書類の提出先及び入学者選抜に関するお問合せ先について

出願書類は志願学部の担当部署（以下参照）に提出してください。

- (注) 1 出願書類については，志願学部に係る「出願書類及び出願手続」の項を参照してください。  
 2 出願書類受理後は，出願書類等の返還及び記載事項の変更は認めません。  
 3 出願書類の記載事項が事実と相違していることが判明した場合は，入学決定後であっても入学許可を取り消すことがあります。

内 容	担 当 部 署	住 所	電 話 番 号
入試全般に関すること	エンロールメント・マネジメント部入試課	〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12	(023)628-4141
人文社会科学部に関すること	人文社会科学部入試担当	〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 (小白川キャンパス事務部入試課)	(023)628-4207
地域教育文化学部に関すること	地域教育文化学部入試担当		(023)628-4310
理学部に関すること	理学部入試担当		(023)628-4710
工学部に関すること	工学部入試担当	〒992-8510 米沢市城南四丁目3-16	(0238)26-3013
農学部に関すること	農学部入試担当	〒997-8555 鶴岡市若葉町1-23	(0235)28-2808

(注) お問合せは，8:30～17:00（土・日曜日，祝日，8月12日～8月16日，9月22日及び12月28日～1月4日を除く。）の時間帯でお願いします。

#### 6 出願方法等について

(1) 出願期間等

##### 【総合型選抜Ⅰ】

学 部	インターネット出願登録 及び検定料支払期間	出 願 期 間 (持参又は郵送（書留速達）)
人文社会科学部 地域教育文化学部 工学部フレックスコース	令和4年8月25日（木）9時 ～9月6日（火）16時30分	令和4年9月1日（木）～9月6日（火）16時30分【必着】

※持参の場合，出願期間中（土・日曜日を除きます。）の9時から16時30分まで受け付けます。

※出願期間内に到着しない場合は受理しませんので，郵送の場合は郵送にかかる日数を考慮して余裕を持って送付してください。



【総合型選抜Ⅱ】

学 部	インターネット出願登録 及び検定料支払期間	出 願 期 間 (持参又は郵送 (書留速達))
工学部昼間コース 農 学 部	令和4年8月25日(木)9時 ～9月6日(火)16時30分	令和4年9月1日(木)～9月6日(火)16時30分【必着】

※持参の場合、出願期間中(土・日曜日を除きます。)の9時から16時30分まで受け付けます。  
 ※出願期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵送の場合は郵送にかかる日数を考慮して余裕を持って送付してください。

【総合型選抜Ⅲ】





学 部	インターネット出願登録 及び検定料支払期間	出 願 期 間 (持参又は郵送 (書留速達))
地域教育文化学部	令和4年11月21日(月)9時 ～12月2日(金)16時30分	令和4年11月28日(月)～12月2日(金)16時30分【必着】
理 学 部 工学部昼間コース	令和4年11月25日(金)9時 ～12月7日(水)16時30分	令和4年12月2日(金)～12月7日(水)16時30分【必着】

※持参の場合、出願期間中(土・日曜日を除きます。)の9時から16時30分まで受け付けます。  
 ※出願期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵送の場合は郵送にかかる日数を考慮して余裕を持って送付してください。

(2) 出願方法

総合型選抜は、インターネット出願のみの受付となります。必ずインターネット出願サイトで出願登録を行い、出願書類等を出願書類提出期限までに本学に届くように郵送(書留速達)又は持参してください。

出願手続きの手順は以下の通りです。

STEP 1	事前準備	25 ページの「(5) 事前準備」をよく読んで出願の準備をすすめてください。
		
STEP 2	インターネット出願サイトにアクセス	本学ホームページからインターネット出願システムのページ( <a href="https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/entrance/internetapplication">https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/entrance/internetapplication</a> )にアクセスしてください。
		
STEP 3	マイページ登録	画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。
		
STEP 4	出願内容の登録	インターネット出願サイトの指示に従い、必要な情報を入力してください。 <b>登録完了すると、登録した情報は変更できなくなりますので、登録する前に必ず内容の確認をしてから登録してください。</b>
		

STEP 5	検定料の支払い	インターネット出願サイトの指示に従い、検定料を支払ってください。
↓		
STEP 6	出願書類等の印刷と郵送 又は持参	インターネット出願サイトから出願書類等を <b>カラー印刷(A4タテ片面)</b> し、他の全ての出願書類等と合わせて出願期間内に本学に届くように、 <b>郵送(書留速達)又は持参</b> してください。
↓		
STEP 7	受験票の印刷	出願が受理された方は、インターネット出願サイトから受験票をダウンロードできるようになります。(ダウンロード可能期日は本要項 15 ページから 18 ページ「受験票ダウンロード可能メール送信」欄参照) インターネット出願サイトにログインし、入学志願者が各自カラー印刷(A4タテ片面)して、 <b>必ず試験当日に持参してください。</b> (注) 1 メールが届かない場合でも、ダウンロード可能期日(15ページから18ページ参照)以降に受験票がダウンロードできます。ダウンロードした受験票の氏名等に間違いがある場合は、志願学部の担当部署(21ページ参照)へ連絡してください。 2 「山形大学入学試験受験票」は、切り取り線に沿って切り取り、持参してください。 3 「大学入学共通テスト受験票」は入学手続きの際に、「山形大学入学試験受験票」は入学手続き及び入学試験情報開示(20ページ参照)の際に必要になりますので、大切に保管してください。

(注) 出願書類や受験票は、それぞれ指定の方法で印刷してください。ページの拡大/縮小は「なし」で、「自動回転と中央配置」にチェックを入れて印刷してください。

### (3) お問い合わせ先

- インターネット出願サイトの操作方法・検定料支払い方法に関するお問い合わせ先  
株式会社ディスコ「学び・教育」出願・申込サービスサポートセンター  
TEL 0120-202079 (平日10:00~18:00/土・日曜日, 祝日, 年末年始を除く。)

※上記以外の入試に関する質問について、以下のお問い合わせ先に連絡してください。

- 入試全般に関するお問い合わせ先  
山形大学エンrollment・マネジメント部入試課  
TEL (023) 628-4142  
(平日8:30~17:00/土・日曜日, 祝日, 8月12日~16日, 9月22日及び12月28日~1月4日を除く。)

### (4) 検定料の支払い ※4ページ インターネット出願の流れ STEP5 参照

検定料の支払いは、「STEP 4 出願内容の登録」完了後に行います。出願登録完了後に送信される「検定料支払手続きの案内メール」に記載されている、検定料の支払期限内に支払ってください。なお、出願登録完了後に以下のいずれかの手順で支払手続きに進んでください。

- ① 出願登録完了画面から引き続き、「引き続き支払う」をクリックする。
- ② インターネット出願サイトの「出願内容の確認/入学願書の印刷」からログインして、「お支払手続きへ進む」をクリックする。

検 定 料	支 払 期 間
17,000円 (工学部フレックスコース 入学志願者は、10,000円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・21ページから22ページ (1) 出願期間等で該当する箇所を確認してください。</li> <li>・支払期間について、インターネット出願登録を完了した日を含む4日以内の23時59分までに支払ってください。ただし、インターネット出願登録を完了した日から出願締切日までが4日に満たない場合は、出願締切日16時30分までに支払ってください。それ以降の支払いはできません。</li> </ul>

※検定料の支払いには、別途手数料がかかります。手数料は支払人負担となります。手数料の額は、支払手続き画面に表示されます。

支 払 方 法	取 扱 機 関 等
クレジットカード (出願登録に引き続き支払完了)	VISA / Master / JCB / AMERICAN EXPRESS / MUFGカード / DCカード / UFJカード / NICOSカード
ネットバンキング (インターネットで手続き完了)	決済する口座がネットバンキング契約されている必要があります。
コンビニエンスストア	セブン-イレブン / デイリーヤマザキ、ヤマザキデイリーストア / セイコーマート (店頭レジにて支払う。) ローソン、ミニストップ (Loppi) / ファミリーマート (マルチコピー機) (各コンビニ端末画面の表示に従って必要情報を入力し、支払う。)
郵便局・銀行 ATM (ATMの画面表示に従って必要情報を入力し、支払う。)	ページ対応銀行 ATM (ゆうちょ銀行も含まれます。)

#### 【検定料支払いに関する注意事項】

- 1 検定料支払いを完了しても、まだ出願手続きは完了していません。  
引き続き、出願書類等の印刷及び提出を、期間内に必ず行ってください。なお、インターネット出願サイトからの出願書類等の印刷は、検定料支払い前にはできません。
- 2 支払手続きに関する詳細・注意点等は、インターネット出願サイトのトップページ「お支払い方法」も併せて参照してください。
- 3 支払期限を過ぎると、検定料を支払うことはできません。
- 4 支払期限内に入金がない場合、申込は自動的にキャンセルになります。
- 5 インターネット出願登録完了後は、登録内容の修正及び変更はできませんので、誤入力のないよう注意してください。ただし、検定料の支払い前に出願登録内容の誤りに気づいた場合は、検定料を納付せずに、再度「STEP 4 出願内容の登録」からやり直してください (誤った登録データは、支払期間中に検定料が支払われなければ、自動的にキャンセル扱いとなり削除されます)。  
検定料支払い後に出願登録内容の誤りに気づいた場合は、21ページに記載の志願学部を担当部署に連絡してください。
- 6 クレジットカード決済で支払う際のカード名義人は、入学志願者本人でなくても構いません。

#### 【検定料の返還等について】

- 1 総合型選抜Ⅰ及び総合型選抜Ⅲ (地域教育文化学部) 第1次選抜の不合格者には、検定料17,000円のうち13,000円 (工学部フレックスコースについては、10,000円のうち7,800円) を返還します。返還手続の詳細については、本学ホームページで確認してください。
- 2 既に払い込んだ検定料は、上記1及び次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
  - ① 検定料を払い込んだが出願しなかった場合 (出願書類を提出しなかった場合又は出願が受理されなかった場合)
  - ② 誤って検定料を二重に払い込んだ場合

3 返還についてのお問合せは、志願学部を担当部署（21ページ参照）をお願いします。

なお、申出期限は令和5年3月31日（金）までとします。

4 本学では、東日本大震災及び令和4年4月以降に発生した自然災害等で被災された方の経済的負担を軽減し、受験機会を提供するために、令和5年度学部入学選抜試験に係る検定料について、免除の特別措置を講じます。詳細は、本要項の目次の下、本学ホームページ「入試案内」又は「受験生の方」でご確認願います。

(5) 事前準備

インターネット出願登録の前に、あらかじめ余裕を持って確認及び準備をしてください。	
パソコン等の準備	<p>インターネット出願は、以下の環境で行ってください。</p> <p>パソコン利用時推奨ブラウザ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・Microsoft Edge 最新版</li> <li>・Google Chrome 最新版</li> <li>・Mozilla Firefox 最新版</li> <li>・Apple Safari 8以降</li> </ul> <p>※ブラウザのタブ機能を使用して、複数のタブで同時に申込操作を行うと、選択した内容が他のタブに引き継がれてしまう等の不具合が発生する場合があります。複数タブでの同時申込操作は行わないでください。</p> <p>※スマートフォンやタブレットなどのモバイル端末は、<b>閲覧等は可能ですが推奨環境ではありません</b>。一部の端末からは画面が正常に表示されない場合があります。また、印刷をするための印刷機能を必要としますので、パソコンからの利用を推奨します。</p>
メールアドレスの用意及びメールの設定	<p>出願にはメールアドレスが必要となりますので、事前にメールアドレスを用意してください。スマートフォン、携帯電話等のメールアドレスも利用可能です。なお、ドメイン指定受信の設定をされている方は、次のドメインからのメールを受信できるように設定を追加してください。</p> <p style="text-align: center;"><b>@ e-apply.jp</b></p> <p>出願時に登録したメールアドレスに、以下のメールが送信されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①マイページ登録時のテストメール</li> <li>②出願登録情報の入力後の自動送信メール</li> <li>③検定料支払い完了時の自動送信メール</li> <li>④受験票がダウンロード可能になった際の通知メール</li> </ol> <p>※その他、試験に関するお知らせをする場合があるため、試験が終了するまでメールアドレスは変更しないでください。</p>
入学志願者本人の顔写真（データ）の準備	<p>出願登録に当たって、顔写真データ（ファイル形式自由、2MBまで）が必要です。写真は本人確認に使用しますので、出願前3か月以内に撮影した正面向き、上半身、無帽、背景無しのカラー写真データを準備してください。</p> <p>以下の【使用できない写真の例】に該当するような、本人確認に支障のある写真の場合には、出願を受け付けられないことがあるので注意してください。</p> <p><b>【使用できない写真の例】</b></p> <p>不鮮明、背景が暗い、顔が横向き、化粧や前髪が目にかかる等で本人確認が困難、複数名で写っている、画像に加工を施している、プリントされた写真を再撮影しているもの等。</p>
その他出願に必要な書類の用意	<p>高等学校等が発行する「調査書」、大学入学共通テスト受験票の下欄に付属の「令和5共通テスト成績請求票」等、インターネット出願サイトから印刷する様式以外の紙媒体の書類を、出願期間に間に合うようあらかじめ用意してください（各選抜の「学部別募集要項細目」の「5 出願書類及び出願手続」参照）。出願に必要な書類を山形大学ホームページ又はインターネット出願サイトからあらかじめダウンロードし、印刷・記入してください。</p>
角形2号封筒の用意	<p>出願書類提出のために、市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）を用意してください。</p>
様式印刷の用意（プリンタ、用紙等）	<p>インターネット出願サイトから出力する様式類は、<b>A4タテ片面でカラー印刷</b>する必要がありますので、カラープリンタ及び印刷用紙（普通紙、P-PC用紙、OA共通用紙、コピー用紙等）を用意してください。</p> <p>印刷条件に適合していれば、公共施設やコンビニエンスストアの印刷サービスを利用して印刷しても構いません（個人情報の取扱いには十分注意してください）。</p>

## VI 総合型選抜 I (大学入学共通テストを課さない総合型選抜)

### 学部別募集要項細目

#### 【人文社会科学部】

##### 1 募集人員

	学科・コース名	募集人員
人文社会科学科	グローバル・スタディーズコース	4人

##### 2 趣旨

グローバル・スタディーズコースでは、外国語教育を基盤としつつ、文化学から社会科学に至る幅広い教育・研究を行うことで、地域の中でグローバル化を推進できる人材を養成します。グローバル・スタディーズコースの求める学生像は、以下のとおりです。

- ① 国際社会やグローバル化や異文化理解についての強い関心と、勉学の意欲を持っている人
- ② 留学等を通じた海外体験に強い関心を持ち、相互尊重の精神に基づき、世界の人々と協調して行動する人
- ③ 基礎的な英語力を身に付けており、外国語学習への強い関心を持ち、大学で身に付ける語学力と専門知識を用いて、社会に貢献する意欲を持っている人

グローバル・スタディーズコースでは、上の①～③に該当する学生を募集するために、総合型選抜を実施します。この入試の目的は、従来の入学試験では必ずしも適切に判定できないような資質や能力等を評価することによって、グローバル社会で活躍可能な人材を広く求めることにあります。

この総合型選抜の第1次選抜は書類選抜、第2次選抜は小論文（日本語で作成します。）及び面接（口頭試問を含みます。）となります。

第1次選抜では、調査書、志望理由書及び自己PR書に基づき、グローバル・スタディーズコースでの学修に対する入学志願者の適性や意欲、さらに本人の目的意識等について、多面的に審査します。

第2次選抜では、第1次選抜合格者に対して、小論文（日本語で作成します。）及び面接（口頭試問を含みます。）を実施します。まず、事前に英文記事の読解を義務付けた上で、試験当日には、上記の英文に関する小論文（具体的な課題は当日に与えます。）を課し、さらに面接を行い、総合的に可否を判定します。面接では口頭試問に加えて、（1）国際社会やグローバル化や異文化理解についての関心、本学部グローバル・スタディーズコースで学ぼうとする意欲、（2）留学等の海外体験への関心、（3）外国語教育への関心、の3つについて問い、併せて、卒業後の進路計画に関する質疑応答を行います。

##### 3 出願資格・出願要件

次の（1）から（3）のすべての資格・要件を満たす者とします。

- （1） 次のいずれかに該当する者
  - 1 高等学校又は中等教育学校を卒業した者
  - 2 高等学校又は中等教育学校を令和5年3月卒業見込みの者
  - 3 高等専門学校の第3学年を修了した者又は令和5年3月修了見込みの者
  - 4 通常の課程による12年の学校教育を修了した者又は令和5年3月修了見込みの者
  - 5 学校教育法施行規則第150条（第6号を除く。）の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者又は令和5年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- （2） 本学部グローバル・スタディーズコースで学ぶための適性と強い意欲を持つ者
- （3） 合格した場合、入学することを確約できる者

なお、大学入学共通テストは課しません。

※他学部の総合型選抜 I 及び本学の総合型選抜 II には同時に出願することができません。

## 4 出願受付期間等

### (1) 出願受付期間

令和4年9月1日(木)から9月6日(火)まで(土・日曜日を除きます。)

※持参・郵送ともに9月6日(火)まで(必着)

受付時間は、9時から16時30分までとします。

(注) 出願受付期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵送(書留速達)の場合は、郵送にかかる日数を考慮して余裕を持って送付してください。

### (2) 出願書類の提出先

人文社会科学部入試担当(21ページ参照)に提出してください。

## 5 出願書類及び出願手続

入学志願者は、インターネット出願システムから登録し、検定料を支払った後、入学願書を印刷できるようにします。入学願書を印刷の上、出願書類を一括し、出願書類提出期限までに本学に届くように郵送(書留速達)又は持参により提出してください。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
入学願書	○ 入学願書は、検定料の支払後に印刷可能となります。インターネット出願サイトから <b>A4タテ片面でカラー印刷</b> してください。 ○ 「入学志願者現住所」欄には、願書提出の日から令和5年3月31日(金)まで確実に郵送物を受け取ることのできる住所を入力してください。 なお、電話連絡の際に呼び出しになる場合は、呼び出し番号(〇〇様方)を入力してください。
調査書	○ 出身学校長が作成し、 <b>厳封</b> してください。 ただし、高等専門学校については、文部科学省が定めた調査書に準じて作成してください。
志望理由書	○ 所定の用紙を本学ホームページから <b>A4タテ両面で印刷</b> し、グローバル・スタディーズコースを「志望する理由」、「入学した場合どのような分野の勉強をしたいのか、分野名とその理由」、「卒業後どのような職業に就きたいか(現時点)」に分けて、各事項について <b>400字以内</b> で記入し、提出してください。
自己PR書 【人文社会科学部・地域教育文化学部用】	○ 所定の用紙を本学ホームページから <b>A4タテ両面で印刷</b> し、PRしたい内容を <b>1,000字以内</b> で記入してください。PRの内容に応じて、資格の証明書や賞状等の写しや他の参考資料を添付して提出することができます。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、高等学校等における部活動等の諸活動や大会、資格・検定試験等に参加できず、実績や結果を記載できないことをもって入学志願者が不利益を被ることはありませんが、必要により、成果獲得に向けた努力のプロセス等について記載してください。
出願書類提出用 角形2号封筒	○ 市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)を各自で用意し、出願書類をすべて封入し、出願書類提出用宛名シートをはり付けて郵送(書留速達)又は持参により、提出してください。
出願書類提出用 宛名シート	○ インターネット出願サイトから <b>A4タテ片面でカラー印刷</b> してください(入学願書と同時に印刷できます)。角形2号封筒(24cm×33.2cm)の表面に、はがれないように全面のり付けではり付けてください。

(注) 1 出願書類に記載すべき事項の記入もれ、その他不備がある場合は、**出願書類を受理しない**ことがあります。

2 記入に当たっては黒のボールペンを用いて、漢字は楷書で書き、数字は算用数字を用いてください。ただし、こすると消えるインキは使用しないでください。訂正する場合は、二重線で消し、訂正印を押してください。

3 出願書類に記入する氏名及び生年月日は、必ず戸籍上のもの(日本国籍を有しない者は住民票上のもの)としてください。ただし、インターネット出願システムに戸籍上の氏名を入力した際に、正しく入力できない場合は、入力できる文字に変更してください。

4 インターネット出願システムに入力後、出力したものを訂正する場合は、志願学部の担当部署(21ページ参照)に連絡の上、指示に従ってください。

## 6 選抜方法等

### (1) 第1次選抜

選 抜 方 法	<p>提出された調査書，志望理由書及び自己PR書の内容を評価します。 配点は次のとおりです。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">調査書，志望理由書及び自己PR書</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">100点</td> </tr> </table>	調査書，志望理由書及び自己PR書	100点
調査書，志望理由書及び自己PR書			
100点			
採点・評価基準	志望理由書では，本学での修学計画と卒業後の進路の希望，そして本学部グローバル・スタディーズコースを志望する理由について評価します。		
合否判定基準	調査書，志望理由書及び自己PR書を総合して合否を判定します。		

◎ 書類選抜のみになりますので，来学する必要はありません。

### (2) 第2次選抜

第1次選抜合格者に対して，次のとおり第2次選抜を実施します。

選 抜 期 日	令和4年10月15日（土）		
時 間	小論文（10：00～12：00），面接（13：30～）		
科 目 等	小論文（日本語で作成します。）及び面接（口頭試問を含みます。）		
選 抜 方 法	<p>小論文（2時間）の後，面接（30分程度）を実施します。 小論文については，第2次選抜の当日に具体的な課題が与えられます。その課題に関して，事前に指定した英文記事の内容に基づき，日本語での小論文の作成を課します。小論文試験の際には，第1次選抜の合格通知の際に郵送した英文記事の写しを配付します（先に郵送した英文記事本体を試験時間中に参照することはできません）。また，面接（口頭試問を含みます。）では出願書類を参考にしつつ，質疑応答を行います。 配点は次のとおりです。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">小論文（日本語で作成します。）及び面接（口頭試問を含みます。）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">100点</td> </tr> </table>	小論文（日本語で作成します。）及び面接（口頭試問を含みます。）	100点
小論文（日本語で作成します。）及び面接（口頭試問を含みます。）			
100点			
採点・評価基準	<p>小論文では，受験者が書いた内容について，（1）課題に対する理解の的確さ，（2）論旨の説得力，（3）日本語表現，（4）独創性といった観点から，評価を行います。また，上記とあわせて，事前に渡した英文記事に関する読解の正確さに関しても審査し，受験者が入学後の学修のために必要な基礎的英語力を有しているかを判定します。 面接（口頭試問を含みます。）では，受験者の基礎学力，志望動機，勉学や海外体験への意欲を総合的に評価します。</p>		
合 否 判 定 基 準	<p>1 小論文（日本語で作成します。）及び面接（口頭試問を含みます。）の結果により合否を判定します。 2 合格人員の最下位に同点者がいる場合は，この同点者は全員合格とします。</p>		

◎ 人文社会科学部試験場（山形市小白川町一丁目4-12）において実施します。

第2次選抜に向けた詳細については，第1次選抜合格者に別途通知します。

## 7 合格者の発表

### (1) 発表日時及び発表方法

合格者の発表は、次のとおり行います。

発表日時	発表方法
第1次選抜合格者発表 令和4年9月22日(木)11時	本学のホームページの「入試案内」に合格者の大学受験番号を掲載します。
最終(第2次選抜)合格者発表 令和4年11月1日(火)11時	

(注) 1 電話等による可否のお問合せには、一切応じません。

2 ホームページによる合格者の発表については、発表直後にアクセスが集中し、ホームページがつながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。

### (2) 合格通知

合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書を送付します。

## 8 入学手続

入学手続は次のとおりです。

### (1) 入学手続期間

令和4年12月5日(月)～12月8日(木)(必着)

受付時間は、9時から16時30分までとします。

なお、合格者が令和4年12月8日(木)までに入学手続を完了しないときは、合格者としての権利を消失しますので、十分注意してください。

### (2) 入学料

入学手続の際に納付していただきます。

○入学料：282,000円

### (3) 提出書類

入学手続の際に提出する書類は、受験票、入学誓書、学生証用写真等です。

詳細については、合格通知の際にお知らせします。

### ※ 留意事項(入学辞退について)

やむを得ず入学を辞退する場合には、令和4年12月8日(木)までに「入学辞退願」を提出し、許可を得てください。

また、特別の事情がある場合は、令和5年2月14日(火)までに提出し、許可を得てください。

この入学辞退を許可された場合を除いては、他に出願済の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても合格者となりませんので、十分注意してください。

## 9 授業料

入学後に納付していただきます。

○授業料：年額535,800円(予定額)

納付方法については、「年1回払い」、「年2回払い」、「年10回均等払い」、「年10回ボーナス併用払い」から選択できます。

(注) 1 上記の金額は、予定額です。

2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。



## 【地域教育文化学部】

### 1 募集人員

学科・コース名		実技検査区分名	募集人員（計14人）
地域教育文化学科	文化創生コース	美術分野	1人程度
		音楽分野	6人程度
		スポーツ分野	7人程度

### 2 趣旨

文化創生コースは、地域の人々の心身の健康や主体的な地域文化創生活動を支えることを通じて、多様な地域課題の解決や地域社会の持続可能な発展に貢献する意欲を持った学生を受け入れます。そのため、高等学校までの基礎的な学力や得意分野に関するすぐれた理解・技能を有し、地域文化のコーディネーター・ファシリテーターを目指す意欲を持った学生を受け入れます。

本コースには、次の3つのプログラムがあります。

- ①地域の健康を「こころ」と「からだ」の側面から科学的に分析し、支援できる人材を養成する「心身健康支援プログラム」
- ②地域住民が文化的に豊かな生活を構築するために、芸術的なスキルの実践を通じて貢献できる人材を養成する「芸術文化創生プログラム」
- ③大学院社会文化創造研究科社会文化創造専攻芸術・スポーツ科学コースに進学することを前提に、6年一貫教育を行い、「音楽芸術」「造形芸術」「スポーツ科学」分野において、スキルの更なる向上及び地域創生に貢献するための専門知識を養う「チャレンジプログラム」

上記のようなコースの特色に鑑み、美術、音楽、スポーツの各分野で将来性豊かな人材の発掘を目指し、総合型選抜Ⅰを実施します。

第1次選抜では、本コースで学びたい意欲と、そのために必要な実技の能力を、これまでの活動実績や成績等をもとに調査書、志望理由書及び自己PR書から判断します。

第2次選抜では、入学志願者本人に直接面接（口頭試問を含みます。）することにより、文化創生コースの教育目標やアドミッション・ポリシーの理解度、目的意識、学習意欲等について評価します。また、実技検査（美術、音楽、スポーツから1つを選択します。）を実施することにより、文化創生に関わる適性や実技の優れた能力等を測り、面接と合わせて多角的な観点から入学志願者の資質・能力と将来性を評価します。

### 3 出願資格・出願要件

次のすべての資格・要件を満たす者とします。

- (1) 次のいずれかに該当する者
  - ①高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和5年3月に卒業見込みの者
  - ②高等専門学校第3学年を修了した者又は令和5年3月に修了見込みの者

- (2) 合格した場合、入学することを確約できる者

なお、大学入学共通テストは課しません。

※他学部の総合型選抜Ⅰ及び本学の総合型選抜Ⅱには同時に出願することができません。

### 4 出願受付期間等

- (1) 出願受付期間

令和4年9月1日（木）から9月6日（火）まで（土・日曜日を除きます。）

※持参・郵送ともに9月6日（火）まで（必着）

受付時間は、9時から16時30分までとします。

（注） 出願受付期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵送（書留速達）の場合は、郵送にかかる日数を考慮して余裕を持って送付してください。


- (2) 出願書類の提出先

地域教育文化学部入試担当（21ページ参照）に提出してください。

## 5 出願書類及び出願手続

入学志願者は、インターネット出願システムから登録し、検定料を支払った後、入学願書が印刷できるようになります。入学願書を印刷の上、出願書類を一括し、出願書類提出期限までに本学に届くように郵送（書留速達）又は持参により提出してください。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意	
入学願書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入学願書は、検定料の支払後に印刷可能となります。インターネット出願サイトから<b>A 4 タテ片面でカラー印刷</b>してください。</li> <li>○ 「入学志願者現住所」欄には、願書提出の日から令和5年3月31日（金）まで確実に郵送物を受け取ることのできる住所を入力してください。 なお、電話連絡の際に呼び出しになる場合は、呼び出し番号（〇〇様方）を入力してください。</li> </ul>	
調査書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 出身学校長が作成し、<b>厳封</b>してください。 ただし、高等専門学校については、文部科学省が定めた調査書に準じて作成してください。</li> </ul>	
志望理由書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 所定の用紙を本学ホームページから<b>A 4 タテ両面で印刷</b>し、「文化創生コースを志望する理由」、「入学した場合どのような分野の勉強をしたいのか、分野名とその理由」に分けて、各事項について<b>400字以内</b>で記入してください。</li> </ul>	
自己PR書 【人文社会科学部・地域教育文化学部用】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 所定の用紙を本学ホームページから<b>A 4 タテ両面で印刷</b>し、PRしたい内容を1000字以内で記入してください。特に下記の①～③に該当する内容がある場合はそれについて記入し、提出してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①学校内の特別活動や部活動等での顕著な成績。</li> <li>②学校外の活動（音楽・美術の場合はコンクール、演奏活動などを含む。）における表彰、受賞歴。</li> <li>③上記①及び②に記載の活動において、入学志願者本人が成果獲得に向けて取り組んだ具体的なプロセス。</li> </ul> </li> <li>○ <u>なお、評価の対象となる活動は高等学校在学時（中等教育学校においては後期課程在学時）のみとします。（小・中学校時等の活動は評価の対象となりません。）</u></li> <li>○ 自己PR書に記入した①及び②について、<u>表彰等の実績がある場合</u>、これらを証明する以下の書類等の写しを添付してください。  <ul style="list-style-type: none"> <li>・表彰状（大会が地区予選・本選等にわかれている場合は、最終的な成績がわかるもののみ）</li> <li>・コンクール、発表会等に参加したことがわかるプログラム、演目等（氏名等の記載がある該当ページのみ）</li> </ul> </li> <li>※表彰状がある場合、同大会もしくは同コンクール等のプログラムを提出する必要はありません。</li> </ul>	
添付資料	以下の各分野から、 <b>いずれか一つ</b> を選択し、指定する資料を提出してください。	
美術分野	A 4判ポートフォリオ	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 美術分野における過去の作品等をA 4ファイルにまとめたもの。必ずその中に出願前2年以内に入学志願者本人が制作したA 4サイズの鉛筆による人物素描と静物素描の作品実物（写しではない）をそれぞれ1枚ずつ含めること。素描に用いる用紙は自由とする。素描の制作時間は3時間程度を目安としています。 ポートフォリオは別途梱包の上、地域教育文化学部入試担当まで、持参又は書留速達で提出してください。（出願書類受付最終日までに必着）</li> </ul>

美術分野	A 4判ポートフォリオ	<p>なお、梱包物に「ポートフォリオ在中」と朱書きしてください。</p> <p>※ポートフォリオは第1次選抜、第2次選抜いずれかの終了後に返却します。</p>
	<p>学校長等の証明書 (様式任意)</p>	<p>○ A 4判ポートフォリオが、入学志願者本人の作品であることを証明する学校長等の証明書(学校長による証明が困難である場合、造形教室の先生等、証明できる者の証明書であれば可)</p>
音楽分野	<p>○ 【音楽分野】で受験する場合は、【声楽】【ピアノ】【管弦打楽器】【作曲】のいずれか一つを選択してください。</p> <p>【管弦打楽器】選択者は、36ページ「7 音楽分野受験にあたっての注意事項(1)」の注意事項を確認してください。</p> <p>○ 受験者全員が、下記の二次元コード又はURLから演奏曲等に関する情報登録をしてください。</p>  <p>URL : <a href="https://forms.office.com/r/ZgxgQgwJkD">https://forms.office.com/r/ZgxgQgwJkD</a></p>	
	音楽の能力を測るもの	<p>【声楽】【ピアノ】【管弦打楽器】</p> <p>○ 10分以内の演奏(省略可、複数曲可)の動画データ</p> <p>○ 「コールユーブンゲン」の以下の5曲のうち任意の1曲の動画データ 第1巻, 原書番号 No.48c), No.68, No.76c), No.78c), No.82c) 固定ド唱法又は移動ド唱法のいずれかを用いてください。</p> <p>※上記2点をあわせて1枚のDVDに集録し、添付してください。DVDについての詳細は、36ページ「7 音楽分野受験にあたっての注意事項(2)」を参照してください。</p>
		<p>【作曲】</p> <p>○ 出願前2年以内に作曲した作品1~3点の楽譜(手書きが望ましい)の写し</p> <p>※可能であれば上記作品の演奏音源を添付してください。</p> <p>○ 「コールユーブンゲン」の以下の5曲のうち任意の1曲の動画データを収録したDVD 第1巻, 原書番号No.48c), No.68, No.76c), No.78c), No.82c) 固定ド唱法又は移動ド唱法のいずれかを用いてください。</p> <p>DVDについての詳細は、36ページ「7 音楽分野受験にあたっての注意事項(2)」を参照してください。</p>
	学校長等の証明書 (様式任意)	<p>○ 【作曲】受験者は、作曲作品が入学志願者本人の作品であることを証明する学校長等の証明書(学校長による証明が困難である場合、個人レッスンの先生等、証明できる者の証明書であれば可)</p>
スポーツ分野	スポーツ活動に関する調査書	<p>○ 所定の用紙を本学ホームページからダウンロードし、入学志願者本人が主な競技成績等を記入したものを提出してください。ただし、主な競技成績等がない場合は、その旨を記入してください。なお、競技成績等がない場合でも、総合型選抜I(スポーツ分野)への出願は可能です。</p>
	競技成績等を証明するもの	<p>○ 「スポーツ活動に関する調査書」に記入した競技成績(成績及び記録、試合出場状況)を客観的に証明できる資料(公式試合における本人の出場記録、公式記録あるいは大会報告書、表彰状、新聞記事事項、スポーツ専門雑誌記事事項、競技団体の機関紙の写し等)を必ず添付してください。</p> <p>なお、書式はA 4片面(拡大・縮小可)に統一してください。ただし、自己PR書に添付の証明書類と重複する場合は、同一の書類を改めて添付する必要はありません。</p>

出願書類提出用 角形2号封筒	○ 市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)を各自で用意し、出願書類をすべて封入し、出願書類提出用宛名シートをはり付けて郵送(書留速達)又は持参により、提出してください。
出願書類提出用 宛名シート	○ インターネット出願サイトから <b>A4タテ片面でカラー印刷</b> してください(入学願書と同時に印刷できます。)。角形2号封筒(24cm×33.2cm)の表面に、はがれないように全面のり付けではり付けてください。

- (注) 1 出願書類に記載すべき事項の記入もれ、その他不備がある場合は、**出願書類を受理しない**ことがあります。
- 2 記入に当たっては黒のボールペンを用いて、漢字は楷書で書き、数字は算用数字を用いてください。ただし、こすると消えるインキは使用しないでください。訂正する場合は、二重線で消し、訂正印を押してください。
- 3 出願書類に記入する氏名及び生年月日は、必ず戸籍上のもの(日本国籍を有しない者は住民票上のもの)としてください。ただし、インターネット出願システムに戸籍上の氏名を入力した際に、正しく入力できない場合は、入力できる文字に変更してください。
- 4 インターネット出願システムに入力後、出力したものを訂正する場合は、志願学部の担当部署(21ページ参照)に連絡の上、指示に従ってください。

## 6 選抜方法等

### (1) 第1次選抜

選 抜 方 法	提出された調査書，志望理由書及び自己PR書の内容を評価します。 配点は次のとおりです。	
	<table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="padding: 5px;">調査書，志望理由書及び自己PR書</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">100点</td> </tr> </table>	調査書，志望理由書及び自己PR書
調査書，志望理由書及び自己PR書		
100点		
採点・評価基準	志望理由書では，本学で何を学びたいのかの計画が明確に示されているかを評価します。また，自己PR書では，記載された活動履歴やPR内容をもとに，本学で学ぶ意欲とそれに必要な実技の能力等について評価します。	
合否判定基準	調査書，志望理由書及び自己PR書を総合して合否を判定します。	

◎ 書類選抜のみになりますので，来学する必要はありません。

### (2) 第2次選抜

第1次選抜合格者に対して，次のとおり第2次選抜を実施します。

なお，出願時に選択した分野ごとに「選抜方法」及び「採点・評価基準」が異なります。

選 抜 期 日	令和4年10月15日（土）～10月16日（日）までの期間で本学部が指定する1日～2日	
時 間	調整の上，決定	
科 目 等	実技検査（美術・音楽・スポーツから1つを選択します。）及び面接（口頭試問を含みます。）	
選 抜 方 法		
美術分野	実技検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 90分以内で鉛筆による素描のテストを実施します。そのために必要な鉛筆等の画材や道具は各自で準備してください（素描に用いる用紙・画板はこちらで用意します。）。</li> <li>※新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては，対面での実技検査を実施せず，第1次選抜の提出物により実技を評価します。</li> </ul>
	面接 （口頭試問を含みます。）	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 出願書類及び添付資料（ポートフォリオを含みます。）をもとに，造形芸術に対する関心や基礎的な知識に関すること及び自身の造形実践や経験の内容，入学後の取り組み等について質問します。</li> <li>なお，ポートフォリオに含まれる作品の実物（2点以内）を準備してください。</li> <li>作品は受験者本人が一人で持ち運びできる大きさのものに限りします。</li> </ul>
音楽分野	実技検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 【声楽】【ピアノ】【管弦打楽器】受験者は，第1次選抜で提出したDVDの楽曲を5分以上10分以内で演奏してください（繰り返しは任意，複数曲可）。演奏は途中で止めることがあります。</li> <li>○ 【声楽】受験者で，ピアノ伴奏が必要な場合は伴奏者を同伴してください。【管弦打楽器】受験者は，無伴奏で試験を行います。</li> </ul>

音楽 分野	実技検査	<p>○ 【作曲】受験者は、機能と声に基づく四声体のバス課題（三和音及び属七の和音による）を実施します（所要時間90分）。</p> <p>○ 受験者全員に対し「コールユープンゲン」の試験を実施します（第1巻，原書番号No.48～No.87から1曲を当日指定します）。固定ド唱法，移動ド唱法のいずれかを用いてください。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては，対面での実技検査を実施せず，第1次選抜の提出物により実技を評価します。</p>
	面接 (口頭試問を含みます。)	<p>○ 出願書類及び添付資料をもとに，音楽芸術に対する関心や，実技検査の演奏曲又は出願時に提出した作曲作品に関すること及び自身の音楽実践や経験の内容，入学後の取り組み等について質問します。</p> <p>また，音楽の基礎力を問うため，楽典（楽語，音程，音階，調，和音等）について質問します。</p>
スポーツ 分野	実技検査	<p>○ 運動能力を評価するためのテストを実施します。実技検査の詳細に関しては，第1次選抜合格時に示します。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては，対面での実技検査を実施せず，第1次選抜合格後に提出する実技動画のDVDにより実技を評価します。DVDについての詳細は，36ページ「8 スポーツ分野受験にあたっての注意事項」を参照してください。</p> <p>DVDは，コロナウイルス感染症の感染拡大による選抜方法の急な変更に対応するためのものであり，提出期限は令和4年10月14日（金）必着とします。</p>
	面接 (口頭試問を含みます。)	<p>○ 出願書類及び添付資料をもとに，スポーツ，運動，身体等の知識や思考力に関すること及び自身の運動実践や経験の内容，入学後の取り組み等について質問します。</p>
配点 (分野共通)	実技検査及び面接(口頭試問を含みます。)	100点
採点・評価基準		
美術 分野	実技検査及び面接(口頭試問を含みます。 )では，美術に関わる基礎的能力（発想力，構成力，造形表現力）と適性，学習意欲及び高校生活における社会活動等の経験などを総合的に評価します。	
音楽 分野	実技検査及び面接(口頭試問を含みます。 )では，音楽に関わる基礎的能力（演奏能力，楽典等の知識，ソルフェージュ能力）と適性，学習意欲及び高校生活における社会活動等の経験などを総合的に評価します。	
スポーツ 分野	実技検査及び面接(口頭試問を含みます。 )では，スポーツに関わる能力（スポーツ，運動，身体等の知識や思考力，運動能力）と適性，学習意欲及び高校生活における社会活動等の経験などを総合的に評価します。	
合否判定基準	<p>1 実技検査及び面接(口頭試問を含みます。 )の結果により合否を判定します。</p> <p>2 合格人員の最下位に同点者がいる場合は，この同点者は全員合格とします。</p>	

◎ 地域教育文化学部試験場（山形市小白川町一丁目4-12）において実施します。

第2次選抜に向けた詳細については，第1次選抜合格者に別途通知します。

## 7 音楽分野受験にあたっての注意事項

### (1) 管弦打楽器選択者への注意事項

管弦打楽器はフルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォン、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、打楽器のいずれかでの受験が可能です（ただし、サクソフォン、ユーフォニアム、チューバ受験者については、入学後の「合奏（オーケストラ）」、また関連の授業において、弦楽器等、別の管弦打楽器を選択してもらうことがあります。）。

### (2) DVDに関する注意事項

志願者本人が演奏している映像を提出してください。

映像の作成にあたっては、以下の点に留意してください。

- ・データ形式で収録する。
- ・拡張子はavi,mov,mp4,wmv,flvのいずれかとする。
- ・DVDの盤面に、演奏曲名と作曲家名（コールユーブンゲンに関しては原書番号）を記載する。
- ・動画の冒頭で、カメラに対し正面から氏名を申告する。
- ・志願者の顔と手（声楽の場合は顔）が見えるように録画する。

## 8 スポーツ分野受験にあたっての注意事項

### DVDに関する注意事項

志願者本人が実際にプレイしていることが判別できる映像を提出してください。主として、出願書類「スポーツ活動に関する調査書」の競技等成績欄に記載した試合の映像としますが、出願書類「スポーツ活動に関する調査書」の競技等成績欄に記載していない試合の映像や、公式試合以外の映像（練習試合の映像や練習している様子を撮影したもの）の使用も可とします。

映像の作成にあたっては、以下の点に留意してください。

- ・5分以内
- ・拡張子はavi,mov,mp4,wmv,flvのいずれかとする。
- ・映像を切り取り、繋ぎ合わせることができない場合は視聴させたい範囲を指定する。  
例：12分50秒～15分50秒と3分13秒～5分13秒
- ・映像上で志願者本人を判別するための情報について任意の文書にまとめる。  
例：赤色ユニフォームを着た10番の選手
- ・映像は加工しない。  
例：拡大・縮小、色の補正、音声の追加、文字や図形の挿入、再生速度の変更など

## 9 合格者の発表

### (1) 発表日時及び発表方法

合格者の発表は、次のとおり行います。

発表日時	発表方法
第1次選抜合格者発表 令和4年9月22日（木）11時	本学のホームページの「入試案内」に合格者の大学受験番号を掲載します。
最終（第2次選抜）合格者発表 令和4年11月1日（火）11時	

(注) 1 電話等による合否のお問合せには、一切応じません。

2 ホームページによる合格者の発表については、発表直後にアクセスが集中し、ホームページがつながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。

### (2) 合格通知

合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書を送付します。

## 10 入学手続

入学手続は次のとおりです。

- (1) 入学手続期間  
令和4年12月12日(月)～12月15日(木)(必着)  
受付時間は、9時から16時30分までとします。  
なお、合格者が令和4年12月15日(木)までに入学手続を完了しないときは、合格者としての権利を消失しますので、十分注意してください。
- (2) 入学料  
入学手続の際に納付していただきます。  
○入学料：282,000円
- (3) 提出書類  
入学手続の際に提出する書類は、受験票、入学誓書、学生証用写真等です。  
詳細については、合格通知の際にお知らせします。

※ 留意事項(入学辞退について)

やむを得ず入学を辞退する場合には、令和4年12月15日(木)までに「入学辞退願」を提出し、許可を得てください。

また、特別の事情がある場合は、令和5年2月17日(金)までに提出し、許可を得てください。

この入学辞退を許可された場合を除いては、他に出願済の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても合格者となりませんので、十分注意してください。

## 11 授業料

入学後に納付していただきます。

○授業料：年額535,800円(予定額)

納付方法については、「年1回払い」、「年2回払い」、「年10回均等払い」、「年10回ボーナス併用払い」から選択できます。

(注) 1 上記の金額は、予定額です。

2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

## 12 大学入学共通テスト自己採点結果の提出について

総合型選抜Ⅰ(地域教育文化学部地域教育文化学科文化創生コース)の合格者は、「令和5年度入学者選抜要項」の22ページに示す地域教育文化学部地域教育文化学科文化創生コースの大学入学共通テストの利用教科・科目名欄に記載の「5教科6科目又は5教科7科目」について解答し、自己採点結果を地域教育文化学部入試担当へ提出してください(大学入学共通テストの問題等は、インターネットや新聞等で入手できます)。

なお、これは入学までの期間の勉強意欲継続のため、また、基礎学力を把握し、入学後の学習支援に活用するために行うものです。



## 【工学部フレックスコース】

### 1 募集人員

学科名	募集人員
システム創成工学科	5人

### 2 趣旨

システム創成工学科は、「自ら考え、手足を動かし、学ぶ」ことにより、企業内の技術的リーダーや起業家となるような独創的な「人財の育成」を教育目標に据えた新しい発想の学科です。

従来の工学系分野の枠にとらわれることなく、例えば機械工学とバイオ化学というように、複数の分野を学ぶことが可能となっています。そのことにより、学際的視野を持ち、ものづくりの基本を修得し、企業内での技術的貢献のみならず経営にも参画しうる「人財」を養成することを可能としています。

上記のようなコース・学科の教育目標に鑑み、これまでにない先進の入学選抜方式として訪問型総合型選抜を実施しています。これは、従来の入学試験では推し量れないような才能や能力などを多面的に評価し、将来性豊かな人の発掘を目指したものです。

第1次選抜は書類選抜を実施し、第2次選抜では志願者の居住地（日本国内ならばどこでも）を面接担当者が訪問して行う面接（口頭試問を含みます。）を実施します。

第1次選抜では高校における学習態度や工学部で学ぶために必要な基礎学力と意欲を、調査書、志望理由書及び自己PR書により判定します。

第2次選抜では入学志願者本人に時間をかけて直接面接（口頭試問を含みます。）することにより、システム創成工学科の教育目標やアドミッション・ポリシーの理解度、目的意識、勉学意欲、技術者としての適性ならびに社会人基礎力と言われる「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」等、多角的な観点から入学志願者の能力と将来性を測ることとしています。

### 3 出願資格・出願要件

次のすべての資格・要件を満たす者とします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年3月卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を令和5年3月修了見込みの者
  - (2) 合格した場合、入学することを確約できる者
- なお、大学入学共通テストは課しません。

※他学部の総合型選抜Ⅰ及び本学の総合型選抜Ⅱには同時に出願することができません。

### 4 出願受付期間等

- (1) 出願受付期間  
令和4年9月1日（木）から9月6日（火）まで（土・日曜日を除きます。）  
※持参・郵送ともに9月6日（火）まで（必着）  
受付時間は、9時から16時30分までとします。  
（注）出願受付期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵送（書留速達）の場合は、郵送にかかる日数を考慮して余裕を持って送付してください。
- (2) 出願書類の提出先  
工学部入試担当（21ページ参照）に提出してください。

### 5 出願書類及び出願手続

入学志願者は、インターネット出願システムから登録し、検定料を支払った後、入学願書が印刷できるようになります。入学願書を印刷の上、出願書類を一括し、出願書類提出期限までに本学に届くように郵送（書留速達）又は持参により提出してください。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
入学願書	<p>○ 入学願書は、検定料の支払後に印刷可能となります。インターネット出願サイトから<b>A 4 タテ片面でカラー印刷</b>してください。</p> <p>○ 「入学志願者現住所」欄には、願書提出の日から令和5年3月31日（金）まで確実に郵送物を受け取ることのできる住所を入力してください。</p> <p>なお、電話連絡の際に呼び出しになる場合は、呼び出し番号（〇〇様方）を入力してください。</p>
調査書	<p>○ 出身学校長が作成し、<b>厳封</b>してください。</p> <p>ただし、高等専門学校については、文部科学省が定めた調査書に準じて作成してください。</p> <p>※ 高等学校又は高等専門学校等における学習成績概評がA段階（全体の学習成績の状況が4.3以上）に属し、人物・学力ともに特に優秀であり学校長が責任を持って推薦できる者については、調査書に④と標示することを希望します。</p> <p>また、④標示を合否判定の資料としても使用します。</p>
志望理由書	<p>○ 所定の用紙を本学ホームページから<b>A 4 タテ両面で印刷</b>し、「システム創成工学科を志望する理由」、「入学した場合どのような分野の勉強をしたいのか、分野名とその理由」及び「卒業後どのような職業に就きたいか（現時点）」に分けて、各事項について<b>400字</b>以内で記入し、提出してください。</p>
自己PR書 【工学部用】	<p>○ 所定の用紙を本学ホームページから<b>A 4 タテ両面で印刷</b>し、①特別活動（部活動）や、学校外の活動等で成果を上げるよう努力した、②通学距離が長いにもかかわらず、徒歩で通学しながらも校内で上位の成績を維持した等、PRしたい内容を<b>800字</b>以内で記入し、提出してください。</p> <p>○ PRしたい内容については、自己PR書の所定欄に、学校長又は学年主任等からの証明を受けてください。</p>
出願書類提出用 角形2号封筒	<p>○ 市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）を各自で用意し、出願書類をすべて封入し、出願書類提出用宛名シートをはり付けて郵送（書留速達）又は持参により、提出してください。</p>
出願書類提出用 宛名シート	<p>○ インターネット出願サイトから<b>A 4 タテ片面でカラー印刷</b>してください（入学願書と同時に印刷できます。）。角形2号封筒（24cm×33.2cm）の表面に、はがれないように全面のり付けではり付けてください。</p>

- (注) 1 出願書類に記載すべき事項の記入もれ、その他不備がある場合は、**出願書類を受理しない**ことがあります。
- 2 記入に当たっては黒のボールペンを用いて、漢字は楷書で書き、数字は算用数字を用いてください。ただし、こすると消えるインキは使用しないでください。訂正する場合は、二重線で消し、訂正印を押してください。
- 3 出願書類に記入する氏名及び生年月日は、必ず戸籍上のもの（日本国籍を有しない者は住民票上のもの）としてください。ただし、インターネット出願システムに戸籍上の氏名を入力した際に、正しく入力できない場合は、入力できる文字に変更してください。
- 4 インターネット出願システムに入力後、出力したものを訂正する場合は、志願学部の担当部署（21ページ参照）に連絡の上、指示に従ってください。

## 6 選抜方法等

### (1) 第1次選抜

選 抜 方 法	提出された調査書を参考にし、志望理由書及び自己PR書の内容を評価します。配点は次のとおりです。		
	調査書	志望理由書	自己PR書
	20点	50点	30点
採点・評価基準	志望理由書では、自身の将来像が示され、本学で何を学びたいのかの計画が明確に示されているかを評価します。また、自己PR書では、記載された活動履歴やPR内容をもとに、主体性や実行力などの前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力等、多角的な視点から入学志願者の能力を評価します。		
合否判定基準	調査書、志望理由書及び自己PR書を総合して合否を判定します。		

◎ 書類選抜のみになりますので、来学する必要はありません。

### (2) 第2次選抜

第1次選抜合格者に対して、次のとおり第2次選抜を実施します。

選 抜 期 日	令和4年10月11日(火)～10月21日(金)までの期間で本学部が指定する1日(土・日曜日に入試を行う場合があります。)		
時 間	調整の上、決定		
科 目 等	面接(口頭試問を含みます。) 口頭試問における出題範囲は次のとおりとします。		
	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th style="text-align: center;">出題範囲</th> </tr> <tr> <td>           数学：数学Ⅰ及び数学Ⅱの全領域            理科：①物理基礎の全領域                      ②次から自分の希望する一つを試験当日に選択                      (1) 物理のうち「様々な運動」                      (2) 化学基礎の全領域及び化学のうち                          「物質の状態と平衡」, 「物質の変化と平衡」            英語：英文の基礎力                  (コミュニケーション英語基礎, コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ)         </td> </tr> </table>	出題範囲	数学：数学Ⅰ及び数学Ⅱの全領域 理科：①物理基礎の全領域 ②次から自分の希望する一つを試験当日に選択 (1) 物理のうち「様々な運動」 (2) 化学基礎の全領域及び化学のうち 「物質の状態と平衡」, 「物質の変化と平衡」 英語：英文の基礎力 (コミュニケーション英語基礎, コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ)
出題範囲			
数学：数学Ⅰ及び数学Ⅱの全領域 理科：①物理基礎の全領域 ②次から自分の希望する一つを試験当日に選択 (1) 物理のうち「様々な運動」 (2) 化学基礎の全領域及び化学のうち 「物質の状態と平衡」, 「物質の変化と平衡」 英語：英文の基礎力 (コミュニケーション英語基礎, コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ)			
選 抜 方 法	<p>面接(口頭試問を含みます。)を1時間以上行います。          なお、面接(口頭試問を含みます。)では出願書類を参考にします。          配点は次のとおりです。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">面接(口頭試問を含みます。)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">100点</td> </tr> </table> <p>面接会場は、基本的に第1次選抜合格者の在籍する学校あるいはその近隣の施設等とします。複数の面接担当者が面接(口頭試問を含みます。)を行います。</p>	面接(口頭試問を含みます。)	100点
面接(口頭試問を含みます。)			
100点			
採点・評価基準	面接(口頭試問を含みます。)は、基礎学力、志望動機、学習意欲、表現力などを総合して評価します。		
合否判定基準	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 面接(口頭試問を含みます。)の結果により合否を判定します。</li> <li>2 合格人員の最下位に同点者がいる場合は、この同点者は全員合格とします。</li> </ol>		

◎ 第2次選抜に向けた詳細については、第1次選抜合格者に別途通知します。

## 7 合格者の発表

### (1) 発表日時及び発表方法

合格者の発表は、次のとおり行います。

発表日時	発表方法
第1次選抜合格者発表 令和4年9月26日(月)11時	本学のホームページの「入試案内」に合格者の大学受験番号を掲載します。
最終(第2次選抜)合格者発表 令和4年11月1日(火)11時	

(注) 1 電話等による可否のお問合せには、一切応じません。

2 ホームページによる合格者の発表については、発表直後にアクセスが集中し、ホームページがつながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。

### (2) 合格通知

合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書を送付します。

## 8 入学手続

入学手続は次のとおりです。

### (1) 入学手続期間

令和4年11月14日(月)～11月17日(木)(必着)

受付時間は、9時から16時30分までとします。

なお、合格者が令和4年11月17日(木)までに入学手続を完了しないときは、合格者としての権利を消失しますので、十分注意してください。

### (2) 入学料

入学手続の際に納付していただきます。

○入学料：141,000円

### (3) 提出書類

入学手続の際に提出する書類は、受験票、入学誓書、学生証用写真等です。

詳細については、合格通知の際にお知らせします。

### ※ 留意事項(入学辞退について)

やむを得ず入学を辞退する場合には、令和4年11月17日(木)までに「入学辞退願」を提出し、許可を得てください。

また、特別の事情がある場合は、令和5年2月17日(金)までに提出し、許可を得てください。

この入学辞退を許可された場合を除いては、他に出願済の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても合格者となりませんので、十分注意してください。

## 9 授業料

入学後に納付していただきます。

○授業料：年額267,900円(予定額)

納付方法については、「年1回払い」、「年2回払い」、「年10回均等払い」、「年10回ボーナス併用払い」から選択できます。

(注) 1 上記の金額は、予定額です。

2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

## 10 入学前の指導

### (1) 入学前教育について

本学部では、合格者に対し、入学後の学習が順調に進むように、学習教材を指定してe-ラーニングによる入学前教育を実施しています。

特に、数学、理科及び英語については、工学を学んでいく上で基礎となる重要な科目であり、ここでのつまずきは、入学してから学ぶことになる専門的な科目の修得に支障を生じさせる可能性がありますので、合格者全員が受講するようにしてください。

なお、費用に係る詳細は、合格通知書の送付時にお知らせします。

### (2) 令和5年度大学入学共通テスト自己採点結果の提出について

令和5年1月に実施される大学入学共通テストの下記指定科目について解答し、自己採点結果を工学部入試担当へ提出してください（大学入学共通テストの問題等は、インターネットや新聞等で入手できます）。

大学入学共通テストの数学及び理科に関する指定科目については、高等学校の学習体系・進度に合わせ、1科目でも構いませんが、高等学校において学習している場合は、それぞれ2科目について自己採点し、その結果を提出してください。

なお、提出に係る詳細は、合格通知書の送付時にお知らせします。

教科	大学入学共通テストの指定科目
数 学	「数学Ⅰ， 数学Ⅰ・数学Aから1」と「数学Ⅱ， 数学Ⅱ・数学Bから1」の計2科目
理 科	物理， 化学， 生物から2科目
外 国 語	英語（リスニングを含みます。）

## Ⅶ 総合型選抜Ⅱ（大学入学共通テストを課さない総合型選抜）

### 学部別募集要項細目

#### 【工学部昼間コース】

##### 1 募集人員

学科・コース名		募集人員
高分子・有機材料工学科		6人（2人）
化学・バイオ工学科	応用化学・化学工学コース	3人（1人）
	バイオ化学工学コース	3人（1人）
情報・エレクトロニクス学科	情報・知能コース	3人（1人）
	電気・電子通信コース	3人（1人）
機械システム工学科		6人（2人）
建築・デザイン学科		2人（1人）

※募集人員の（ ）内については、山形県内高校等の受験者を対象に可否判定を行う人数であり、内数です。

##### 2 趣旨

グローバルが進むなかで、地域社会を支える機械、情報エレクトロニクス、化学・バイオ、材料、建築等様々な分野の製造業をはじめ、農林水産業、小売・流通業においても、幅広い視野で地域産業の革新を推し進めるためには、高等教育機関で工学を修め、身に付けた開発力・企画力によって企業経営の一翼をも担える人材が求められています。

総合型選抜Ⅱでは、工学部において高い知識とものづくり技術を習得し、将来、自分の生まれ育った地域や地方において活躍したいという意欲に燃えた方を求めます。

##### 3 出願資格・出願要件

次のすべての資格・要件を満たす者とします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を令和5年3月卒業見込みの者又は高等専門学校の第3学年を令和5年3月修了見込みの者
- (2) 山形県内高校等の生徒で、山形県の産業の発展に貢献することを強く望む者又は山形県外の高校等の生徒で、それぞれの生まれ育った地域や地方において産業の発展に貢献することを強く望む者
- (3) 合格した場合、入学することを確約できる者

なお、大学入学共通テストは課しません。

※他学部の総合型選抜Ⅱ及び本学の総合型選抜Ⅰには同時に出願することができません。

##### 4 出願受付期間等

- (1) 出願受付期間  
令和4年9月1日（木）から9月6日（火）まで（土・日曜日を除きます。）  
※持参・郵送ともに9月6日（火）まで（必着）  
受付時間は、9時から16時30分までとします。  
（注） 出願受付期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵送（書留速達）の場合は、郵送にかかる日数を考慮して余裕を持って送付してください。
- (2) 出願書類の提出先  
工学部入試担当（21ページ参照）に提出してください。

## 5 出願書類及び出願手続

入学志願者は、インターネット出願システムから登録し、検定料を支払った後、入学願書が印刷できるようになります。入学願書を印刷の上、出願書類を一括し、出願書類提出期限までに本学に届くように郵送（書留速達）又は持参により提出してください。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
入学願書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入学願書は、検定料の支払後に印刷可能となります。インターネット出願サイトから <b>A4タテ片面でカラー印刷</b>してください。</li> <li>○ 「入学志願者現住所」欄には、願書提出の日から令和5年3月31日（金）まで確実に郵送物を受け取ることのできる住所を入力してください。 なお、電話連絡の際に呼び出しになる場合は、呼び出し番号（〇〇様方）を入力してください。</li> </ul>
調査書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 出身学校長が作成し、<b>厳封</b>してください。 ただし、高等専門学校については、文部科学省が定めた調査書に準じて作成してください。</li> </ul>
志望理由書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 所定の用紙を本学ホームページから <b>A4タテ両面で印刷</b>し、「<b>志望する理由</b>」、「<b>入学した場合どのような分野の勉強をしたいのか、分野名とその理由</b>」及び「<b>卒業後どのような職業に就きたいか（現時点）</b>」に分けて、各事項について <b>400字</b>以内で記入し、提出してください。</li> </ul>
自己PR書 【工学部用】	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 所定の用紙を本学ホームページから <b>A4タテ両面で印刷</b>し、①特別活動（部活動）や、学校外の活動等で成果を上げるよう努力した、②通学距離が長いにもかかわらず、徒歩で通学しながらも校内で上位の成績を維持した等、PRしたい内容を <b>800字</b>以内で記入し、提出してください。</li> <li>○ PRしたい内容については、自己PR書の所定欄に、学校長又は学年主任等からの証明を受けてください。</li> </ul>
出願書類提出用 角形2号封筒	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）を各自で用意し、出願書類をすべて封入し、出願書類提出用宛名シートをはり付けて郵送（書留速達）又は持参により、提出してください。</li> </ul>
出願書類提出用 宛名シート	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ インターネット出願サイトから <b>A4タテ片面でカラー印刷</b>してください（入学願書と同時に印刷できます。）。角形2号封筒（24cm×33.2cm）の表面に、はがれないように全面のり付けではり付けてください。</li> </ul>

- (注) 1 出願書類に記載すべき事項の記入もれ、その他不備がある場合は、**出願書類を受理しない**ことがあります。
- 2 記入に当たっては黒のボールペンを用いて、漢字は楷書で書き、数字は算用数字を用いてください。ただし、こすると消えるインキは使用しないでください。訂正する場合は、二重線で消し、訂正印を押してください。
- 3 出願書類に記入する氏名及び生年月日は、必ず戸籍上のもの（日本国籍を有しない者は住民票上のもの）としてください。ただし、インターネット出願システムに戸籍上の氏名を入力した際に、正しく入力できない場合は、入力できる文字に変更してください。
- 4 インターネット出願システムに入力後、出力したものを訂正する場合は、志願学部の担当部署（21ページ参照）に連絡の上、指示に従ってください。

## 6 選抜方法等

### (1) 第1次選抜

選 抜 期 日	令和4年9月17日（土）		
時 間	9：00～11：00		
科 目	レポート		
選 抜 方 法	<p>当日与えられる課題に対してレポートを作成していただきます。 配点は次のとおりです。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">レポート</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">100点</td> </tr> </table>	レポート	100点
レポート			
100点			
採点・評価基準	レポートは、知識よりも自分独自の意見を持ち、その意見を自分の言葉で表現できているかを評価します。		
合否判定基準	レポートの結果に加えて、調査書、志望理由書及び自己PR書を総合して合否を判定します。		

◎ 工学部試験場（米沢市城南四丁目3-16）において実施します。

受験上の留意事項等の詳細については、受験票ダウンロード可能メール送信時に本人宛てに通知します。

### (2) 第2次選抜

第1次選抜合格者に対して、次のとおり第2次選抜を実施します。

選 抜 期 日	令和4年10月15日（土）		
時 間	9：00～13：00（予定）		
科 目 等	<p>面接（口頭試問を含みます。） 口頭試問における出題範囲は次のとおりです。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">出題範囲</td> </tr> <tr> <td>           数学：数学I及び数学Aの全領域            理科：次から自分の希望する一つを試験当日に選択                (1) 物理基礎の全領域                (2) 化学基礎の全領域         </td> </tr> </table>	出題範囲	数学：数学I及び数学Aの全領域 理科：次から自分の希望する一つを試験当日に選択 (1) 物理基礎の全領域 (2) 化学基礎の全領域
出題範囲			
数学：数学I及び数学Aの全領域 理科：次から自分の希望する一つを試験当日に選択 (1) 物理基礎の全領域 (2) 化学基礎の全領域			
選 抜 方 法	<p>第1次選抜の課題で提出したレポートに関して自らの考えを説明してもらい、その説明に関する質疑応答を行います。 その他、数学・理科に関する口頭試問を実施します。 配点は次のとおりです。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">面接（口頭試問を含みます。）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">100点</td> </tr> </table>	面接（口頭試問を含みます。）	100点
面接（口頭試問を含みます。）			
100点			
採点・評価基準	面接（口頭試問を含みます。）は、受験者の意欲、積極性、基礎学力を評価します。		
合否判定基準	<p>1 面接（口頭試問を含みます。）の成績により、合否を判定します。 面接（口頭試問を含みます。）では第1次選抜のレポートの内容、調査書、志望理由書及び自己PR書を参考にします。</p> <p>2 合格人員の最下位に同点者がいる場合は、この同点者は全員合格とします。</p>		
合否判定方法等	募集人員のうち、まず（ ）内の人数について山形県内高校等の受験者を対象に判定を行い、その後、全受験者を対象に判定を行います。		



- ◎ 工学部試験場（米沢市城南四丁目3-16）において実施します。  
第2次選抜に向けた詳細については、第1次選抜合格者に別途通知します。

## 7 合格者の発表

- (1) 発表日時及び発表方法  
合格者の発表は、次のとおり行います。

発表日時	発表方法
第1次選抜合格者発表 令和4年9月26日（月）11時	本学のホームページの「入試案内」に合格者の大学受験番号を掲載します。
最終（第2次選抜）合格者発表 令和4年11月1日（火）11時	

- (注) 1 電話等による合否のお問合せには、一切応じません。  
2 ホームページによる合格者の発表については、発表直後にアクセスが集中し、ホームページがつながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。
- (2) 合格通知  
合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書を送付します。

## 8 入学手続

入学手続は次のとおりです。

- (1) 入学手続期間  
令和4年11月14日（月）～11月17日（木）（必着）  
受付時間は、9時から16時30分までとします。  
なお、合格者が令和4年11月17日（木）までに入学手続を完了しないときは、合格者としての権利を消失しますので、十分注意してください。
- (2) 入学料  
入学手続の際に納付していただきます。  
○入学料：282,000円
- (3) 提出書類  
入学手続の際に提出する書類は、受験票、入学誓書、学生証用写真等です。  
詳細については、合格通知の際にお知らせします。

- ※ 留意事項（入学辞退について）  
やむを得ず入学を辞退する場合には、令和4年11月17日（木）までに「入学辞退願」を提出し、許可を得てください。  
また、特別の事情がある場合は、令和5年2月15日（水）までに提出し、許可を得てください。  
この入学辞退を許可された場合を除いては、他に出願済の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても合格者となりませんので、十分注意してください。

## 9 授業料

入学後に納付していただきます。

○授業料：年額535,800円（予定額）

納付方法については、「年1回払い」、「年2回払い」、「年10回均等払い」、「年10回ボーナス併用払い」から選択できます。

- (注) 1 上記の金額は、予定額です。  
2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。  
3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

## 10 入学前の指導

### (1) 入学前教育について

本学部では、合格者に対し、入学後の学習が順調に進むように、学習教材を指定してe-ラーニングによる入学前教育を実施しています。

特に、数学、理科及び英語については、工学を学んでいく上で基礎となる重要な科目であり、ここでのつまずきは、入学してから学ぶことになる専門的な科目の修得に支障を生じさせる可能性がありますので、合格者全員が受講するようにしてください。

なお、費用に係る詳細は、合格通知書の送付時にお知らせします。

### (2) 令和5年度大学入学共通テスト自己採点結果の提出について

令和5年1月に実施される大学入学共通テストの下記指定科目について解答し、自己採点結果を工学部入試担当へ提出してください（大学入学共通テストの問題等は、インターネットや新聞等で入手できます）。

大学入学共通テストの数学及び理科に関する指定科目については、高等学校の学習体系・進度に合わせ、1科目でも構いませんが、高等学校において学習している場合は、それぞれ2科目について自己採点し、その結果を提出してください。

なお、提出に係る詳細は、合格通知書の送付時にお知らせします。

#### 〈建築・デザイン学科以外の学科〉

教科	大学入学共通テストの指定科目
数 学	「数学Ⅰ， 数学Ⅰ・数学Aから1」と 「数学Ⅱ， 数学Ⅱ・数学Bから1」の計2科目
理 科	物理， 化学， 生物から2科目
外 国 語	英語（リスニングを含みます。）

#### 〈建築・デザイン学科〉

教科	大学入学共通テストの指定科目
数 学	「数学Ⅰ， 数学Ⅰ・数学Aから1」と 「数学Ⅱ， 数学Ⅱ・数学Bから1」の計2科目
理 科	以下のパターン①又は②から1つ選択 ① 「物理基礎」，「化学基礎」，「生物基礎」及び「地学基礎」から2科目 ② 「物理」，「化学」，「生物」及び「地学」から1科目
外 国 語	英語（リスニングを含みます。）

## 【農学部】

### 1 募集人員

学科名	募集人員
食料生命環境学科	5人

### 2 趣旨

本学部は、21世紀における国内外の諸問題の解決、資源循環・環境調和型社会の創生に取り組む人材育成に向けて、「広義の農学」の視点から、食料生命環境学科と附属やまがたフィールド科学センターにおいて活発な教育・研究を進めています。

「広義の農学」とは、農林水産業と直結する学問をはじめ、衣食住との関わりをベースとし、人類の生存、生活に貢献することを目標とした生物・生命に関する学問、環境科学、生活科学、社会科学等の生物生産と人間社会との関わりを基盤とする学問等、幅広い分野を含む総合科学を意味しています。

本学部のキャンパスがある鶴岡市は、豊かな自然に恵まれた庄内平野に位置しており、「広義の農学」を学ぶ場として最適の条件を備えています。本キャンパスに複数回訪れることで、この地の風を感じていただき、大学進学後の自分を想像し修学意欲を高めて入学いただきたいとの思いから、総合型選抜を導入しています。

第1次選抜は、レポート、面接及び提出書類により、自分の意見を持ち表現できる力や基礎学力、目的意識、志望動機、修学意欲、アドミッション・ポリシーの理解度について評価します。

第2次選抜は、プレゼンテーション（質疑応答及び口頭試問を含みます。）により、表現力、知識、「広義の農学」への熱意等について評価します。

「広義の農学」への熱意を持ち、人類社会の直面する食料問題や資源問題、環境問題などの解決、生命現象の解明に正面から取り組む強い意欲がある方を求めます。

### 3 出願資格・出願要件

次のすべての資格・要件を満たす者とします。

- (1) 「広義の農学」に含まれる分野に関して熱意を持って取り組んだ実績を持つ者（高校での課外活動だけでなく、高校以外の団体での活動や個人の活動も対象とする。具体例としては、農業クラブでの取り組み、科学部等のクラブ活動での取り組み、スーパーサイエンスハイスクール指定校・スーパーグローバルハイスクール指定校・スーパープロフェッショナルハイスクール指定校での取り組み、課題研究各種発表会出場・入賞、大学や研究機関主催のセミナーやプログラムへの参加等。）
- (2) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者若しくは令和5年3月卒業見込みの者又は高等専門学校第3学年を修了した者若しくは令和5年3月修了見込みの者
- (3) 合格した場合、入学することを確約できる者

なお、大学入学共通テストは課しません。

※他学部の総合型選抜Ⅱ及び本学の総合型選抜Ⅰには同時に出願することができません。

### 4 出願受付期間等

- (1) 出願受付期間  
令和4年9月1日（木）から9月6日（火）まで（土・日曜日は除きます。）  
※持参・郵送ともに9月6日（火）まで（必着）  
受付時間は、9時から16時30分までとします。  
（注） 出願受付期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵送（書留速達）の場合は、郵送にかかる日数を考慮して余裕を持って送付してください。
- (2) 出願書類の提出先  
農学部入試担当（21ページ参照）に提出してください。

## 5 出願書類及び出願手続

入学志願者は、インターネット出願システムから登録し、検定料を支払った後、入学願書が印刷できるようになります。入学願書を印刷の上、出願書類を一括し、出願書類提出期限までに本学に届くように郵送（書留速達）又は持参により提出してください。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
入学願書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入学願書は、検定料の支払後に印刷可能となります。インターネット出願サイトから <b>A 4 タテ片面でカラー印刷</b>してください。</li> <li>○ 「入学志願者現住所」欄には、願書提出の日から令和5年3月31日（金）まで確実に郵送物を受け取ることのできる住所を入力してください。 なお、電話連絡の際に呼び出しになる場合は、呼び出し番号（〇〇様方）を入力してください。</li> </ul>
調査書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 出身学校長が作成し、<b>厳封</b>してください。 ただし、高等専門学校については、文部科学省が定めた調査書に準じて作成してください。 また、2つ以上の高校に在籍していた場合は、以下①又は②いずれかの書類を提出してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 現在籍校の調査書と併せて以前に在籍していた高校全ての調査書又は成績証明書を厳封し、提出</li> <li>② 編入・転入前の成績を現在籍校の調査書に転記し、その旨を明記し提出</li> </ul> </li> </ul>
志望理由書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 所定の用紙を本学ホームページから <b>A 4 タテ両面で印刷</b>し、「<b>志望する理由</b>」、「<b>入学した場合どのような分野の勉強をしたいのか、分野名とその理由</b>」及び「<b>卒業後どのような職業に就きたいか（現時点）</b>」に分けて、各事項について<b>400字以内</b>で記入し、提出してください。</li> </ul>
出願書類提出用 角形2号封筒	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）を各自で用意し、出願書類をすべて封入し、出願書類提出用宛名シートをはり付けて郵送（書留速達）又は持参により、提出してください。</li> </ul>
出願書類提出用 宛名シート	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ インターネット出願サイトから <b>A 4 タテ片面でカラー印刷</b>してください（入学願書と同時に印刷できます。）。角形2号封筒（24cm×33.2cm）の表面に、はがれないように全面のり付けではり付けてください。</li> </ul>

- (注) 1 出願書類に記載すべき事項の記入もれ、その他不備がある場合は、**出願書類を受理しない**ことがあります。
- 2 記入に当たっては黒のボールペンを用いて、漢字は楷書で書き、数字は算用数字を用いてください。ただし、こすると消えるインキは使用しないでください。訂正する場合は、二重線で消し、訂正印を押してください。
- 3 出願書類に記入する氏名及び生年月日は、必ず戸籍上のもの（日本国籍を有しない者は住民票上のもの）としてください。ただし、インターネット出願システムで戸籍上の氏名を入力した際に、正しく入力できない場合は、入力できる文字に変更してください。
- 4 インターネット出願システムに入力後、出力したものを訂正する場合は、志願学部の担当部署（21ページ参照）に連絡の上、指示に従ってください。

## 6 選抜方法等

### (1) 第1次選抜

選 抜 期 日	令和4年9月16日（金）	
時 間	レポート	9：00～10：30
	面接	12：30～17：00（予定）
	なお、11：00～11：30に第2次選抜及び留意事項について説明を行います。	
科 目 等	レポート及び面接	
選 抜 方 法	当日与えられる課題に対してレポートを作成していただきます。 その後、提出されたレポート、調査書及び志望理由書を参考にした個別面接を行います。 配点は次のとおりです。	
	レポート及び面接	
	300点	

採点・評価基準	レポートは、知識よりも自分独自の意見を持ち、その意見を自分の言葉で表現できているかを評価します。 面接では、目的意識、修学意欲、積極性及びアドミッション・ポリシーの理解度等を評価します。
合否判定基準	レポート及び面接の結果に加えて、調査書、志望理由書を総合して合否を判定します。

◎ 農学部試験場（鶴岡市若葉町1-23）において実施します。

受験上の留意事項等の詳細については、受験票ダウンロード可能メール送信時に本人宛てに通知します。

### (2) プレゼンテーションの概要の提出

第1次選抜合格者は、第2次選抜に自らが行うプレゼンテーションの概要を800字以内の文章にまとめ、出願書類の提出先（農学部入試担当）に郵送にて提出してください。提出の締め切りは令和4年10月11日（火）必着とします。

### (3) 第2次選抜

第1次選抜合格者に対して、次のとおり第2次選抜を実施します。

選 抜 期 日	令和4年10月15日（土）
時 間	12：00～
科 目 等	プレゼンテーション（質疑応答及び口頭試問を含みます。） プレゼンテーションの課題は次のとおりです。
	プレゼンテーションの課題
	「広義の農学」に含まれる分野の中で、これまでに自分が熱意を持って取り組んだ事柄について

選 抜 方 法	<p>プレゼンテーションを行った後、その内容（グループでの成果の場合は役割分担についても問います。）等についての質疑応答と口頭試問を行います。プレゼンテーションの試験時間は10分程度で、質疑応答と口頭試問を含めて試験時間は20分程度です。</p> <p>なお、配点は次のとおりです。</p> <table border="1" data-bbox="443 409 1358 539"> <tr> <td data-bbox="443 409 1358 495"> <p style="text-align: center;">プレゼンテーション (質疑応答及び口頭試問を含みます。)</p> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="443 495 1358 539"> <p style="text-align: center;">300 点</p> </td> </tr> </table>	<p style="text-align: center;">プレゼンテーション (質疑応答及び口頭試問を含みます。)</p>	<p style="text-align: center;">300 点</p>
<p style="text-align: center;">プレゼンテーション (質疑応答及び口頭試問を含みます。)</p>			
<p style="text-align: center;">300 点</p>			
採点・評価基準	<p>プレゼンテーション（質疑応答及び口頭試問を含みます。）では、テーマに関する知識、表現力及び「広義の農学」への熱意、基礎的な学力（高校卒業程度）等を評価します。</p>		
合 否 判 定 基 準	<p>プレゼンテーション（質疑応答及び口頭試問を含みます。）の結果により合否を判定します。</p>		

◎ 農学部試験場（鶴岡市若葉町1-23）において実施します。

## 7 合格者の発表

(1) 発表日時及び発表方法

合格者の発表は、次のとおり行います。

発 表 日 時	発 表 方 法
第1次選抜合格者発表 令和4年9月26日（月）11時	本学のホームページの「入試案内」に合格者の大学受験番号を掲載します。
最終（第2次選抜）合格者発表 令和4年11月1日（火）11時	

(注) 1 電話等による合否のお問合せには、一切応じません。

2 ホームページによる合格者の発表については、発表直後にアクセスが集中し、ホームページがつながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。

(2) 合格通知

合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書を送付します。

## 8 入学手続

入学手続は次のとおりです。

(1) 入学手続期間

令和4年12月12日（月）～12月15日（木）（必着）

受付時間は、9時から16時30分までとします。

なお、合格者が令和4年12月15日（木）までに入学手続を完了しないときは、合格者としての権利を消失しますので、十分注意してください。

(2) 入学金

入学手続の際に納付していただきます。

○入学金：282,000円

(3) 提出書類

入学手続の際に提出する書類は、受験票、入学誓書、学生証用写真等です。

詳細については、合格通知の際にお知らせします。

※ 留意事項（入学辞退について）

やむを得ず入学を辞退する場合には、令和4年12月15日（木）までに「入学辞退願」を提出し、許可を得てください。

また、特別の事情がある場合は、令和5年2月17日（金）までに提出し、許可を得てください。

この入学辞退を許可された場合を除いては、他に出願済の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても合格者となりませんので、十分注意してください。

## 9 授業料

入学後に納付していただきます。

○授業料：年額535,800円（予定額）

納付方法については、「年1回払い」、「年2回払い」、「年10回均等払い」、「年10回ボーナス併用払い」から選択できます。

（注）1 上記の金額は、予定額です。

2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。

3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

## 10 入学前の指導

本学部では、入学後、大学での勉学にスムーズに移れるよう、入学手続者に対して課題を課します。なお、課題の詳細については、入学手続者に対して後日通知します。

## VIII 総合型選抜Ⅲ（大学入学共通テストを課す総合型選抜）

### 学部別募集細目

#### 【地域教育文化学部】

##### 1 募集人員

学科・コース名		実技検査区分名	募集人員（計16人）
地域教育文化学科	文化創生コース	美術分野	2人程度
		音楽分野	7人程度
		スポーツ分野	7人程度

##### 2 趣旨

文化創生コースは、地域の人々の心身の健康や主体的な地域文化創生活動を支えることを通じて、多様な地域課題の解決や地域社会の持続可能な発展に貢献する意欲を持った学生を受け入れます。そのために、高等学校までの基礎的な学力や、得意分野に関するすぐれた理解・技能を有し、地域文化のコーディネーター・ファシリテーターを目指す意欲を持った学生を受け入れます。

本コースには、次の3つのプログラムがあります。

- ①地域の健康を「こころ」と「からだ」の側面から科学的に分析し、支援できる人材を養成する「心身健康支援プログラム」
- ②地域住民が文化的に豊かな生活を構築するために、芸術的なスキルの実践を通じて貢献できる人材を養成する「芸術文化創生プログラム」
- ③大学院社会文化創造研究科社会文化創造専攻芸術・スポーツ科学コースに進学することを前提に、6年一貫教育を行い、「音楽芸術」「造形芸術」「スポーツ科学」分野において、スキルの更なる向上及び地域創生に貢献するための専門知識を養う「チャレンジプログラム」

上記のようなコースの特色に鑑み、美術、音楽、スポーツの各分野における実技能力や文化創生にかかわる資質・適性・将来性と、確かな基礎学力を有する人材の発掘を目指し、総合型選抜Ⅲを実施します。

第1次選抜では、本コースで学びたい意欲と、そのために必要な基礎的な学力、思考力、表現力及び実技の能力を、調査書、志望理由書及び自己PR書（活動実績資料含む）から判断します。

第2次選抜では、入学志願者本人に直接面接（口頭試問を含みます。）することにより、本コースで学ぼうとする意欲および目的意識等について評価します。また、実技検査（美術、音楽、スポーツから1つを選択します。）を実施することにより、文化創生に関わる適性や実技の優れた能力等を測り、面接と合わせて多角的な観点から入学志願者の資質・能力と将来性を評価します。美術、音楽、スポーツの各分野における実技能力や文化創生にかかわる資質・適性・将来性と、確かな基礎学力とのバランスを重視した選考を行うことを目的に、大学入学共通テスト（3教科3科目又は3教科4科目）を課し、①面接、②実技検査、③大学入学共通テストを総合して合否を判定します。

##### 3 出願資格・出願要件

次のすべての資格・要件を満たす者とします。

- (1) 次のいずれかに該当する者
    - ① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和5年3月に卒業見込みの者
    - ② 高等専門学校第3学年を修了した者又は令和5年3月に修了見込みの者
  - (2) 令和5年度大学入学共通テスト（本学が指定した教科・科目）を受験する者（注）
  - (3) 合格した場合、入学することを確約できる者
- （注） 令和4年度大学入学共通テスト以前の成績は利用しません。



## 4 出願受付期間等

### (1) 出願受付期間

令和4年11月28日(月)から12月2日(金)まで

※持参・郵送ともに12月2日(金)まで(必着)

受付時間は、9時から16時30分までとします。

(注) 出願受付期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵送(書留速達)の場合は、郵送にかかる日数を考慮して余裕をもって送付してください。

### (2) 【第1次選抜合格者のみ】「大学入学共通テスト成績請求票はり付け台紙」については令和5年1月6日(金)まで(必着)


### (3) 出願書類の提出先

地域教育文化学部入試担当(21ページ参照)に提出してください。

## 5 出願書類及び出願手続

入学志願者は、インターネット出願システムから登録し、検定料を支払った後、入学願書が印刷できるようになります。入学願書を印刷の上、出願書類を一括し、出願書類提出期限までに本学に届くように郵送(書留速達)又は持参により提出してください。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
入学願書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入学願書は、検定料の支払後に印刷可能となります。インターネット出願サイトから<b>A4タテ片面でカラー印刷</b>してください。</li> <li>○ 「入学志願者現住所」欄には、願書提出の日から令和5年3月31日(金)まで確実に郵送物を受け取ることのできる住所を入力してください。 なお、電話連絡の際に呼び出しになる場合は、呼び出し番号(〇〇様方)を印刷した入学願書に手書きで記入してください。</li> </ul>
大学入学共通テスト成績請求票はり付け台紙 <b>【第1次選抜合格者のみ】</b>	<p>受験票ダウンロード可能メールに記載のURLから「大学入学共通テスト成績請求票はり付け台紙」を<b>A4タテ片面で印刷</b>し、「大学入学共通テスト成績請求票」をはり付け、<b>令和5年1月6日(金)まで必着</b>するように小白川キャンパス事務部入試課地域教育文化学部担当へ提出してください。</p> <p>なお、<b>「大学入学共通テスト成績請求票」を期限までに提出しない場合は、受験者としての権利を失います。</b>特別な事情により、期限までに提出できない場合は、小白川キャンパス事務部入試課地域教育文化学部担当へ連絡してください。</p>
調査書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 出身学校長が作成し、<b>厳封</b>してください。 ただし、高等専門学校については、文部科学省が定めた調査書に準じて作成してください。</li> </ul>
志望理由書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 所定の用紙を本学ホームページから<b>A4タテ両面で印刷</b>し、「文化創生コースを志望する理由」、「入学した場合どのような分野の勉強をしたいのか、分野名とその理由」に分けて、各事項について<b>400字以内</b>で記入してください。</li> </ul>
自己PR書 <b>【人文社会科学部・地域教育文化学部用】</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 所定の用紙を本学ホームページから<b>A4タテ両面で印刷</b>し、PRしたい内容を<b>1000字以内</b>で記入してください。特に下記の①～③に該当する内容がある場合はそれについて記入してください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①学校内の特別活動や部活動等での顕著な成績。</li> <li>②学校外の活動(音楽・美術の場合はコンクール、演奏活動等を含む。)における表彰、受賞歴。</li> <li>③上記①及び②に記載の活動において、志願者本人が成果獲得に向けて取り組んだ具体的なプロセス。</li> </ul> </li> </ul> <p>なお、<b>評価の対象となる活動は高等学校在学時(中等教育学校においては後期課程在学時)のみとします</b>(小・中学校時等の活動は<b>評価の対象となりません</b>)。</p>

<p>自己PR書 【人文社会科学部・地域教育文化学部用】</p>	<p>○ 自己PR書に記入した①及び②について、表彰等の実績がある場合、これらを証明する以下の書類等の写しを添付してください。          なお、書式はA4片面（拡大・縮小可）に統一してください。          ・表彰状（大会が地区予選・本選等にわかれている場合は、最終的な成績がわかるもののみ）          ・コンクール、発表会等に参加したことがわかるプログラム、演目等（氏名等の記載がある該当ページのみ）          ※表彰状がある場合、同大会もしくは同コンクール等のプログラムを提出する必要はありません。</p>	
<p>添付資料</p>	<p>以下の各分野から、いずれか一つを選択し、指定する資料を提出してください。</p>	
<p>美術分野</p>	<p>A4版ポートフォリオ</p>	<p>○ 下記のアと、イ・ウどちらかひとつを含め、A4サイズのファイルにまとめてください。（アは必須）          ア. 出願前2年以内に志願者本人が制作したA4サイズの鉛筆による人物素描と静物素描の作品実物（写しではない）各1枚。素描に用いる用紙は自由とします。素描の制作時間は3時間程度を目安としています。          イ. 美術分野における過去の作品や活動の様子等をA4サイズの用紙（枚数任意）にまとめたもの。          ウ. あなたが興味を持っている美術作品1点、若しくは作家1人を取り上げ、その作品や作家の魅力について適宜図版等を交えながらA4サイズの用紙5枚程度にまとめたレポート。          ポートフォリオは別途梱包の上、地域教育文化学部入試担当まで、持参又は書留速達で提出してください。（出願書類受付最終日までに必着）          なお、梱包物に「ポートフォリオ在中」と朱書きしてください。          ※ ポートフォリオは第1次選抜、第2次選抜いずれかの終了後に返却します。</p>
	<p>学校長等の証明書 (様式任意)</p>	<p>○ A4判ポートフォリオが、志願者本人の作品であることを証明する学校長等の証明書（学校長による証明が困難である場合、造形教室の先生等、証明できる者の証明書であれば可）</p>
<p>音楽分野</p>	<p>【音楽分野】で受験する場合は、【声楽】【ピアノ】【管弦打楽器】【作曲】のいずれか一つを選択してください。          【管弦打楽器】選択者は、59ページ「7 音楽分野受験にあたっての注意事項(1)」の注意事項を確認してください。          ○ 受験者全員が、下記の二次元コード又はURLから演奏曲等に関する情報登録をしてください。   URL : <a href="https://forms.office.com/r/SCkCmjztVH">https://forms.office.com/r/SCkCmjztVH</a></p>	
	<p>音楽の能力を測るもの</p>	<p>【声楽】【ピアノ】【管弦打楽器】          ○ 10分以内の演奏（繰り返しは任意、複数曲可）の動画データ          ○ 「コールユーブンゲン」の以下の5曲のうち任意の1曲の動画データ          第1巻, 原書番号No.48c), No.68, No.76c), No.78c), No.82c)          固定ド唱法又は移動ド唱法のいずれかを用いてください。          上記2点をあわせて1枚のDVDに収録し、添付してください。          DVDについての詳細は、59ページ「7 音楽分野受験にあたっての注意事項(2)」を参照してください。</p>

音楽分野	音楽の能力を測るもの	<p><b>【作曲】</b></p> <p>○ 出願前2年以内に作曲した作品1～3点の楽譜（手書きが望ましい）の写し</p> <p>※可能であれば上記作品の演奏音源を添付してください。</p> <p>○ 「コールユーブンゲン」の以下の5曲のうち任意の1曲の動画データを収録したDVD 第1巻, 原書番号No.48c), No.68, No.76c), No.78c), No.82c) 固定ド唱法又は移動ド唱法のいずれかを用いてください。 DVDについての詳細は, 59ページ「7 音楽分野受験にあたっての注意事項(2)」を参照してください。</p>
	学校長等の証明書 (様式任意)	○ <b>【作曲】</b> 受験者は, 作曲作品が入学志願者本人の作品であることを証明する学校長等の証明書(学校長による証明が困難である場合, 個人レッスンの先生等, 証明できる者の証明書であれば可)
スポーツ分野	スポーツ活動に関する調査書	○ 所定の用紙を本学ホームページからダウンロードし, 出願者本人が主な競技成績等を記入したものを提出してください。 ただし, 主な競技成績等がない場合は, その旨を記入してください。 なお, 競技成績等がない場合でも, 総合型選抜Ⅲ(スポーツ分野)への出願は可能です。
	競技成績等を証明するもの	○ 「スポーツ活動に関する調査書」に記入した競技成績(成績及び記録, 試合出場状況)を客観的に証明できる資料(公式試合における本人の出場記録, 公式記録, あるいは大会報告書, 表彰状, 新聞記載事項, スポーツ専門雑誌記載事項, 競技団体の機関紙の写し等)を必ず添付してください。 なお, <b>書式はA4片面(拡大・縮小可)に統一してください。</b> ただし, 自己PR書に添付の証明書類と重複する場合は, 同一の書類を改めて添付する必要はありません。
出願書類提出用 角形2号封筒	○ 市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)を各自で用意し, 出願書類をすべて封入し, 出願書類提出用宛名シートをはり付けて郵送(書留速達)又は持参により, 提出してください。	
出願書類提出用 宛名シート	○ インターネット出願サイトから <b>A4タテ片面でカラー印刷</b> してください(入学願書と同時に印刷できます)。角形2号封筒(24cm×33.2cm)の表面に, はがれないように全面のり付けではり付けてください。	

(注) 1 出願書類に記載すべき事項の記入もれ, その他不備がある場合は, **出願書類を受理しない**ことがあります。

2 記入に当たっては黒のボールペンを用いて, 漢字は楷書で書き, 数字は算用数字を用いてください。ただし, こすると消えるインキは使用しないでください。訂正する場合は, 二重線で消し, 訂正印を押してください。

3 出願書類に記入する氏名及び生年月日は, 必ず戸籍上のもの(日本国籍を有しない者は住民票上のもの)としてください。ただし, インターネット出願システムに戸籍上の氏名を入力した際に, 正しく入力できない場合は, 入力できる文字に変更してください。

4 インターネット出願システムに入力後, 出力したものを訂正する場合は, 志願学部の担当部署(21ページ参照)に連絡の上, 指示に従ってください。

## 6 選抜方法等

### (1) 第1次選抜

選 抜 方 法	提出された調査書を参考にし、志望理由書及び自己PR書の内容を評価します。配点は次のとおりです。 <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>調査書、志望理由書及び自己PR書</td> </tr> <tr> <td>100点</td> </tr> </table>	調査書、志望理由書及び自己PR書	100点
調査書、志望理由書及び自己PR書			
100点			
採点・評価基準	志望理由書では、本学で何を学びたいのかの計画が明確に示されているかを評価します。また、自己PR書では、記載された活動履歴やPR内容をもとに、本学で学ぶ意欲とそれに必要な実技の能力等について評価します。		
合 否 判 定 基 準	調査書、志望理由書及び自己PR書を総合して合否を判定します。		

◎ 書類選抜のみになりますので、来学する必要はありません。

### (2) 第2次選抜

第1次選抜合格者に対して、次のとおり第2次選抜を実施します。

なお、出願時に選択した分野ごとに「選抜方法」及び「採点・評価基準」が異なります。

選 抜 期 日	令和4年12月17日（土）～令和4年12月18日（日）までの期間の本学部が指定する1日～2日			
時 間	調整の上、決定			
選 抜 方 法	大学入学共通テスト、実技検査（美術・音楽・スポーツから1つを選択します。）及び面接（口頭試問を含みます。）により選抜します。配点は以下のとおりです。			
	面 接 (口頭試問を含む)	実技検査	共通テスト	合 計
美術分野	200点	200点	600点	1000点
音楽分野	200点	400点	600点	1200点
スポーツ分野	200点	200点	600点	1000点
<p>なお、調査書、志望理由書、自己PR書及び添付資料は、面接（口頭試問を含みます。）の際の参考資料となります。</p> <p>また、選抜区分ごとに、以下の内容で実技検査及び面接（口頭試問を含みます。）を行います。</p>				
美術分野	実技検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 30分以内で鉛筆による素描の実技を行います。 そのために必要な画材や道具は各自で準備してください。 (素描に用いる用紙・画板はこちらで用意します。)</li> <li>※新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、対面での実技検査を実施せず、第1次選抜の提出物により実技を評価します。</li> </ul>		
	面接 (口頭試問を含みます。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 出願書類及び添付資料（ポートフォリオを含みます。）をもとに、造形芸術に対する関心や基礎的な知識に関する質問及び自身の造形実践や経験の内容、入学後の取り組み等について質問します。</li> </ul>		
音楽分野	実技検査	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 【声楽】【ピアノ】【管弦打楽器】受験者は、第1次選抜で提出したDVDの楽曲を5分以上10分以内で演奏してください（繰り返しは任意、複数曲可）。演奏は途中で止めることがあります。</li> </ul>		

音楽分野	実技検査	<p>○ 【声楽】 受験者で、ピアノ伴奏が必要な場合は伴奏者を同伴してください。【管弦打楽器】 受験者は、無伴奏で試験を行います。</p> <p>○ 【作曲】 受験者は、機能と声に基づく四声体のバス課題（三和音及び属七の和音による）を実施します（所要時間90分）。</p> <p>○ 受験者全員に対し、コールユーブンゲンの試験を実施します（第1巻、原書No.48～No.87から1曲を当日指定します）。固定ド唱法、移動ド唱法のいずれかを用いてください。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、対面での実技検査を実施せず、第1次選抜の提出物により実技を評価します。</p>
	面接 (口頭試問を含みます。)	<p>○ 出願書類及び添付資料をもとに、音楽芸術に対する関心や、実技検査の演奏曲又は出願時に提出した作曲作品に関すること及び自身の音楽実践や経験の内容、入学後の取り組み等について質問します。また、音楽の基礎力を問うため、楽典（楽語、音程、音階、調、和音等）について質問します。</p>
スポーツ分野	実技検査	<p>○ 運動能力を評価するためのテストを実施します。実技検査の詳細については、第1次選抜合格時に示します。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、対面での実技検査を実施せず、第1次選抜合格後に提出する実技動画のDVDにより実技を評価します。DVDについての詳細は、59ページ「8 スポーツ分野受験にあたっての注意事項」を参照してください。</p> <p>DVDは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による選抜方法の急な変更に対応するためのものであり、提出期限は令和4年12月16日（金）必着とします。</p>
	面接 (口頭試問を含みます。)	<p>○ 出願書類及び添付資料をもとに、スポーツ、運動、身体等の基礎的な知識に関する質問及び自身の運動実践や経験の内容、入学後の取り組み等について質問します。</p>
採点・評価基準（実技・面接）		
美術分野	実技検査及び面接（口頭試問を含みます。）では、美術に関わる基礎的能力（発想力、構成力、造形表現力）と適性、学習意欲及び高校生活における社会活動等の経験などを総合的に評価します。	
音楽分野	実技検査及び面接（口頭試問を含みます。）では、音楽に関わる基礎的能力（演奏能力、楽典等の知識、ソルフェージュ能力）と適性、学習意欲及び高校生活における社会活動等の経験などを総合的に評価します。	
スポーツ分野	実技検査及び面接（口頭試問を含みます。）では、スポーツに関わる基礎的能力（スポーツ、運動、身体等の知識や思考力、運動能力）と適性、学習意欲及び高校生活における社会活動等の経験などを総合的に評価します。	
合否判定基準	<p>1 大学入学共通テストの得点、実技検査及び面接（口頭試問を含みます。）の得点の合計により合否を判定します。</p> <p>2 合格人員の最下位に同点者がいる場合は、この同点者は全員合格とします。</p>	

- ◎ 地域教育文化学部試験場（山形市小白川町一丁目4-12）において実施します。  
第2次選抜に向けた詳細については、第1次選抜合格者に別途通知します。

## 7 音楽分野受験にあたっての注意事項

### (1) 管弦打楽器選択者への注意事項

管弦打楽器はフルート、オーボエ、クラリネット、サクソフォン、ファゴット、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ、コントラバス、打楽器のいずれかでの受験が可能です（ただし、サクソフォン、ユーフォニアム、チューバ受験者については、入学後の「合奏（オーケストラ）」、また関連の授業において、弦楽器等、別の管弦打楽器を選択してもらうことがあります。）。

### (2) DVDに関する注意事項

志願者本人が演奏している映像を提出してください。

映像の作成にあたっては、以下の点に留意してください。

- ・データ形式で収録する。
- ・拡張子はavi,mov,mp4,wmv,flvのいずれかとする。
- ・DVDの盤面に、演奏曲名と作曲家名（コールユーブンゲンに関しては原書番号）を記載する。
- ・動画の冒頭で、カメラに対し正面から氏名を申告する。
- ・志願者の顔と手（音楽の場合は顔）が見えるように録画する。

## 8 スポーツ分野受験にあたっての注意事項

### DVDに関する注意事項

志願者本人が実際にプレイしていることが判別できる映像を提出してください。主として、出願書類「スポーツ活動に関する調査書」の競技等成績欄に記載した試合の映像としますが、出願書類「スポーツ活動に関する調査書」の競技等成績欄に記載していない試合の映像や、公式試合以外の映像（練習試合の映像や練習している様子を撮影したもの）の使用も可とします。

映像の作成にあたっては、以下の点に留意してください。

- ・5分以内
- ・拡張子はavi,mov,mp4,wmv,flvのいずれかとする。
- ・映像を切り取り、繋ぎ合わせるできない場合は視聴させたい範囲を指定する。  
例：12分50秒～15分50秒と3分13秒～5分13秒
- ・映像上で志願者本人を判別するための情報について任意の文書にまとめる。  
例：赤色ユニフォームを着た10番の選手
- ・映像は加工しない。  
例：拡大・縮小、色の補正、音声の追加、文字や図形の挿入、再生速度の変更など

## 9 大学入学共通テストについて

第1次選抜合格者に対して、大学入学共通テストの教科・科目のうち、3教科3科目又は3教科4科目を課します。

なお、大学入学共通テストの受験教科・科目を3教科3科目又は3教科4科目に制限するものではありません。3教科3科目又は3教科4科目より多くの教科・科目を受験した場合は、受験教科・科目のうち高得点の3教科の成績を用います。

また、受験を要する教科・科目及び配点は次のとおりです。

選択分野名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		配点
	教科	科目名	
美術分野	国	国	国 200(200)
	地歴	世A, 世B, 日A, 日B, 地理A, 地理B } から1	地歴* 200(100)
	公民	現社, 倫, 政経, 倫・政経 } から1	公民* 200(100)
	数	数I, 数I・A, 数II, 数II・Bから1	数* 200(100)
音楽分野	理	以下のパターン①又は②から1	理* 200(100)
		①物基, 化基, 生基, 地基から2	から3
		②物, 化, 生, 地学から1	又は4
スポーツ分野	外	英(リスニングを含みます), 独, 仏, 中, 韓から1	外 200
		[3教科3科目又は3教科4科目]	(リーディング 100)
			(リスニング 100)

- (注) 1 配点欄の( )書きは、大学入学共通テストの素点を示します。
- 2 「地理歴史」及び「公民」並びに「理科の「基礎を付していない科目」」について、2科目を受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」とし、第1解答科目の成績を用います。
- 3 大学入学共通テストの「地歴」、「公民」、「数学」及び「理科」について、配点は100点満点を200点満点に換算します。
- 4 配点欄の\*は傾斜配点していることを示します。

## 10 合格者の発表

- (1) 発表日時及び発表方法  
合格者の発表は、次のとおり行います。

発表日時	発表方法
第1次選抜合格者発表 令和4年12月9日(金)11時	本学ホームページの「入試案内」に合格者の大学受験番号を掲載します。
第2次選抜合格者発表 令和5年2月10日(金)11時	

- (注) 1 電話等による合否の問合せには、一切応じません。
- 2 ホームページによる合格者の発表については、発表直後にアクセスが集中し、ホームページがつながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。
- (2) 合格通知  
合格者には、合格者の発表後、同日付で合格通知書を送付します。

## 11 入学手続

入学手続は次のとおりです。

- (1) 入学手続期間  
令和5年2月13日(月)～2月20日(月)(必着)  
受付時間は、9時から16時30分までとします。  
なお、合格者が令和5年2月20日(月)までに入学手続きを完了しないときは、合格者としての権利を消失しますので、十分注意してください。
- (2) 入学金  
入学手続の際に納付していただきます。  
○入学金：282,000円
- (3) 提出書類  
入学手続の際に提出する書類は、受験票、入学誓書、学生証用写真等です。  
詳細については、合格通知の際にお知らせします。

※留意事項（入学辞退について）

やむを得ず入学を辞退する場合には、令和5年2月20日（月）までに「入学辞退届」を提出し、許可を得てください。

この入学辞退を許可された場合を除いては、他に出願済の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても合格者となりませんので、十分注意してください。

## 12 授業料

入学後に納付していただきます。

○授業料：年額535,800円（予定額）

納付方法については、「年1回払い」、「年2回払い」、「年10回均等払い」、「年10回ボーナス併用払い」から選択できます。

- （注）
- 1 上記の金額は、予定額です。
  - 2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。
  - 3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。



## 【理学部】

### 1 募集人員

学 科	選抜区分名	募集人員
理 学 科	数 学	4 人
	物 理 学	4 人
	化 学	4 人
	生 物 学	4 人
	地 球 科 学	4 人

### 2 趣旨

理学部は、数学や自然科学の教育・研究を通して幅広い視野と探求力を教授するため、6つのコースカリキュラム（数学、物理学、化学、生物学、地球科学、データサイエンス）を提供します。また、将来の進路に応じた履修プログラムによる実践的な教育を通して、豊かな人間性に基づいた責任感と倫理観を持ち、社会の要請に対し、独創性と柔軟性をもって対応できる自然科学の専門的素養を持った人材を育成します。

総合型選抜Ⅲでは、基礎学力を備え、入学後の勉学への展望と自主的な学習意欲と自己表現力を持ち、理学部で学んだことを活かし、社会の課題解決に挑むことができるチャレンジ精神に溢れた人を求めています。

### 3 出願資格・出願要件

次のすべての資格・要件を満たす者とします。

- (1) 次のいずれかに該当する者
  - ① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和5年3月卒業見込みの者（(注) 1）
  - ② 高等専門学校第3学年を修了した者又は令和5年3月修了見込みの者
- (2) 令和5年度大学入学共通テスト（本学が指定した教科・科目）を受験する者（(注) 2）
- (3) 合格した場合、入学することを確約できる者
- (4) 出願する選抜区分において、次のすべての要件を満たす者（(注) 3）

選抜区分名	出願要件
数 学	(1) 数学への強い関心と勉学意欲を持つ者 (2) 数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A及び数学B（理数科にあっては、理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ及び理数数学特論）を履修した者又は履修見込みの者
物 理 学	(1) 物理学への強い関心と勉学意欲を持つ者 (2) 次の教科・科目を履修した者又は履修見込みの者 <ol style="list-style-type: none"><li>① 数学については、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A及び数学B（理数科にあっては、理数数学Ⅰ、理数数学Ⅱ及び理数数学特論）</li><li>② 理科については、物理基礎及び物理（理数科にあっては、理数物理）</li></ol>
化 学	(1) 化学への強い関心と勉学意欲を持つ者 (2) 化学基礎及び化学（理数科にあっては、理数化学）を履修した者又は履修見込みの者
生 物 学	(1) 生物学への強い関心と勉学意欲を持つ者 (2) 生物基礎及び生物（理数科にあっては、理数生物）を履修した者又は履修見込みの者
地 球 科 学	地学・地球科学への強い関心と勉学意欲を持つ者

(注) 1 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を修了した者又は令和4年度中に修了見込みの者を含みます。

- 2 令和4年度大学入学共通テスト以前の成績は利用しません。  
 ※他学部の総合型選抜Ⅲには同時に出願することができません。
- 3 上記科目に相当する科目を異なる科目名で履修している場合は、調査書の備考欄に科目の読み替えについての説明を記載すること。

#### 4 出願受付期間等

- (1) 出願受付期間  
 令和4年12月2日(金)から12月7日(水)まで(土・日曜日を除きます)。  
 ※持参・郵送ともに12月7日(水)(必着)  
 受付期間は、9時から16時30分までとします。  
 (注) 出願受付期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵送(書留速達)の場合は、郵送にかかる日数を考慮して余裕を持って送付してください。
- (2) 「大学入学共通テスト成績請求票はり付け台紙」については令和5年1月6日(金)まで(必着)
- (3) 出願書類の提出先  
 理学部入試担当(21ページ参照)に提出してください。

#### 5 出願書類及び出願手続

入学志願者は、インターネット出願システムから登録し、検定料を支払った後、入学願書が印刷できるようになります。入学願書を印刷の上、出願書類を一括し、出願書類提出期限までに本学に届くように郵送(書留速達)又は持参により提出してください。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
入学願書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 入学願書は、検定料の支払後に印刷可能となります。インターネット出願サイトから<b>A4タテ片面でカラー印刷</b>してください。</li> <li>○ 「入学志願者現住所」欄には、願書提出の日から令和5年3月31日(金)まで確実に郵送物を受け取ることのできる住所を入力してください。          なお、電話連絡の際に呼び出しになる場合は、呼び出し番号(〇〇様方)を入力してください。</li> </ul>
大学入学共通テスト成績請求票はり付け台紙	<p>受験票ダウンロード可能メールに記載のURLから「大学入学共通テスト成績請求票はり付け台紙」を<b>A4タテ片面で印刷</b>し、「大学入学共通テスト成績請求票」をはり付け、<b>令和5年1月6日(金)</b>まで必着するように理学部入試担当へ提出してください。</p> <p>なお、<b>「大学入学共通テスト成績請求票」を期限までに提出しない場合は、受験者としての権利を失います。</b>特別な事情により、期限までに提出できない場合は、理学部入試担当へ連絡してください。</p>
調査書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 出身学校長が作成し、<b>厳封</b>してください。ただし、高等専門学校については、文部科学省が定めた調査書に準じて作成してください。</li> </ul>
エントリーシート	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 所定の用紙を本学ホームページから<b>A4タテ両面で印刷</b>し、次の(1)から(3)について記入してください。</li> <li>(1) これまでの学習・探究活動について(400字以内)          志願する選抜区分で選んだ分野を中心に、これまでに取り組んだ学習や探究活動を具体的に記入してください。また、数学オリンピックやSSH等特色ある活動の経験を持つ者は、その学習の過程や得られた成果について具体的に記入してください。</li> <li>(2) 入学後の学習・探究活動について(400字以内)          入学後に取り組みたい勉強や研究について、入学後に選択するコースカリキュラムや卒業研究分野等の現時点の希望も含めて記入してください。</li> <li>(3) 卒業後の目標(400字以内)          将来就きたい職業等、卒業後の目標・抱負等について記入してください。</li> </ul>

出願書類提出用 角形2号封筒	○ 市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)を各自で用意し、出願書類をすべて封入し、出願書類提出用宛名シートをはり付けて郵送(書留速達)又は持参により、提出してください。
出願書類提出用 宛名シート	○ インターネット出願サイトから <b>A4タテ片面でカラー印刷</b> してください(入学願書と同時に印刷できます。)。角形2号封筒(24cm×33.2cm)の表面に、はがれないように全面のり付けではり付けてください。

- (注) 1 出願書類に記載すべき事項の記入もれ、その他不備がある場合は、**出願書類を受理しない**ことがあります。
- 2 記入に当たっては黒のボールペンを用いて、漢字は楷書で書き、数字は算用数字を用いてください。ただし、こすると消えるインキは使用しないでください。訂正する場合は、二重線で消し、訂正印を押してください。
- 3 出願書類に記入する氏名及び生年月日は、必ず戸籍上のもの(日本国籍を有しない者は住民票上のもの)としてください。ただし、インターネット出願システムに戸籍上の氏名を入力した際に、正しく入力できない場合は、入力できる文字に変更してください。
- 4 インターネット出願システムに入力後、出力したものを訂正する場合は、志願学部の担当部署(21ページ参照)に連絡の上、指示に従ってください。

## 6 選抜方法等

選 抜 期 日	令和4年12月17日(土)		
時 間	9:00～13:00(予定)		
選 抜 方 法	大学入学共通テスト及び面接(口頭試問を含みます。)により選抜します。配点は以下のとおりです。		
	大学入学共通テスト	面接(口頭試問を含みます。)	合計
	600点	600点	1200点
	なお、調査書及びエントリーシートは、面接(口頭試問を含みます。)の際の参考資料となります。		
	また、選抜区分ごとに、以下の内容で面接(口頭試問を含みます。)を行います。面接(口頭試問を含みます。)では、自らが経験した探究活動を論理的に説明してもらいます。その際、黒板又はホワイトボード等を用いて説明してもらう場合があります。		
	選抜区分名	面接(口頭試問を含みます。)	
	数 学	数学Ⅲの範囲の問題及びエントリーシートの内容に基づく質疑応答	
	物 理 学	エントリーシートの内容に基づく質疑応答	
	化 学	エントリーシートの内容に基づく質疑応答	
	生 物 学	エントリーシートの内容に基づく質疑応答	
	地 球 科 学	エントリーシートの内容に基づく質疑応答	
採点・評価基準	基礎学力、志望動機、入学後の展望、自主的な学習意欲、自己表現力、チャレンジ精神、これまでの活動実績を評価します。		
合 否 判 定 基 準	大学入学共通テストの得点及び面接(口頭試問を含みます。)の得点の合計により、合否を判定します。		

- ◎ 理学部試験場(山形市小白川町一丁目4-12)において実施します。  
詳細については、受験票ダウンロード可能メール送信時に本人宛てに通知します。

## 7 大学入学共通テストについて

受験を要する教科・科目及び配点は次のとおりです。

選抜区分名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		配点
	教科	科目名	
数 学	数	数Ⅰ，数Ⅰ・数Aから1	数 200
物 理 学		数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報から1	理 200
化 学		以下のパターン①又は②から1 ①物基，化基，生基，地学基から2	
生 物 学		物，化，生，地学から1 *同一名称の付く科目の選択は認めない。	
地 球 科 学	外	②物，化，生，地学から2 英（リスニングを含みます。），独，仏，中，韓から1 〔3教科5科目又は3教科6科目〕	外 200 合計 600

(注) 1 大学入学共通テストの「数学」について、「簿記・会計」，「情報関係基礎」を選択できる者は，高等学校又は中等教育学校においてこれらの科目を履修した者に限ります。

2 大学入学共通テストの「外国語」で「英語」を選択した場合は，配点はリーディング100点満点を160点満点，リスニング100点満点を40点満点へ換算し，その合計得点200点満点とします。

## 8 合格者の発表

(1) 発表日時及び発表方法

合格者の発表は，次のとおり行います。

発表日時	発表方法
令和5年2月10日（金）11時	本学のホームページの「入試案内」に合格者の大学受験番号を掲載します。

(注) 1 電話等による合否のお問合せには，一切応じません。

2 ホームページによる合格者の発表については，発表直後にアクセスが集中し，ホームページがつながりにくい場合がありますので，その際はしばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。

(2) 合格通知

合格者には，合格者の発表後，同日付けで合格通知書を送付します。

## 9 入学手続

入学手続は次のとおりです。

(1) 入学手続期間

令和5年2月13日（月）～2月20日（月）（必着）（土・日曜日，祝日を除きます。）

受付時間は，9時から16時30分までとします。

なお，合格者が令和5年2月20日（月）までに入学手続を完了しないときは，合格者としての権利を消失しますので，十分注意してください。

(2) 入学料

入学手続の際に納付していただきます。

○入学料：282,000円

(3) 提出書類

入学手続の際に提出する書類は，受験票，入学誓書，学生証用写真等です。

詳細については，合格通知の際にお知らせします。

※ 留意事項（入学辞退について）

やむを得ず入学を辞退する場合には、令和5年2月20日（月）までに「入学辞退願」を提出し、許可を得てください。

この入学辞退を許可された場合を除いては、他に出願済の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても合格者となりませんので、十分注意してください。

## 10 授業料

入学後に納付していただきます。

○授業料：年額535,800円（予定額）

納付方法については、「年1回払い」、「年2回払い」、「年10回均等払い」、「年10回ボーナス併用払い」から選択できます。

- （注）
- 1 上記の金額は、予定額です。
  - 2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。
  - 3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

## 【工学部昼間コース】

### 1 募集人員

学科・コース名		募集人員
高分子・有機材料工学科		6人
化学・バイオ工学科	応用化学・化学工学コース	5人
	バイオ化学工学コース	5人
情報・エレクトロニクス学科	情報・知能コース	6人
	電気・電子通信コース	6人
機械システム工学科		10人
建築・デザイン学科		2人

### 2 趣旨

工学部では、地域社会や我が国、さらに国境を越えた世界規模で顕在化しつつある様々な問題に対して、ものづくりや創意工夫によって解決するため、高分子・有機材料工学、化学・バイオ工学、情報・エレクトロニクス、機械システム工学、建築・デザインの分野で活躍するグローバルな視野を持った人材の育成を目指しています。

総合型選抜Ⅲでは、自然科学や科学技術に対する関心が高く、勉学に対する意欲に溢れ、特に幅広い視野と問題意識を持ち、ものづくりや創意工夫によって問題解決に取り組むことに情熱を注げる方を求めます。

### 3 出願資格・出願要件

次のすべての資格・要件を満たす者とします。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者又は令和5年3月卒業見込みの者（(注) 1）
- (2) 令和5年度大学入学共通テスト（本学が指定した教科・科目）を受験する者（(注) 2）
- (3) 合格した場合、入学することを確約できる者

(注) 1 次のいずれかに該当する者を含みます。

ア 高等専門学校の第3学年若しくは専修学校の高等課程を修了した者又は修了見込みの者

イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定若しくは指定した在外教育施設を修了した者又は修了見込みの者

2 令和4年度大学入学共通テスト以前の成績は利用しません。

※他学部の総合型選抜Ⅲには同時に出願することができません。

### 4 出願受付期間等

- (1) 出願受付期間

令和4年12月2日（金）から12月7日（水）まで（土・日曜日を除きます。）

※持参・郵送ともに12月7日（水）まで（必着）

受付時間は、9時から16時30分までとします。

(注) 出願受付期間内に到着しない場合は受理しませんので、郵送（書留速達）の場合は、郵送にかかる日数を考慮して余裕を持って送付してください。

- (2) 【第1次選抜合格者のみ】「大学入学共通テスト成績請求票はり付け台紙」は令和5年1月6日（金）まで（必着）

- (3) 出願書類の提出先

工学部入試担当（21ページ参照）に提出してください。

## 5 出願書類及び出願手続

入学志願者は、インターネット出願システムから登録し、検定料を支払った後、入学願書が印刷できるようになります。入学願書を印刷の上、出願書類を一括し、出願書類提出期限までに本学に届くように郵送（書留速達）又は持参により提出してください。

出 願 書 類	出 願 書 類 作 成 上 の 注 意
入学願書	<p>○ 入学願書は、検定料の支払後に印刷可能となります。インターネット出願サイトから<b>A 4 タテ片面でカラー印刷</b>してください。</p> <p>○ 「入学志願者現住所」欄には、願書提出の日から令和5年3月31日（金）まで確実に郵送物を受け取ることのできる住所を入力してください。</p> <p>なお、電話連絡の際に呼び出しになる場合は、呼び出し番号（〇〇様方）を入力してください。</p>
大学入学共通テスト成績請求票 はり付け台紙 <b>【第1次選抜合格者のみ】</b>	<p>受験票ダウンロード可能メールに記載のURLから「大学入学共通テスト成績請求票はり付け台紙」をダウンロードし、「大学入学共通テスト成績請求票」をはり付け、<b>令和5年1月6日（金）</b>まで必着するように、工学部入試担当へ提出してください。</p> <p>なお、<b>「大学入学共通テスト成績請求票」を期限までに提出しない場合は、受験者としての権利を失います。</b>特別な事情により、期限まで提出できない場合は、工学部入試担当へ連絡してください。</p>
調査書	<p>○ 出身学校長が作成し、<b>厳封</b>してください。</p> <p>ただし、高等専門学校については、文部科学省が定めた調査書に準じて作成してください。</p>
志望理由書	<p>○ 所定の用紙を本学ホームページから<b>A 4 タテ両面で印刷</b>し、「志望する理由」、「入学した場合どのような分野の勉強をしたいのか、分野名とその理由」及び「卒業後どのような職業に就きたいか（現時点）」に分けて、各事項について<b>400字</b>以内で記入し、提出してください。</p>
自己PR書 <b>【工学部用】</b>	<p>○ 所定の用紙を本学ホームページから<b>A 4 タテ両面で印刷</b>し、①特別活動（部活動）や、学校外の活動等で成果を上げるよう努力した、②通学距離が長いにもかかわらず、徒歩で通学しながらも校内で上位の成績を維持した等、PRしたい内容を<b>800字</b>以内で記入し、提出してください。</p> <p>○ PRしたい内容については、自己PR書の所定欄に、学校長又は学年主任等からの証明を受けてください。</p>
出願書類提出用 角形2号封筒	<p>○ 市販の角形2号封筒（24cm×33.2cm）を各自で用意し、出願書類をすべて封入し、出願書類提出用宛名シートをはり付けて郵送（書留速達）又は持参により、提出してください。</p>
出願書類提出用 宛名シート	<p>○ インターネット出願サイトから<b>A 4 タテ片面でカラー印刷</b>してください（入学願書と同時に印刷できます）。角形2号封筒（24cm×33.2cm）の表面に、はがれないように全面のり付けではり付けてください。</p>

（注）1 出願書類に記載すべき事項の記入もれ、その他不備がある場合は、**出願書類を受理しない**ことがあります。

2 記入に当たっては黒のボールペンを用いて、漢字は楷書で書き、数字は算用数字を用いてください。ただし、こすると消えるインキは使用しないでください。訂正する場合は、二重線で消し、訂正印を押してください。

3 出願書類に記入する氏名及び生年月日は、必ず戸籍上のもの（日本国籍を有しない者は住民票上のもの）としてください。ただし、インターネット出願システムに戸籍上の氏名を入力した際に、正しく入力できない場合は、入力できる文字に変更してください。

- 4 インターネット出願システムに入力後、出力したものを訂正する場合は、志願学部の担当部署（21ページ参照）に連絡の上、指示に従ってください。

## 6 選抜方法等

### 第1次選抜

選 抜 期 日	令和4年12月17日（土）		
時 間	9：00～13：00（予定）		
科 目 等	面接（口頭試問を含みます。） 口頭試問における出題範囲は次のとおりとします。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="text-align: center;">出題範囲</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">志望する学科・コースの科学技術分野に関する基礎知識と基礎学力</td> </tr> </table>	出題範囲	志望する学科・コースの科学技術分野に関する基礎知識と基礎学力
出題範囲			
志望する学科・コースの科学技術分野に関する基礎知識と基礎学力			
選 抜 方 法	出願後に通知する課題に関して、どのように取り組み解決しようとするのかについて口頭で試問します。また、時間は一人20分程度です。 配点は次のとおりです。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td style="text-align: center;">面接（口頭試問を含みます。）</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">200点</td> </tr> </table> 課題については、出願期間終了後（12月7日（水）16時30分頃）、山形大学工学部ホームページ（ <a href="https://www.yz.yamagata-u.ac.jp">https://www.yz.yamagata-u.ac.jp</a> ）に掲載するとともに、入学志願者に受験票ダウンロード可能メールを送信する際に通知します。	面接（口頭試問を含みます。）	200点
面接（口頭試問を含みます。）			
200点			
採点・評価基準	問題意識、志望動機、学習意欲、基礎学力、表現力を基準に評価します。		
合 否 判 定 基 準	1 面接（口頭試問を含みます。）の結果により、合否を判定します。 面接（口頭試問を含みます。）では調査書、志望理由書及び自己PR書を参考にします。 2 合格人員の最下位に同点者がいる場合は、この同点者は全員合格とします。		

◎ 工学部試験場（米沢市城南四丁目3-16）において実施します。

受験上の留意事項等の詳細については、受験票ダウンロード可能メール送信時に本人宛てに通知します。

## 7 大学入学共通テストについて

第1次選抜合格者に対して、大学入学共通テストにおいて3教科4科目又は3教科5科目を資格試験として課します。

なお、大学入学共通テストの受験教科・科目を3教科4科目又は3教科5科目に制限するものではありません。

また、受験を要する教科・科目及び配点は次のとおりです。

【建築・デザイン学科以外の学科・コース】

学科・コース名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		配 点
	教 科	科 目 名	
高分子・有機材料工学科	数	数Ⅰ，数Ⅰ・数Aから1	数 200 (200)
化学・バイオ工学科	理	数Ⅱ，数Ⅱ・数B，情報から1	
応用化学・化学工学コース		物，化，生から1又は2	理 * 200
バイオ化学工学コース			(100又は200)
情報・エレクトロニクス学科	外	英（リスニングを含みます。）	外 * 200
情報・知能コース			リーディング 150
電気・電子通信コース			(100)
機械システム工学科			リスニング 50
			(100)
		〔3教科4科目又は3教科5科目〕	合計 600



- (注) 1 配点欄の ( ) 書きは、大学入学共通テストの素点を示します。  
 2 配点欄の「理科」の素点(100又は200)とあるのは、選択した科目数によるものです。  
 3 配点欄の\*は、傾斜配点していること、または傾斜配点する場合があることを示します。  
 4 大学入学共通テストの「数学」について、「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校若しくは中等教育学校においてこの科目を履修した者又は専修学校の高等課程の修了(見込み)の者に限ります。  
 5 大学入学共通テストの「理科」について、「物理」、「化学」及び「生物」のうち2科目を受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」とし、第1解答科目の得点の2倍と、第1解答科目及び第2解答科目の得点の合計のうち、高得点の成績を用います。  
 6 大学入学共通テストの「外国語」の「英語」について、配点はリーディング100点満点を150点満点、リスニング100点満点を50点満点に換算し、その合計得点200点満点とします。

**【建築・デザイン学科】**

学 科 名	大学入学共通テストの利用教科・科目名		配 点
	教 科	科 目 名	
建築・デザイン学科	数	数Ⅰ，数Ⅰ・数Aから1	数 200 (200)
	理	数Ⅱ，数Ⅱ・数Bから1 以下のパターン①又は②から1 ①物基，化基，生基，地学基から2 ②物，化，生，地学から1	理 * 200 (100)
	外	英 (リスニングを含みます。)	外 * 200 リーディング 150 (100) リスニング 50 (100)
	〔3教科4科目又は3教科5科目〕		合計 600

- (注) 1 配点欄の ( ) 書きは、大学入学共通テストの素点を示します。  
 2 大学入学共通テストの「理科」について、配点は100点満点を200点満点に換算します。  
 3 大学入学共通テストの「理科」について、「基礎を付していない科目」から2科目を受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」とし、第1解答科目の成績を用います。  
 4 大学入学共通テストの「理科」について、「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目を受験した場合は、高得点の成績(「基礎を付した科目」の場合は2科目の合計)を用います。  
 5 大学入学共通テストの「外国語」の「英語」について、配点はリーディング100点満点を150点満点、リスニング100点満点を50点満点へ換算し、その合計得点200点満点とします。  
 6 配点欄の\*は、傾斜配点していることを示します。

## 8 最終合格者について

大学入学共通テストにおいて本学部が指定する科目(配点合計600点)の合計得点が概ね300点を満たした者を最終合格者とします。

したがって、第1次選抜合格者のうち、本学部が指定した大学入学共通テストの教科・科目を受験していないことが判明した場合は、不合格となります。

## 9 合格者の発表

- (1) 発表日時及び発表方法

合格者の発表は、次のとおり行います。

発表日時	発表方法
第1次選抜合格者発表 令和4年12月23日（金）11時	本学のホームページの「入試案内」に合格者の大学受験番号を掲載します。
最終合格者発表 令和5年2月10日（金）11時	

- (注) 1 電話等による合否のお問合せには、一切応じません。  
 2 ホームページによる合格者の発表については、発表直後にアクセスが集中し、ホームページがつながりにくい場合がありますので、その際はしばらく時間をおいてから再度アクセスをしてください。
- (2) 合格通知  
 合格者には、合格者の発表後、同日付けで合格通知書を送付します。

## 10 入学手続

入学手続は次のとおりです。

- (1) 入学手続期間  
 令和5年2月13日（月）～2月17日（金）（必着）（土・日曜日、祝日を除きます。）  
 受付時間は、9時から16時30分までとします。  
 なお、合格者が令和5年2月17日（金）までに入学手続を完了しないときは、合格者としての権利を消失しますので、十分注意してください。
- (2) 入学金  
 入学手続の際に納付していただきます。  
 ○入学金：282,000円
- (3) 提出書類  
 入学手続の際に提出する書類は、受験票、入学誓書、学生証用写真等です。  
 詳細については、合格通知の際にお知らせします。

### ※ 留意事項（入学辞退について）

やむを得ず入学を辞退する場合には、令和5年2月17日（金）までに「入学辞退願」を提出し、許可を得てください。  
 この入学辞退を許可された場合を除いては、他に出願済の国公立大学・学部の個別学力検査等を受験しても合格者となりませんので、十分注意してください。

## 11 授業料

入学後に納付していただきます。

○授業料：年額535,800円（予定額）

納付方法については、「年1回払い」、「年2回払い」、「年10回均等払い」、「年10回ボーナス併用払い」から選択できます。

- (注) 1 上記の金額は、予定額です。  
 2 在学中に改定が行われた場合は、改定時から新授業料が適用されます。  
 3 納付方法等詳細については、合格通知の際にお知らせします。

## IX 受験者心得

- 「山形大学入学試験受験票」について
  - 試験当日は、「山形大学入学試験受験票」を必ず持参し、試験場に入場する際に提示してください。
  - 試験場では、常に「山形大学入学試験受験票」を携行し、受験中は係員の指示に従ってください。また、試験室等では「山形大学入学試験受験票」に記載されている大学受験番号と同じ番号がはられている席に着いてください。
  - 試験当日、「山形大学入学試験受験票」を忘れた場合は、入場の際、係員に必ず申し出て、仮受験票発行の手続きをとってください。
  - 「山形大学入学試験受験票」を紛失した場合は、速やかに志願学部の担当部署（21ページ参照）に申し出てください。
  - 「山形大学入学試験受験票」は、入学試験成績の情報開示請求の際にも必要になりますので、大切に保管してください。
- 天候等により、交通機関に乱れが生じる場合があります。天候状況及び交通機関の運行状況を確認し、できるだけ**試験前日までに試験場所在地に到着する**など、**各自の責任において必要な対応を取ってください。**

(注意) 平成25年2月実施の前期日程試験において、試験当日、降雪による列車ダイヤの乱れ等の交通障害が発生し、多数の受験者が所定の時刻までに試験場に到着できなかったという事態が発生しております。また、令和3年2月13日に発生した福島沖地震により、新幹線等が運休になりました。前期日程試験までに完全復旧にはならず、試験当日に他県から移動した受験者が所定の時刻までに試験場に到着できなかったという事態が発生しております。
- 試験場の下見を希望される方は、試験前日午後の時間帯に指定の試験場をご確認ください。なお、建物内への立ち入りはできません。
- 試験開始時刻30分前までに試験場に到着してください。
- 試験開始時刻に遅れた場合は、係員に申し出て指示を受けてください。
- 試験開始後20分を経過した後は、試験室への入室を認めません。
- 試験当日、交通機関の事故又は災害等が発生した場合、試験開始時刻を繰り下げることがあります。
- 筆記試験等における留意点について
  - 受験票のほかに試験時間中、机の上に置けるものは、鉛筆（シャープペンシルも可。）、消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフ類を除く。）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの、それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。）、直線定規、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけを取り出したもの。）、目薬です。
  - 試験室では、他人のものを借用したり、共用したりしてはいけません。
  - 試験時間内の退室は認めません。受験中の発病等やむを得ない場合には、挙手をして監督者の指示に従ってください。
  - 不正行為があると認められた者の答案は、すべて無効とします。
- 携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすると不正行為となることがあります。
- 英文字や地図等がプリントされている服等は着用しないでください。着用している場合には、脱いでもらうことがあります。
- 試験時間中は、時計のアラーム等を使用してはいけません。
- 試験が午後にわたる受験者は、昼食を持参することが望まれます。
- 試験当日は、自動車・バイクによる入構を禁止します。
- 試験当日、付添者は試験場建物内に立ち入ることができません。
- 受験のための宿泊施設については、本学ではあっせんしていません。
- 試験当日、試験場付近や最寄りの駅周辺等で合否メール等の受付をする者がいます。これらの者は本学とは何ら関係なく、トラブルが生じても本学は一切責任を負いませんので、十分注意してください。また、アンケート等と称して、住所や電話番号を書かせたりする者がいますが、これらの者についても本学と何ら関係なく、個人情報悪用される場合がありますので、慎重に対応してください。

X 山形大学試験場案内図



## 小白川キャンパス

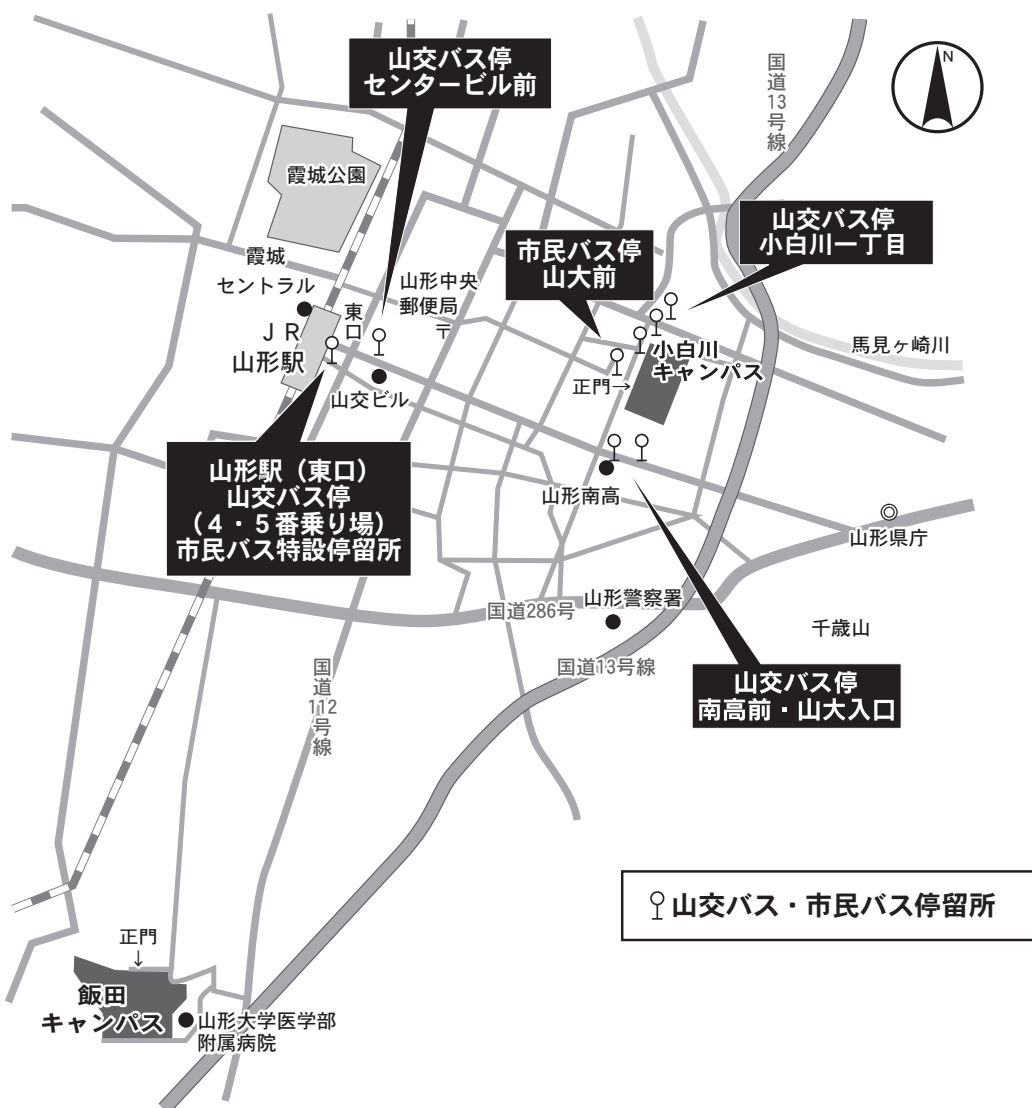
人文社会科学部試験場  
 地域教育文化学部試験場  
 理学部試験場

山形市小白川町一丁目 4 - 12

ア ク セ ス		所要時間
徒 歩	J R 山形駅東口から、東方へ約2.5km	約 30 分
市民バス	・ J R 山形駅（東口）特設停留所から「東部エリア・東原町先回りコース」バス（ベニちゃんバス東くるりん）で「山大前」下車（約9分）、徒歩1分 ・ J R 山形駅（東口）特設停留所から「東部エリア・小荷駄町先回りコース」バス（ベニちゃんバス東くるりん）で「山大前」下車（約19分）、徒歩1分 ・ 時刻表等の詳細については、山形市公式ホームページでご確認ください。 ( <a href="https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp">https://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp</a> )	東原町先回りコース 約 10 分
		小荷駄町先回りコース 約 20 分
路線バス (山交バス) (※)	J R 山形駅前停留所（5番乗り場）から「宝沢・関沢」行きバスで「小白川一丁目」下車（約11分）、徒歩3分	約 14 分
	J R 山形駅前停留所（4番乗り場）から「県庁前・県庁北口」行きバスで「南高前・山大入口」下車（約6分）、徒歩7分	約 13 分
	J R 仙台駅前から「山形駅前」行き高速バスで「南高前・山大入口」下車（約55分）、徒歩7分	約 62 分



※運行状況



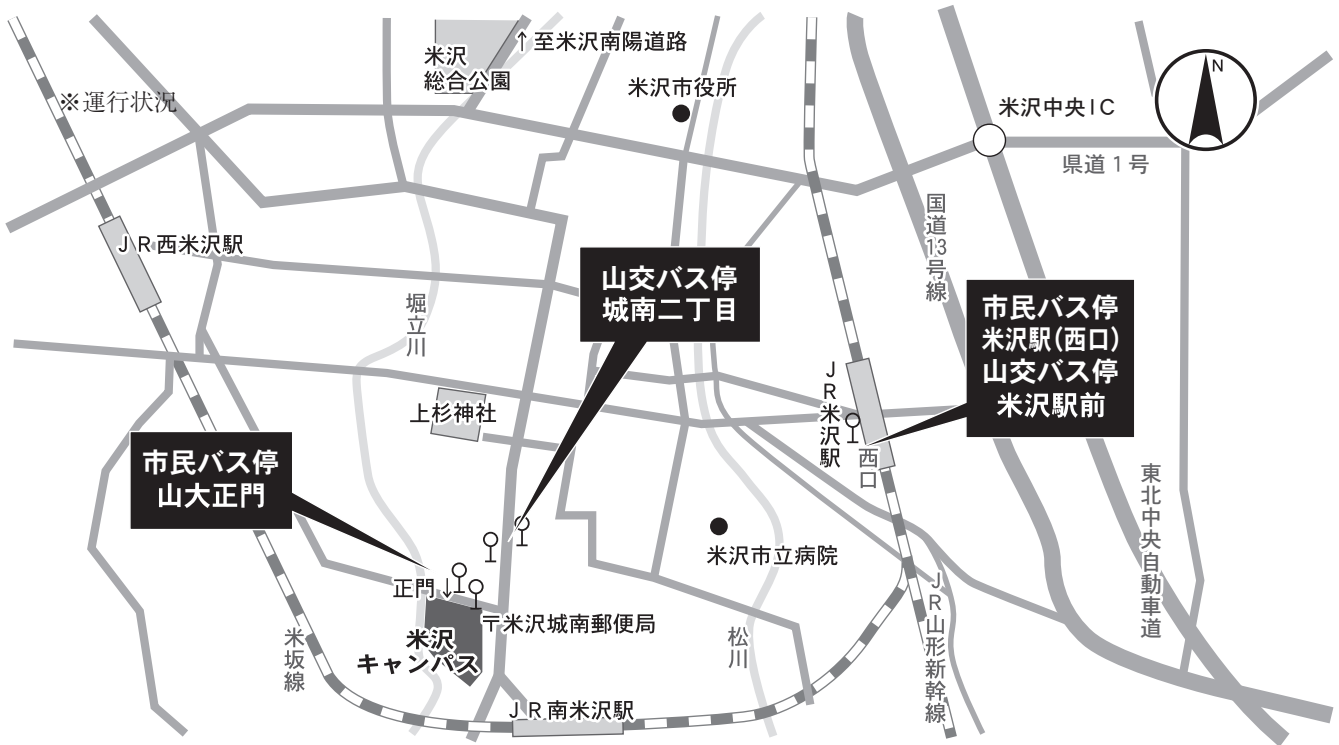
# 米沢キャンパス

工学部試験場

米沢市城南四丁目 3-16

※ J R 山形駅から J R 米沢駅までの所要時間は約45分

ア ク セ ス		所要時間
徒 歩	J R 米沢駅西口から南西へ約 3 km	約 40 分
	J R 南米沢駅出口から北西へ約 500m	約 5 分
市民バス	J R 米沢駅前停留所から「市街地循環バス右回り（ヨネザアド号（青色のバス）」で「山大正門」下車 ※運行状況： <a href="https://www1.busnav.net/yonezawa/">https://www1.busnav.net/yonezawa/</a>	約 15 分
路線バス (山交バス)	J R 米沢駅前停留所から「白布温泉」行きバスで「城南二丁目」下車 (約10分), 徒歩3分	約 13 分



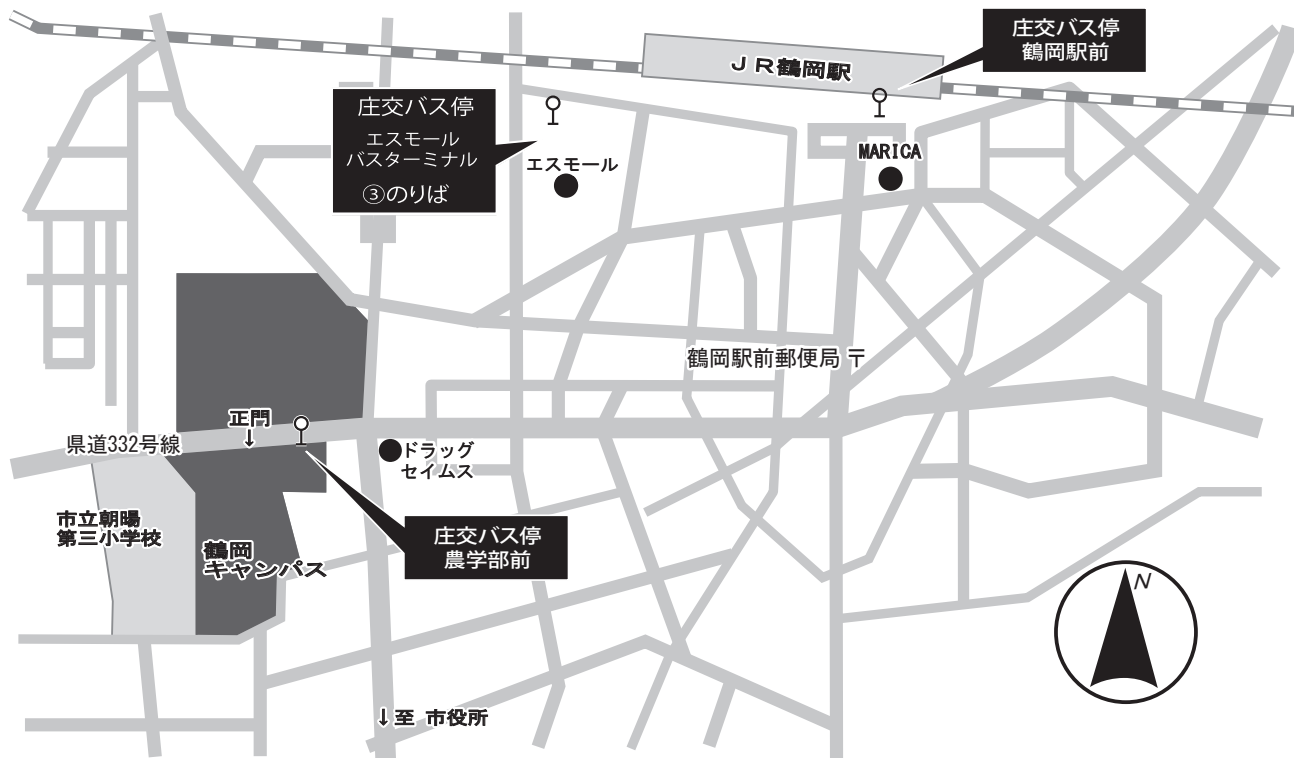
## 鶴岡キャンパス

農学部試験場

鶴岡市若葉町1-23

※JR山形駅から鶴岡エスモールまでの所要時間は、高速バス約120分

ア ク セ ス		所要時間
徒 歩	J R 鶴岡駅から南西へ約1 km	約15分
路線バス (庄内交通)	J R 鶴岡駅前停留所から「鶴岡市内廻り3コース」で「農学部前」下車 ※便数が少ないため、ご利用の際は運行状況をご確認ください。 運行状況： <a href="http://www.shonaihotsu.jp/local_bus/index.html#turuoka">http://www.shonaihotsu.jp/local_bus/index.html#turuoka</a>	約7分



## XI 大学案内及び各学部のパンフレット請求方法

- ◎ 大学案内及び各学部のパンフレットをご希望の方は以下により請求してください。  
 なお、請求される際は、テレメールが定める個人情報の取扱いについてご確認くださいませよう  
 お願いいたします。

### 1 山形大学ホームページからの請求方法

本学ホームページ(<https://www.yamagata-u.ac.jp>)「入試案内」又は「受験生の方」の「資料請求」から、直接テレメールによる請求ができます。

### 2 テレメールによる請求方法

テレメールのサイトにアクセスしてください。



資料請求番号（6桁）を入力してください。

資 料 名	資料請求番号	料金(送料を含む)	発送開始時期（予定）
入学者選抜要項（入試概要）	581022	料金（送料含）は資料等の重量により異なりますので、請求画面上で各々ご確認願います。	令和4年7月下旬
入学者選抜要項（入試概要）+大学案内	561002		令和4年7月下旬
大学案内	561022		令和4年7月上旬
医学部医学科案内	581042		令和4年8月上旬
医学部看護学科案内	541042		令和4年8月上旬
工学部案内	561092		令和4年7月中旬
農学部案内	581092		令和4年7月下旬

#### 【料金の支払い方法】

資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。なお、支払い手数料として、コンビニ支払いとスマホアプリの請求書払い（LINE Pay, Pay Pay, au Pay）は88円、ケータイ払いとクレジットカード払いは50円が別途必要です。ゆうちょ銀行・郵便局での通常払込み（ATM・窓口）もご利用になれます。

また、ケータイ払い、クレジットカード払い、コンビニ支払いは、1回分の手数料で複数資料の料金を同時に支払うこともできます。

テレメールでの請求方法についてのお問合せは

**テレメールカスタマーセンター 050-8601-0102 (9:30～18:00) まで**



## ☆ 大学入学共通テスト受験教科・科目確認表【重要】

〔確認方法〕

下表は、本学が指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験する予定である、あるいは、受験したことを確認するための表です。

地域教育文化学部入学志願者については53～61ページ、理学部入学志願者については62～66ページ、工学部入学志願者については67～71ページの「大学入学共通テストについて」を参照の上、必ず**入学志願者本人**が、下表の確認欄に○をつけて確認してください。

**受験する予定のない、あるいは、受験していない科目が1科目でもある場合は、出願することができません。**

入学願書は、検定料の支払後に印刷可能となります。インターネット出願サイトからA4片面でカラー印刷してください。

「大学入学共通テスト成績請求票はり付け台紙」は、受験票ダウンロード可能メールに記載のURLからダウンロードし、「大学入学共通テスト成績請求票」をはり付け、令和5年1月6日（金）まで必着するように、志願学部の担当部署（21ページ参照）へ提出してください（**地域教育文化学部入学志願者、工学部入学志願者は、第1次選抜合格者のみ提出。**）。

なお、「大学入学共通テスト成績請求票」を期限までに提出しない場合は、受験者としての権利を失います。特別な事情により、期限まで提出できない場合は、志願学部の担当部署（21ページ参照）へ連絡してください。

### 総合型選抜Ⅲ 地域教育文化学部 地域教育文化学科 文化創生コース

教科	国語	地理歴史				公民			数学①		数学②		理科①				理科②				外国語								
科目	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語【リーディング】	英語【リスニング】	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
指定数	1	1							1				「理科①から2」又は「理科②から1」				1												
確認欄																													
		から3又は4（受験教科・科目のうち高得点の3教科の成績を用います。）																											

総合型選抜Ⅲ 理学部 理学科（数学）

総合型選抜Ⅲ 理学部 理学科（物理学）

総合型選抜Ⅲ 理学部 理学科（化学）

総合型選抜Ⅲ 理学部 理学科（生物学）

総合型選抜Ⅲ 理学部 理学科（地球科学）

教科	国語	地理歴史				公民			数学①		数学②		理科①				理科②				外国語							
科目									数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語【リーディング】	英語【リスニング】	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語
指定数	0	0							1		1		「理科①から2」 + 「理科②から1」※ 又は「理科②から2」				1											
確認欄																												

※同一名称の付く科目の選択は認めない。

総合型選抜Ⅲ	工学部昼間コース	高分子・有機材料工学科
総合型選抜Ⅲ	工学部昼間コース	化学・バイオ工学科 応用化学・化学工学コース
総合型選抜Ⅲ	工学部昼間コース	化学・バイオ工学科 バイオ化学工学コース
総合型選抜Ⅲ	工学部昼間コース	情報・エレクトロニクス学科 情報・知能コース
総合型選抜Ⅲ	工学部昼間コース	情報・エレクトロニクス学科 電気・電子通信コース
総合型選抜Ⅲ	工学部昼間コース	機械システム工学科

教科	国語	地理歴史	公民	数学①		数学②			理科①				理科②		外国語	
科目				数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B	情報関係基礎				物理	化学	生物	英語リーディング	英語【リスニング】
指定数	0	0		1		1			0				1又は2※		1	
確認欄																

※ 2科目を受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」とし、第1解答科目の得点の2倍と、第1解答科目及び第2解答科目の得点の合計のうち、高得点の成績を用いる。

総合型選抜Ⅲ 工学部昼間コース 建築・デザイン学科

教科	国語	地理歴史	公民	数学①		数学②			理科①				理科②		外国語			
科目				数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B		物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語リーディング	英語【リスニング】
指定数	0	0		1		1			「理科①から2」 又は「理科②から1」※						1			
確認欄																		

※ 「基礎を付していない科目」から2科目を受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を「第1解答科目」、後半に受験した科目を「第2解答科目」とし、第1解答科目の成績を用いる。

※ 「基礎を付した科目」2科目及び「基礎を付していない科目」1科目を受験した場合は、高得点の成績（「基礎を付した科目」の場合は2科目の合計）を用いる。

# 見 本

学部ごとに様式が異なりますので、出願後、受験票ダウンロード可能メールに記載の URL へアクセスし、ダウンロードしてください。

大学受験番号	
氏 名	

## 大学入学共通テスト成績請求票 はり付け台紙

総合	令和5共通テスト成績請求票 国公立総合型選抜用
《注》	はり付け欄

### 【重要】

- 1 本要項 21 ページに記載の志願学部入試担当へ令和5年1月6日(金)まで必着でご提出ください。  
※出願期間内に提出する必要はありません。  
成績請求票がお手元に届きましたら、上記「はり付け欄」に糊付けし、ご提出ください。
- 2 地域教育文化学部入学志願者、工学部入学志願者は、第1次選抜合格者のみ、提出してください。
- 3 大学入学共通テスト受験教科・科目確認表(本要項78～79ページ)により、志願する学部等が指定する大学入学共通テストの教科・科目をすべて受験する予定である、あるいは、受験していることを再度、必ず確認してください。  
本学で指定した大学入学共通テストの教科・科目を受験する予定がない、あるいは、受験していない場合は、出願することができません。  
万一受験科目に不足がある場合は、至急志願学部入試担当までご連絡ください。















大学受験番号
※


800

以下にて，学校長又は学年主任等からの証明を受けてください。

上記について，相違ないことを証明します。

令和 年 月 日

学校名

記載者役職名

記載者氏名



# スポーツ活動に関する調査書

(本人直筆で記入し，原本を提出してください。)

フリガナ				大学受験番号
氏名				※
生年月日	昭和 平成	年	月	日
出身高等学校等	都道府 県市私 立 その他 (	昭和 平成 令和	卒業 学校 令和	卒業 年3月卒業見込 )
			性別	男・女
専門種目				
競 技 等 成 績				
年 月	大 会 名	種 目	所属チーム名	成績及び記録
年 月				
年 月				
年 月				
年 月				
年 月				
大会における試合出場状況				
受 賞 ， 資 格 等				
年 月	内 容			
年 月				
年 月				

※印の欄は，記入しないでください。

裏面に記入上の注意点及び記入例があります。

## スポーツ活動に関する調査書記入上の注意点及び記入例

※ 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、中止・延期となった大会や資格・検定試験等に参加できず、その結果を記載できない場合には、「競技等成績」欄、あるいは「受賞、資格等」欄に「参加予定」であったことを明記した上で、その内容を記載してください。なお、この場合においても、「参加予定」であったことが客観的に証明できる資料(令和5年度総合型選抜学生募集要項 32 ページ又は 56 ページにおける「競技成績等を証明するもの」欄を参照)を必ず添付してください。

### < 競技等成績欄 >

- ・上段から成績または記録の良い順番に記載してください。
- ・全国大会に出場した実績を有する場合は、出場権を獲得した地方大会等の結果を記載するのではなく、全国大会に出場した旨が分かるように、年月、大会名、種目、所属チーム名、成績及び記録を記載してください。
- ・陸上や競泳等、タイムや距離等の記録で成績の決まる競技については、その記録についても必ず記載してください。

### < 大会における試合出場状況欄 >

- ・競技等成績欄に記載した主たる大会について、下記の記入例を参考にして出願者本人の試合出場状況を具体的に記載してください。

例) ○○大会にて、4 試合中 2 試合にスターティングメンバーとして出場した。  
(総出場時間約◆◆分)。

△△大会にて、3 試合中 1 試合に途中交代で出場した(総出場時間約◆◆分)。

□□大会にて、全試合に団体戦の中堅として出場した。

×× 大会にて、登録メンバーとして参加したが、試合への出場はなかった。





# 〔 入 試 情 報 〕

## ■山形大学ウェブサイト「入試案内」又は「受験生の方」

入学者選抜要項・学生募集要項や過去の入試結果、受験生へのお知らせなど提供しています。

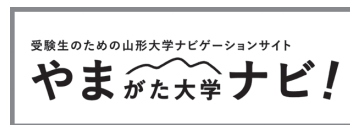
<https://www.yamagata-u.ac.jp>



## ■受験生のための山形大学ナビゲーションサイト やまがた大学ナビ！

大学概要やキャンパスライフ、本学教員による入試対策講座など、受験生に役立つ情報を紹介しています。

<https://www.yamagata-u.ac.jp/enroll/>



## ◎お問合せ先

内 容	担当部署	住 所	電話番号
入試全般に関すること	エンロールメント・マネジメント部入試課	〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12	(023)628-4141
人文社会科学部に関すること	人文社会科学部入試担当	〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12 (小白川キャンパス事務部 入試課)	(023)628-4207
地域教育文化学部に関すること	地域教育文化学部入試担当		(023)628-4310
理学部に関すること	理学部入試担当		(023)628-4710
工学部に関すること	工学部入試担当	〒992-8510 米沢市城南四丁目3-16	(0238)26-3013
農学部に関すること	農学部入試担当	〒997-8555 鶴岡市若葉町1-23	(0235)28-2808

(注) お問合せは、8:30~17:00(土・日曜日、祝日、8月12日~8月16日、9月22日及び12月28日~1月4日を除く。)の時間帯でお願いします。

発行年月：令和4年7月  
作成：山形大学エンロールメント・マネジメント部入試課  
〒990-8560 山形市小白川町一丁目4-12  
TEL (023)628-4141